

病 院 年 報

平成 29 年度

ANNUAL
REPORT 2017

Japanese Red Cross Fukushima Hospital

 日本赤十字社 福島赤十字病院

福島赤十字病院

Japanese Red Cross Fukushima Hospital

理念

Philosophy

みなさまに信頼され親しまれる福島赤十字病院

Japanese Red Cross Fukushima Hospital entrusted and loved by the community

基本方針

Policy

- 患者さま中心の医療** Patient-centered medical care
患者さまの人権と意思を尊重し、説明と同意に基づいた患者さま中心の医療に努めます
- 良質な医療の提供** Providing quality medical care
医療技術の向上および施設の充実を図り、良質な医療の提供に努めます
- 地域医療機関との連携** Cooperation with the medical institution of the area
よりよい医療を提供するために、地域医療機関との連携に努めます
- 救急医療の充実** Enhancement emergency medical care
救急患者さまには常時対応し、救急医療の充実に努めます
- 災害時の救護活動** Relies activities at the time of disaster
国の内外を問わず、災害時の救護活動に努めます
- 経営の健全化** Soundness of management
良質な医療活動遂行のため、経営の健全化に努めます

患者さまの権利

福島赤十字病院は患者さまの次の権利を尊重します

- 最善にして公平な医療を受ける権利
- 個人の尊厳が守られる権利
- 個人のプライバシーが守られる権利
- 診療上必要な情報を得、説明を受ける権利
- 自らの意思に基づき医療行為を選択する権利

発刊にあたり



福島赤十字病院
院長
渡部 洋一

平成29年度の病院年報発刊にあたりご挨拶申し上げます。

この年報がお手元に届く頃は、新病院の新築移転が完了し新しい建物での診療が落ち着き始めた時期と思われま

す。新病院の病床数は296床で、その内訳は一般急性期268床、HCU12床、感染6床、精神10床です。救急センター(ER)、循環器センター、脳卒中センター、HCU、救急病床を設置し、高度な救急医療を行います。救急隊からの受入要請はERホットラインによってER看護師に連絡され、断らない救急を実践いたします。ERには救急用診察室3室の他に、経過観察用に4室、感染症専用診察室1室を設けております。ERと放射線部門、内視鏡センターは隣接しており、救急患者の検査の導線が短くなっております。3階には手術室(5室)、血管造影室、HCU、循環器センターを配置し、同一フロアで高度医療を行うコンセプトを実現しております。4階にはレディースフロア40床を設置し、産科、婦人科の患者様はもとより、眼科、形成外科、消化器科、糖尿病科、外科、整形外科などの予定入院の女性患者様にご利用いただくようにしました。5、6階は各々46~49床の病棟を2病棟ずつ配置しましたが、スタッフステーションの垣根はなく、お互いに連携して看護を行えるようになっております。7階には精神科病床を10床確保し、身体合併症を有する精神疾患患者様の診療を中心に担ってまいります。

また、災害拠点病院として、免震構造、屋上ヘリポート、病院機能100%を3日間まかなえる非常用発電機、井水設備、自然採光などの設備を整えております。さらに今後は原子力災害拠点病院として、医療者の研修にも力を注ぎます。

このような概要の新病院で、私たちは福島県北医療圏の地域医療、救急医療に力を注いでまいります。29年度の紹介率は84.8%、逆紹介率は84.7%、救急車搬入件数は3,592件、新入院患者数は6,496人、病床稼働率(一般)は82.9%でした。今後共、職員一同気持ちを新たに、福島の復興と再生、地域医療の充実に向けて努力を継続して参りますので、よろしくご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

平成31年3月

目次

福島赤十字病院 平成29年度 病院年報

I 一年の動き

1. 平成29年度の動き	1
2. 災害救護活動	6
3. 院友会	8

II 病院の概況

1. 病院の沿革	11
2. 病院概要	13
3. 組織図	18
4. 職員数	19
5. 福島赤十字病院会議及び委員会	20
6. 救護班名簿	21

III 統計

1. 平成29年度実績表	24
2. 入院 診療科別・月別 患者数、稼働額、単価	25
3. 外来 診療科患別・月別 患者数、稼働額、単価	28
4. 診療科別・行為別稼働額	31
5. 入院患者数	33
6. 新入院患者数	34
7. 外来患者数	35
8. 新外来患者数	36
9. 診療科別稼働額	37
10. 一人一日入院単価(自費収益を含む)	39
11. 外来単価(自費収益を含む)	40
12. 手術件数(手術室)	41
13. 平均在院日数	42
14. 病床稼働率(退院を含む)	43
15. 紹介率・逆紹介率	44
16. 分娩件数	45
17. 救急患者数	46
18. 損益推移	47
19. 比較損益計算書	48
20. 比較貸借対照表	49

IV 活動実績

1. 内科・消化器内科	51
2. 糖尿病・代謝内科	52
3. 循環器内科	53
4. 神経内科	54
5. 精神科	54
6. 小児科	55
7. 外科	55
8. 血管外科・心臓外科	57
9. 呼吸器外科	58
10. 整形外科	58
11. 脳神経外科	59
12. 皮膚科	61
13. 形成外科	62
14. 泌尿器科	62
15. 産婦人科	63
16. 眼科	64
17. 耳鼻咽喉科	64
18. 放射線科	65
19. 麻酔科	67
20. リハビリテーション科	67
21. 薬剤部	68
22. 医療技術部[栄養課、臨床工学技術課]	70
23. 看護部	73
24. 検査部	84
25. 医療社会事業部[社会課]	87
26. 事務部[総務課、企画課・医療情報システム課、新病院建設準備室、会計課、医事課、 用度施設課、診療支援課、地域医療連携課]	90
27. 医療安全推進室[医療安全関係、感染管理室]	99
28. 付帯施設[福島赤十字訪問看護ステーション、福島赤十字指定居宅介護支援事業所]	102

V 会議・委員会活動

1. 会議	106
2. 病院運営に関する委員会	109
3. 医療安全管理に関する委員会	117
4. 診療に関する委員会	122
5. 教育・研究に関する委員会	129
6. 労務及び安全管理に関する委員会	131

VI 研究発表

1. 診療科部	133
2. 放射線科部	140
3. 薬剤部	140
4. 医療技術部	140
5. 看護部	140
6. 検査部	141
7. 事務部	141

I

一年の動き

1. 平成29年度の動き

<当院の動き>

<主要ニュース>

平成29(2017)年

4月

- 辞令交付式〔1日〕
医師 5名、臨床研修医 6名はじめ、総勢 42名の新規採用職員を迎えた。



- 新規採用職員オリエンテーション〔3～6日〕
- 臨床研修医OSCE〔8日〕



- 院友会総会・新人歓迎会〔19日〕→ 8p

5月

- 看護の日イベント〔12日〕
「看護の日」と「赤十字運動月間」にあわせて院内でイベントを開催。アロマハンドマッサージのほか、看護相談(糖尿病・禁煙相談)、各種健康相談(栄養相談・乳がんの自己チェック法・調剤薬局のお薬相談)、認知症サポーター養成講習ご案内コーナーなどを催し、多くの皆さまにご来場いただいた。



- 福島赤十字病院ボランティア会総会〔17日〕
- 病院機関誌『日赤通り広報版vol.42』発行〔23日〕
- 永年勤続功労表彰〔25日〕 勤続30年：4名 勤続20年：12名 勤続10年：9名



- 赤十字マークのフラワーアートが玄関前ロータリーに移植された。日本赤十字社福島県支部事業で5月の赤十字運動月間中福島県立図書館前広場に造られていたフラワーアートが当院に植え替えられた。



- 世界フィギア選手権男子羽生結弦が、ショートプログラムで5位だったがフリーで自ら持つ世界歴代最高点を更新し1位となり、逆転優勝で3大会ぶり2度目の優勝〔1日〕
- フィギアスケート・浅田真央が現役引退〔10日〕
- 東京銀座に大型商業施設「ギンザシックス」が開業〔20日〕
- 沖縄県米軍普天間飛行場(宜野湾市)の移設に向け辺野古の護岸建設着工〔25日〕
- 今村雅弘復興相が、「東日本大震災を巡り」「(発生が)東北だったから、よかった」と発言しその責任を取り辞任〔26日〕
- 宅配便最大手のヤマト運輸が宅配値上げ発表〔28日〕

- 豪華寝台列車「トランスイート四季島」運行開始〔2日〕
- 安倍首相が2020年の憲法改正目標発表〔3日〕
- 韓国大統領に文在寅氏〔9日〕
- 世界規模のサイバー攻撃〔15日〕
- 女子ゴルフ・宮里藍が今季限りで現役引退をすることを表明〔26日〕



1. 平成29年度の動き

<当院の動き>

<主要ニュース>

6月

- すすらん贈呈式〔1日〕
郡山市出身の全日本空輸(ANA)のキャビンアテンダントが、患者にスズランのしおりを届けた。
- 常備救護班救護員・新登録救護員任命式〔5日〕
平成29年度救護員→21p～22p参照
- 経営改善職員説明会〔13日〕
- ACLS / BLS講習〔19日〕
- 中学生ドリームアップ事業受入〔29日～9月4日〕



- 卓球世界選手権混合ダブルスで吉村真晴、石川佳純組が優勝
日本勢優勝は48年ぶり〔3日〕
- 茨城県大洗町の日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターで、容器に保管されていた核物質の粉末が室内に飛散、職員5人が内部被曝〔6日〕
- 天皇陛下の即位を実現する特例法が衆院本会議で全会一致で可決、成立〔2019年4月30日即位～5月1日皇太子さま即位・改元〕〔9日〕
- 上野動物園でパンダ5年ぶりに誕生〔12日〕性別「メス」、名前は一般公募で「シャンシャン」と決定
- 毒針を持つ「ヒアリ」が国内で初めて確認〔13日〕
- テロ準備罪法が成立〔15日〕
- フリーアナウンサー・小林麻央さんが闘病する日々をブログで発信し続けた
- 将棋の最年少棋士、藤井聡太四段が29連勝の新記録〔26日〕

7月

- 嚙下・ボイスセンター・鼻・副鼻腔線センターを設置〔1日〕
- 日本赤十字社福島県支部・病院・血液センター合同災害救護訓練〔8日〕
→6p～7p
日本赤十字社福島県支部において支部・病院・血液センターの他、福島市内の大原総合病院・済生会福島総合病院の職員が参加し災害時を想定した実践的な救護活動の訓練を行った。
- 福島県看護協会主催 「高校生1日看護体験」受入〔25日〕



- 東京都議選で「都民ファーストの会」が第1党、自民党は歴史的惨敗〔2日〕
- 九州北部で記録的な豪雨に見舞われ、福岡、大分両県で死者37名、行方不明者4名〔5日〕
- 『「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群』(福岡県)が世界文化遺産に登録〔9日〕
- 聖路加国際病院名誉院長日野原重明氏、105歳で死去〔18日〕
- 稲田朋美防衛相がPKO日報問題で辞任〔28日〕
- 国の補助金詐欺容疑で森友学園前理事長と妻を逮捕〔31日〕

8月

- 福島わらじまつり「ダンシングソーダナイト」〔4日〕→8p～9p
- 病院機関誌『日赤通り広報版vol.43』発行〔8日〕
- ひまわりコンサート〔9日〕
福島市内で活動中の3人組ユニット『Musicanti 音蔵詩』(ムジカンティ おとぐらし)が2年ぶりのサマーコンサートを1階のエントランスロビーで開催した。
- ピアノコンサート〔28日〕
平成28年に「福島の病院にピアノと音楽を届けたい」実行委員会より寄贈されたピアノによるコンサートを開催した。



- アメリカで1世紀ぶりに皆既日食〔21日〕



1. 平成29年度の動き

<当院の動き>

<主要ニュース>

9月

- 地域症例報告会〔15日〕
北福島医療センターと福島赤十字病院合同症例検討会を開催。
脳卒中連携バスを利用し急性期から回復期へ移行した患者さんの治療や状態変化を共有し、改善点を見出すために開催した。



- 平成29年度東北ブロックDMAT参集訓練〔30日〕→6p～7p
- 第20回東北ブロック赤十字病院球技大会(八戸市)〔9日〕
準優勝：フットサル部 第3位：バレーボール部

- 秋篠宮眞子さま婚約内定〔3日〕
大学時代の同級生、小室圭さんとの婚約内定を発表
- 年金598億円支給漏れ〔13日〕
厚生労働省で基礎年金に一定額を上乗せする「振替加算」で支給漏れ、未払い額で過去最大規模〔13日〕
- 東海地震予知を前提にした防災対応を40年ぶりに見直す。11月から南海トラフ全域を対象に警戒を促す〔26日〕

10月

- 日赤基金加入員説明会〔2日・4日・5日〕
- 病院機関誌『日赤通り広報版vol.44』発行〔20日〕
- 外来電子カルテに関する講習会及び保険診療に関する講習会〔27日〕



- 福島県原子力災害訓練〔28日〕→6p～7p
- 第17回全国赤十字病(産)院スポーツ大会〔28日・29日〕(横浜市)
当院よりテニス部が東北代表として出場した。

- 第48回衆議院選挙で自民党圧勝〔22日〕
- 神奈川県座間市のアパートで切断された9人の遺体発見〔31日〕





1. 平成29年度の動き

<当院の動き>

<主要ニュース>

11月

- 院友会旅行「世界遺産中尊寺」〔1日・11日〕
- ふくしま防災フェア〔1日〕
- 琴と尺八のミニコンサート〔1日〕
- フィリピンJRC訪問〔8日〕
- 病院協会看護補助者研修〔8日〕
- 新病院建設経営改善説明会〔9日〕
- 県北保健所立入調査〔14日〕
- 第15回福島赤十字病院地域連携懇話会開催(ホテル辰巳屋)〔22日〕
講座耳鼻咽喉科部長 多田靖宏氏による講演「音声障害と嚥下障害の関連性診断と治療～」



- 福島県CBARE研修〔24日～26日〕→ 6p
- QCサークル発表〔28日・29日〕
最優秀賞
本館4病棟「本4から転倒転落をなくそう」
優秀賞
医療情報システム課・企画課「グループウェア『マイページ』で業務改善活動」
薬剤部「薬剤返納について」
医療安全推進委員会・転倒転落防止対策チーム「STOP・転倒・転落」
- 院友会旅行「東京ディズニーランド」〔30日〕→ 8p～9p

12月

- 院友会旅行「東京ディズニーランド」〔9日〕→ 8p～9p
- 院友会クリスマスパーティ〔20日〕→ 8p～9p
- 音蔵詩クリスマスコンサート〔20日〕
- キャンドルサービス〔25日〕
職員による聖歌隊がハンドベルとクリスマスソングを病棟に届けた。
今年も敬和学園大学のボランティア団体「サンタ・プロジェクト・しばた」様より、メッセージカードを添えた絵本が届き入院されている子供たちに届けた。



- プロ野球日本シリーズは福岡ソフトバンクホークスが2年ぶり日本一〔4日〕
- トランプ米大統領が就任後初来日〔5日〕
- 横綱日馬富士が暴行問題で引退〔29日〕

- 2017年の流行語大賞に「インスタ映え」、「付度」〔1日〕
- 2017年の漢字に「北」決定〔12日〕
- 日米露の宇宙飛行士3人(金井飛行士)が搭乗したロシアのソユーズ宇宙船がバイコヌール宇宙基地からソユーズロケットで打ち上げられた〔17日〕
- プロ野球大谷将平投手(日本ハム)が米大リーグ・エンゼルスに移籍〔9日〕
- 英国人作家カズオ・イシグロ氏がノーベル文化賞を受賞〔10日〕



1. 平成29年度の動き

<当院の動き>

<主要ニュース>

平成30(2018)年

1月

- 病院機関誌『日赤通り広報版vol.45』発行〔1日〕
- 仕事始め・院長年頭挨拶〔4日〕



- 病院機能評価模擬審査〔24日〕
本社の矢野医療事業推進本部総括副本部長をお招きして、部署訪問とケアプロセス模擬審査を行った。



- 院友会旅行「蔵王スキーツアー＆観光旅行」〔27日～28日〕→ 8p～9p

2月

- シェイクアウト訓練〔16日〕
福島県内全域で一斉に安全確保行動訓練を実施した。



- 第94回東京箱根間往復大学駅伝競走、青山大学4年連続4度目総合優勝〔3日〕
- 着物レンタル「はれのひ」突然閉鎖〔8日〕
- 音楽プロデューサー小室哲哉氏引退〔19日〕
- 仮想通貨流出、金融庁が交換業者に改善命令〔26日〕

- 秋篠宮眞子さまのご結婚、2020年に延期〔6日〕
- 将棋・羽生善治氏、囲碁・井山裕太氏に国民栄誉賞が授与された〔13日〕
- 第23回冬季五輪大会が平昌で開幕〔9日～25日〕
日本は冬季最多のメダル13個〔金4個、銀5個、銅4個〕獲得
フィギアスケート男子、羽生結弦氏が2大会連続金メダル獲得

3月

- 病院機能評価審査〔6日～7日〕



- 第5回院内災害訓練〔14日〕→ 6p～7p
- 院内消防訓練〔20日〕
- 臨床研修医研究発表会及び修了証書授与式〔20日〕
- 診療報酬改定説明会〔29日〕
- 新病院建設住民説明会〔31日〕

- 森友学園をめぐる財務省決裁文書改ざん〔8日〕
- 米アカデミー賞メイク部門で辻一弘氏が初受賞〔20日〕
- 習近平国家主席と金正恩朝鮮労働党委員長が初会談〔26日〕

2. 災害救護活動

災害時の救護活動は、日本赤十字社の第一義的な任務であり、災害対策基本法や災害救助法においても指定公共機関として国や都道府県への協力が義務付けられている。

当院では、「わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。」という日本赤十字社の使命のもと、DMAT(Disaster Assistance Team: 災害派遣医療チーム)及び救護班を構成し、救護訓練を実施している。

訓練・研修名	実施日	場 所	参加状況
平成29年			
日本赤十字社原子力対応基礎研修	6月3日～4日	宮城県石巻市	5名
福島県支部災害救護訓練	7月8日	福島県支部	救護員53名
原子力災害時中核人材研修	7月26日～28日	福島県立医科大学	1名
全国赤十字救護班研修会	8月5日～7日	宮城県石巻市	1名
福島県総合防災訓練	8月27日	福島市	救護班1班
日本赤十字社第1ブロック支部 合同災害救護訓練	9月13日～14日	山形市	救護班1班
東北ブロックDMAT参集訓練	9月30日～10月1日	福島市	DMAT 5名
福島県原子力防災訓練	10月28日	川俣町	救護班1班
多数傷病者対応訓練	10月31日	富岡町	救護班1班
原子力災害時中核人材研修	11月8日～10日	青森市	1名
福島県支部合同主事研修	11月18日	福島県支部	10名
原子力災害時の医療に係わる 研修講師養成	11月18日～19日	福島県立医科大学	1名
福島県CBRNE研修	11月24日～26日	福島県立医科大学	2名
日本赤十字社こころのケア 指導者養成研修	12月11日～13日	日本赤十字社幹部 看護研修センター	1名
平成30年			
救護員のためのこころのケア研修	2月3日	福島赤十字病院	20名
第8回院内災害訓練	3月10日	福島赤十字病院	職員80名



7月8日

支部・病院・血液センター3者合同の他、今回初めて近隣の病院の方も参加しての救護員研修



9月30日、10月1日

東北6県に加え新潟県が参加した大規模なDMAT参集訓練



9月13日~14日

山形市中心部で震度5弱の地震が発生した想定で行われた大規模な第1ブロック災害救護訓練



10月28日

日赤福島救護班が川俣町体育館で医療中継拠点設置運営訓練に参加



3月10日

災害拠点病院、原子力災害拠点病院として院内災害訓練実施

3. 院友会

<概要>

福島赤十字病院院友会は当院に勤務する職員及び常勤の嘱託・臨時職員を対象に、職員同士の親睦を図ることを目的としている。会長は院長、副会長は副院長、事務部長、看護部長が務め、監事は会長が任命する。その他役員は各部署から毎年1名ずつ選出され、年間を通して季節に応じたイベントを企画運営している。

イベントの他、院友会員の体育および文化サークルの活動を通して親睦と福利厚生を推進を図ることを目的に“体育・文化サークル活動助成金”を交付している。(助成金交付対象サークル：野球部・ソフトボール部、バレーボール部、フットサル部・卓球部・テニス部)

<平成29年度役員>

会長 渡部 洋一(院長)
 副会長 宮田 昌之(副院長)、緑川 茂樹(事務部長)、會澤 英子(看護部長)
 幹事 出羽 明子(医局)、宍戸まどか(本館3病棟)、島 美由紀(本館4病棟)
 小林 実央(1号館2病棟)、阿久津彩香(1号館3病棟)、菅野 奏(1号館4病棟)
 佐藤 恵子(2号館2病棟)、佐藤あゆみ(2号館3病棟)、武田 結香(3号館4病棟)
 佐藤 友里(外来)、篠谷 和沙(手術室)、武藤 壮平(薬剤部)
 明田 充弘(放射線科部)、鈴木かおり(リハビリテーション科部)、鹿野 智美(検査部)
 美野 陽子(医療社会事業部)、山名慎一郎(事務部)

<平成29年度活動報告>

日時	内容	場所	参加者(名)
4月19日(水)	院友会総会・新人会員歓迎会	サンパレス福島	241名
8月4日(金)	福島わらじまつり (ダンシングソーダナイト)	福島市	90名
11月1日(水) 11日(土)	世界遺産中尊寺	岩手県平泉市	60名
11月30日(木) 12月9日(土)	東京ディズニーランド	東京ディズニーリゾート	95名
12月20日(水)	クリスマスパーティー	ホテル辰巳屋	244名
1月27日(土)～ 28日(日)	蔵王スキーツアー&観光旅行	山形蔵王	36名

<平成29年度決算報告>

収入の部	支出の部	翌年度繰越額
11,738,028円	9,009,158円	2,728,870円

福島赤十字病院院友会総会・新人会員歓迎会



福島わらじまつり・ダンシングソーダナイト



日帰り旅行 世界遺産中尊寺



日帰り旅行 東京ディズニーランド



クリスマスパーティー



一泊旅行 蔵王スキーツアー&観光旅行



II

病院の概況

1. 病院の沿革

< 年月 >	< 沿革 >
昭和18年 8月	日本赤十字社福島支部福島療院として福島市舟場町に発足(病床数32床) 飯坂海軍病院の分院として診療が行われる <診療科目：内科、小児科、耳鼻咽喉科、理学診療科>
昭和19年 1月 4月	20床増床(病床数52床) 福島赤十字病院と改称
昭和25年10月	入院患者に対する完全給食を開始
昭和28年 2月	30床増床(病床数82床)
昭和30年 7月	20床増床(病床数102床)
昭和33年 6月 10月	産婦人科部設置 18床増床(病床数120床)
昭和34年 5月 12月	整形外科部設置 30床増床(病床数150床)
昭和37年 1月 2月	皮膚科部、眼科部設置 現在地(福島市入江町)へ新築移転 <鉄筋コンクリート造4階建、延床面積4,740㎡>
6月	入院患者に対する基準寝具開始
昭和38年 6月	秩父宮妃殿下御慰問
9月	総合病院の承認を受ける
昭和39年 9月	救急病院の指定を受ける
昭和40年 7月	福島市外3町村委託による伝染病棟50床併設(病床数250床)
昭和42年12月	精神科・神経科部設置
昭和43年 4月	東病棟増築、100床(精神)を増床(病床数350床)
昭和44年 9月	循環器科部、呼吸器科部設置
昭和52年 8月	精神病床100床のうち40床を一般病棟に変更
昭和54年 5月 9月 12月	エネルギーセンター棟を新設 放射線科部設置 胃腸科部、泌尿器科部設置
昭和56年11月	新館棟を増築、50床増床(病床数400床)
昭和57年 4月	脳神経外科部設置
昭和59年 3月	病院駐車場として国有地(福島大学跡地)を取得
昭和60年 5月	脳血管系疾患の収容病床として20床増床(病床数420床)
昭和61年 1月	麻酔科部設置
昭和63年 7月	外来診療会計コンピュータ稼働
平成元年 9月	三笠宮寛仁親王妃殿下御慰問
平成5年12月	病床23床増床(救急特例病床17床、CCU 6床) (病床数443床) 心臓血管外科部設置
平成6年 2月 6月	本館棟等増改築工事完了 医事/会計システム更新 富士通(株) HOPE/X
平成8年 4月	胃腸科部を消化器科部と名称変更
8月	結核病床30床を廃止(病床数413床)
11月	災害拠点病院の指定を受ける
平成10年10月 12月	皇太子殿下並びに皇太子妃殿下御視察 訪問看護ステーション設置
平成11年 3月 4月	伝染病床50床を廃止(病床数363床) 第二種感染症医療機関の指定を受ける(6床) (病床数369床 / 一般303床・精神60床・感染6床)
平成12年 4月	福島県精神科救急医療施設の指定を受ける 居宅介護支援事業所設置



昭和18年8月 舟場町に開院



昭和37年2月 入江町に新築移転



平成6年2月 本館棟増改築

< 年月 >	< 沿革 >
平成13年 4月	デイサービスセンター、在宅介護支援センター設置
9月	医事／会計システム更新 富士通(株) HOPE/X-W V1
平成14年 7月	地域医療連携室開設
平成15年 4月	呼吸器外科部設置
平成16年 3月	臨床研修病院(協力型)の指定を受ける
6月	1号館、2号館3病棟改修工事完了
10月	臨床研修病院(管理型)の指定を受ける
平成18年 3月	病理検査室設置 精神病床10床を減床(病床数359床/一般303床・精神50床・感染6床)
6月	医療安全推進室設置
平成19年 3月	病院機能評価Ver.4.0の認定を受ける
9月	医事／会計システム更新 富士通(株) HOPE/X-W V4
	オーダーリングシステム導入 富士通(株) EGMAIN-FX V2
	導入オーダ：患者基本、処方、検体検査、入退院、病棟移動、給食、病名、診療予約、 検歴参照
平成20年 1月	教育研修推進室設置
4月	医療技術部設置
12月	血管造影撮影室増築
平成21年 3月	デイサービスセンター、在宅介護支援センター運営終了
4月	DPC(診断群分類別包括制度)対象病院の指定を受ける
平成22年 4月	糖尿病・代謝科部設置
平成23年 3月	東日本大震災発生 救護班延べ77個班を派遣
7月	平成23年7月新潟・福島豪雨発生 救護班1個班を派遣
9月	地域医療支援病院の認定を受ける
平成24年 3月	ホールボディカウンター及びホールボディカウンター室を設置
	病院機能評価Ver.6.0一般にて更新
4月	新病院建設準備室設置
	ホールボディカウンターによる内部被ばく検査を開始
平成25年 4月	神経内科部設置
5月	医療用画像管理システム(PACS)導入
	追加オーダ：放射線
平成26年 7月	HCUを設置
9月	自動精算機／POSレジシステム導入 医事／会計システム更新 富士通(株) HOPE/X-W V6
	オーダーリングシステム更新 富士通(株) EGMAIN-GX V4 追加オーダ：細菌検査、生理検査、病理検査、内視鏡検査、注射(外来)、リハビリ
10月	診療科名称を変更(24科) 福島県認知症疾患医療センターの指定を受ける
平成27年 1月	循環器センター・末梢血管病センターを設置
3月	現病院土地との交換により新病院予定地(福島市八島町87番1・88番)取得
5月	名称から「総合病院」を削除
平成28年 4月	救急科部設置 心療内科を廃止 精神科病棟11床を減少(病床数348床/一般303床、精神39床、感染6床)
	熊本地震発生 救護班2個班、病院支援職員2個班、こころのケア班1個班を派遣 福島赤十字病院 施設整備事業(移転新築工事)起工式
9月	開設者を日本赤十字社福島県支部長から日本赤十字社社長に変更
平成29年 4月	原子力災害拠点病院の指定を受ける
平成29年 7月	嚥下・ボイスセンター・鼻・副鼻腔センターを設置

2. 病院概要

(平成29年3月31日現在)

(1) 施設の概要

名称	福島赤十字病院	※平成27年5月に『総合病院』を名称から削除
	Japanese Red Cross Fukushima Hospital	
所在地	〒960-8530 福島市入江町11番31号	
	11-31 Irie-cho, Fukushima-city, Fukushima 960-8530 JAPAN	
	TEL (024)534-6101 (代表)	
	FAX (024)531-1721	
	http://www.fukushima-med-jrc.jp/	
敷地面積	10,247.17㎡	
延床面積	22,138.537㎡	
開設年月日	昭和18年8月1日	
開設者	日本赤十字社福島県支部 支部長 内堀 雅雄	
管理者	院長 渡部 洋一	
付帯設備	訪問看護ステーション	Visiting-nurse station
	指定居宅介護支援事業所	Designated home-care assist operation

(2) 診療科目 Medical Departments

内科	糖尿病・代謝内科	呼吸器内科	循環器内科
Internal Medicine	Diabetes and Metabolism	Respiratory	Cardiology
消化器内科	精神科	小児科	外科
Gastroenterology	Psychiatry	Pediatrics	General surgery
心臓外科	血管外科	呼吸器外科	整形外科
Cardiac Surgery	Vascular Surgery	Thoracic Surgery	Orthopaedic
脳神経外科	皮膚科	形成外科	泌尿器科
Neurosurgery	Dermatology	Plastic and Reconstructive Surgery	Urology
産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科
Obstetrics and Gynecology	Ophthalmology	Otolaryngology	Radiology
麻酔科	神経内科	リハビリテーション科	救急科
Anesthesiology	Neurology	Rehabilitation Medicine	Emergency Medicine

(全24科)

(3) 病床数

	許可病床数	実働病床数
一般病床	303床	303床
精神病床	39床	39床
感染症病床	6床	6床
計	348床	348床

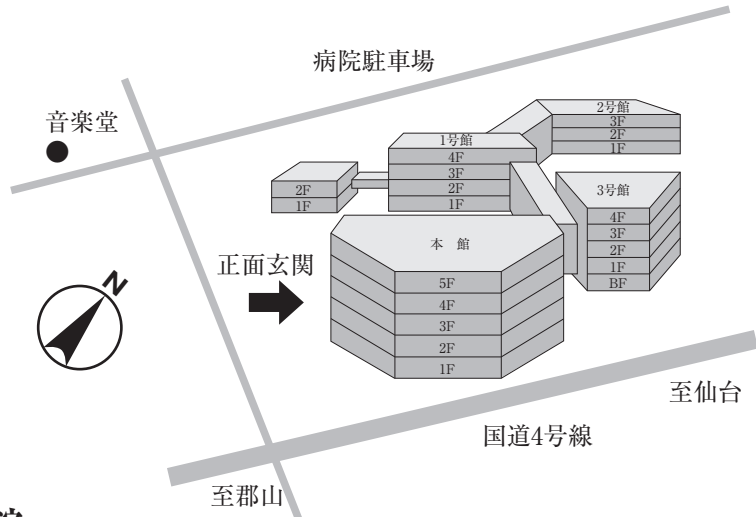
(内訳：実働病床数)

1号館2病棟 45床	2号館2病棟 39床	本館3病棟 31床
1号館3病棟 49床	2号館3病棟 28床	本館4病棟 51床
1号館4病棟 50床	3号館4病棟 49床	感染症病床 6床

(内訳：部屋別)

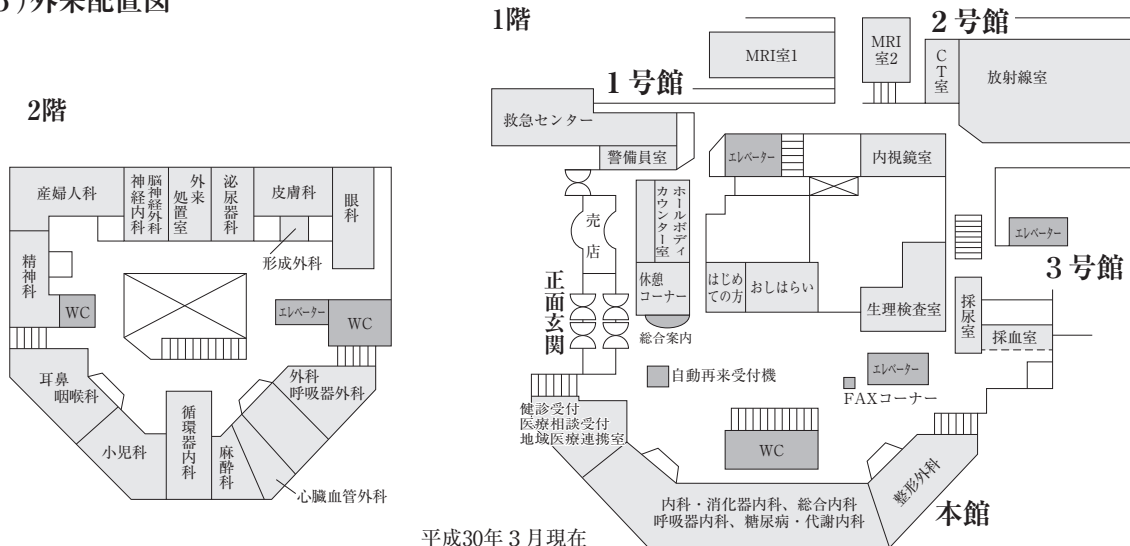
1人部屋	2人部屋	3人部屋	4人部屋	5人部屋以上	計
67	15	3	11	37	133

(4) 病院全体配置図



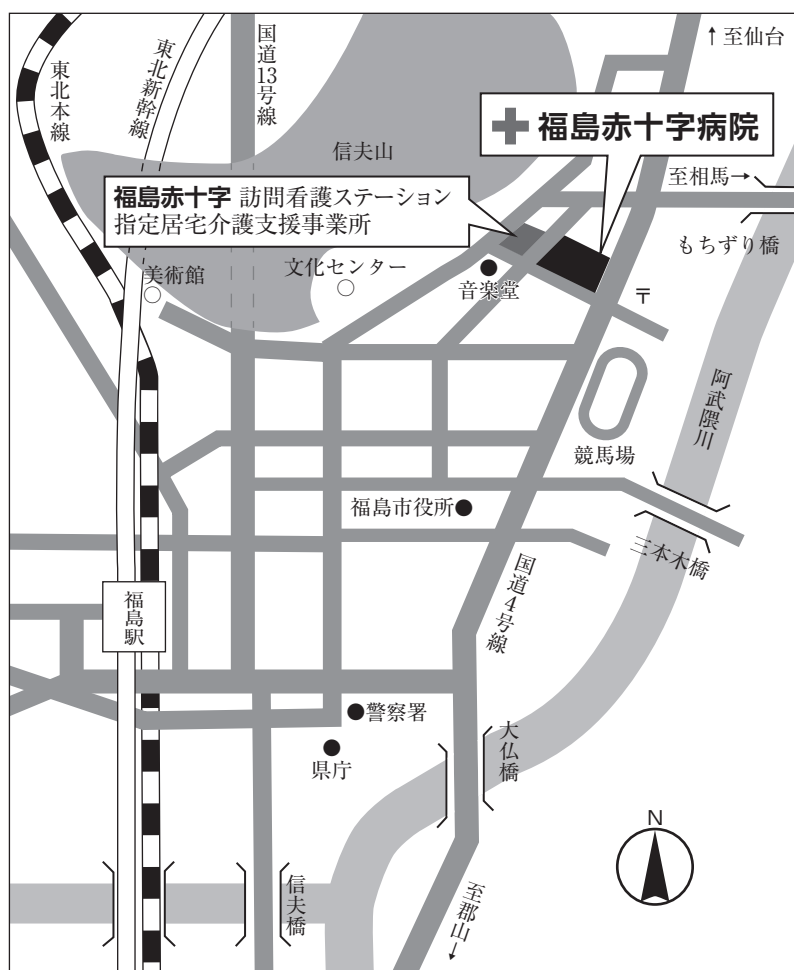
本館				
階	内容	1号館	2号館	3号館
5階	講堂(緊急救護所)、外来化学療法室 管理部門			
4階	4病棟(4001~4032号室)	4病棟 (501~518号室)	2号館	4病棟 (1001~1018号室)
3階	3病棟(3001~3030号室)・HCU リハビリテーション室	3病棟 (301~318号室)	3病棟(801~812号室) 新生児室、周産部	医局 管理部門
2階	(外来診療)小児科、外科、呼吸器外科 脳神経外科、神経内科、皮膚科、形成外科、泌尿器科 耳鼻咽喉科、麻酔科、産婦人科、血管外科 心臓外科、循環器内科、精神科、眼科	2病棟 (201~222号室)	2病棟 (701~713号室)	手術室 中央材料室 家族控室
1階	(外来診療)内科・消化器内科、呼吸器内科 糖尿病・代謝内科、整形外科、医療社会事業部 地域医療連携室、患者様相談窓口、生理検査室 医事課、薬剤部、ホールボディカウンター室 おしはらい、休憩コーナー、売店、CD FAXコーナー、入院説明コーナー	救急診察室 内視鏡室 警備員室	MRI室 シネアンギオ室	検査部、放射線科 採血室、採尿室 CT室
地下1階				レストラン 売店(衛生材料) 栄養相談室

(5) 外来配置図



平成30年3月現在

(6) 位置及び案内



■交通機関(福島駅東口から約3.5km)

●タクシー 7分

●バス 10分 伊達・藤田方面行き
梁川・掛田・保原方面行き
(日赤病院前下車)

(7) 機関指定

機関指定	
健康保険法指定医療機関	地域医療支援病院
臨床研修指定医療機関	国民健康保険法指定医療機関
生活保護法指定医療機関	結核予防法指定医療機関
更生医療指定医療機関 (整形外科・脳神経外科・耳鼻咽喉科)	身体障害者福祉法指定医療機関
原子爆弾被害者に対する指定医療機関	戦傷病者特別援護法指定医療機関
育成医療(児童福祉法)指定医療機関	養育医療(母子保健法)指定医療機関
地方公務員災害補償法指定医療機関	労働者災害補償保険法指定医療機関
救急告示病院	国家公務員災害補償法指定医療機関
災害拠点病院(地域災害医療センター)	第二次救急指定病院
原子力災害拠点病院	福島県特定不妊治療費助成事業指定医療機関
開放型病院	第二種感染症指定医療機関

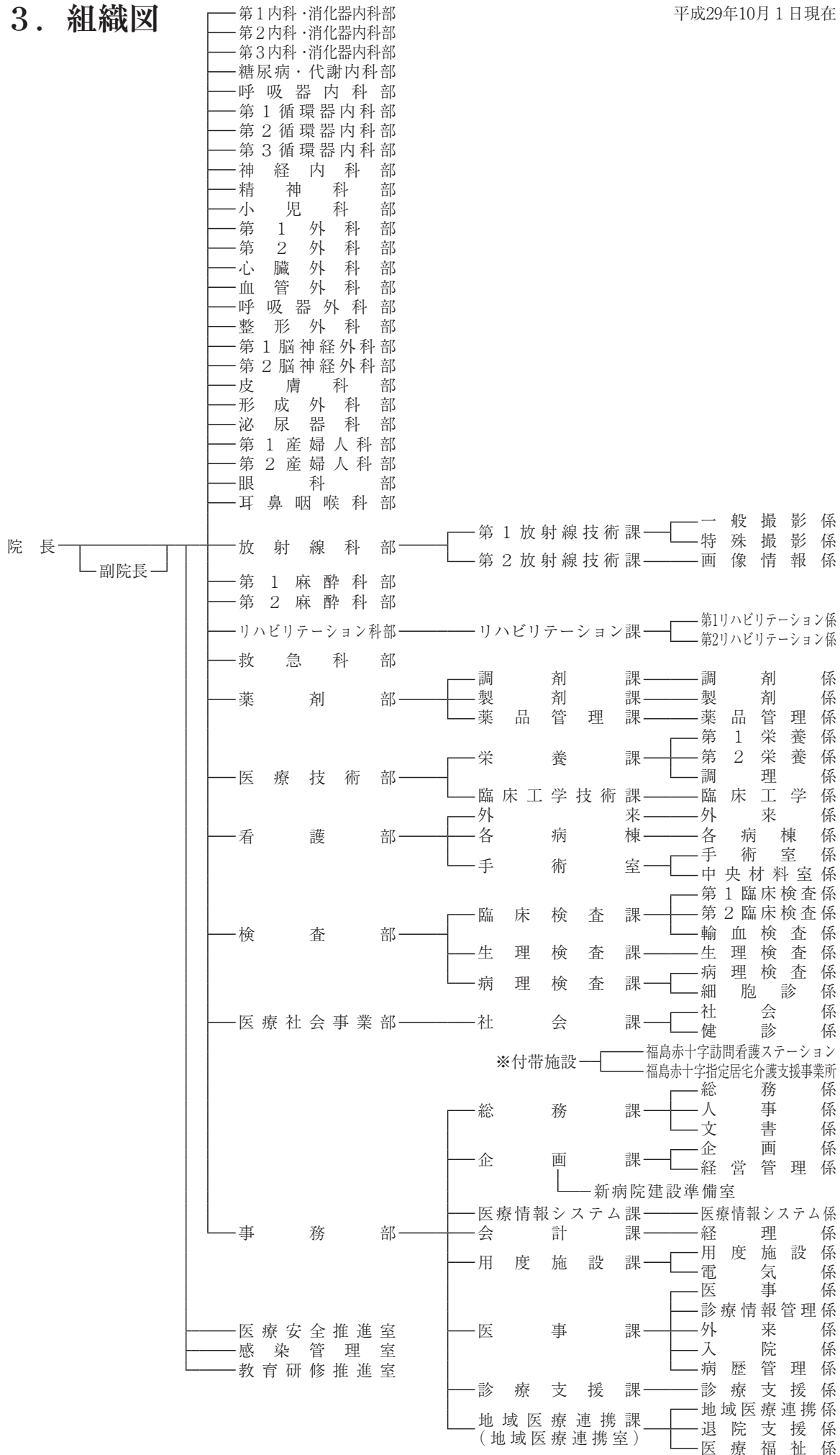
(8) 施設基準の届出状況

基本診療料 特掲診療料 別	施設基準名	受理番号	算定開始 年月日
基本診療料	一般病棟入院基本料 7対1	(一般入院)第2060号	平成28年9月1日
	精神病棟入院基本料 13体1	(精神入院)第1045号	平成25年4月1日
	総合入院体制加算3	(総合3)第4号	平成28年4月1日
	診療録管理体制加算1	(診療録1)第41号	平成28年5月1日
	医師事務作業補助体制加算2 25対1	(事補2)第213号	平成30年3月1日
	急性期看護補助体制加算 50対1	(急性看補)第204号	平成28年9月1日
	療養環境加算	(療)第197号	平成29年3月1日
	重症者等療養環境特別加算	(重)第172号	平成19年5月1日
	精神病棟入院時医学管理加算	(精入学)第22号	平成30年3月1日
	精神科身体合併症管理加算	(精合併加算)第38号	平成20年4月1日
	医療安全対策加算1	(医療安全1)第39号	平成20年4月1日
	感染防止対策加算1	(感染防止1)第39号	平成27年3月1日
	患者サポート体制充実加算	(患サポ)第85号	平成24年4月1日
	褥瘡ハイリスク患者ケア加算	(褥瘡ケア)第8号	平成23年5月1日
	ハイリスク妊娠管理加算	(ハイ妊娠)第37号	平成21年4月1日
	ハイリスク分娩管理加算	(ハイ分娩)第26号	平成21年4月1日
	精神科救急搬送患者地域連携受入加算	(精救急受入)第3号	平成24年4月1日
	総合評価加算	(総合評価)第33号	平成26年4月1日
	呼吸ケアチーム加算	(呼吸チ)第13号	平成28年7月1日
	後発医薬品使用体制加算1	(後発使1)第6号	平成28年4月1日
	病棟薬剤業務実施加算1	(病棟薬1)第30号	平成26年8月1日
	データ提出加算	(データ提)第33号	平成24年10月1日
	退院支援加算	(退支)第214号	平成28年5月1日
	認知症ケア加算	(認ケア)第52号	平成29年7月1日
精神疾患診療体制加算	(精疾診)第8号	平成28年4月1日	
ハイケアユニット入院医療管理料1	(ハイケア1)第12号	平成26年7月1日	
特掲診療料	糖尿病合併症管理料	(糖管)第51号	平成27年10月1日
	がん性疼痛緩和指導管理料	(がん疼)第173号	平成22年9月1日
	がん患者指導管理料1	(がん指1)第74号	平成26年8月1日
	がん患者指導管理料2	(がん指2)第69号	平成26年4月1日
	がん患者指導管理料3	(がん指3)第11号	平成26年4月1日
	糖尿病透析予防指導管理料	(糖防管)第21号	平成27年10月1日
	院内トリアージ実施料	(トリ)第39号	平成24年7月1日
	ニコチン依存症管理料	(ニコ)第557号	平成29年5月1日
	開放型病院共同指導料	(開)第24号	平成15年8月1日
	ハイリスク妊産婦共同管理料(I)	(ハイI)第22号	平成19年4月1日
	がん治療連携指導料	(がん指)第94号	平成23年7月1日
	肝炎インターフェロン治療計画料	(肝炎)第16号	平成22年4月1日
	薬剤管理指導料	(薬)第249号	平成22年6月1日
	検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	(電情)第39号	平成28年12月1日
	医療機器安全管理料1	(医安1)第92号	平成20年4月1日

基本診療料 特掲診療料 別	施設基準名	受理番号	算定開始 年月日
特掲診療料	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	(HPV) 第123号	平成26年4月1日
	検体検査管理加算(Ⅱ)	(検Ⅱ)第78号	平成20年4月1日
	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	(歩行)第21号	平成27年2月1日
	ヘッドアップティルト試験	(ヘッド)第9号	平成24年4月1日
	神経学的検査	(神)第16号	平成20年4月1日
	コンタクトレンズ検査料	(コン1)第339号	平成29年4月1日
	小児食物アレルギー負荷検査	(小検)第16号	平成24年4月1日
	画像診断管理加算1	(画1)第27号	平成21年5月1日
	CT撮影及びMRI撮影	(C・M)第430号	平成24年4月1日
	冠動脈CT撮影加算	(冠動C)第8号	平成21年6月1日
	心臓MRI撮影加算	(心臓M)第7号	平成21年6月1日
	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	(抗悪処方)第17号	平成22年4月1日
	外来化学療法加算1	(外化1)第107号	平成21年6月1日
	無菌製剤処理料	(菌)第122号	平成20年4月1日
	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	(脳Ⅰ)第294号	平成29年9月1日
	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	(運Ⅰ)第376号	平成25年9月1日
	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	(呼Ⅰ)第306号	平成25年9月1日
	がん患者リハビリテーション料	(がんリハ)第108号	平成27年3月1日
	乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1及び又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)	(乳セ2)第37号	平成29年9月1日
	経皮的中隔心筋焼灼術	(経中)第18号	平成20年4月1日
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	(ペ)第105号	平成18年4月1日
	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	(大)第53号	平成18年4月1日
	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	(早大腸)第25号	平成28年2月1日
	胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	(胃瘻造)第29号	平成26年4月1日
	輸血管理料Ⅱ	(輸血Ⅱ)第80号	平成18年6月1日
	輸血適正使用加算	(輸適)第62号	平成24年4月1日
	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	(造設前)第62号	平成25年4月1日
	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	(胃瘻造嚥)第14号	平成26年4月1日
	麻酔管理料(Ⅰ)	(麻管Ⅰ)第41号	平成15年4月1日
	入院時食事療養費	(食)第752号	平成18年4月1日
	酸素の購入単価		平成29年4月1日 (毎年届出)

3. 組織図

平成29年10月1日現在



4. 職員数

(平成30年3月31日現在)

(1) 病院

(単位：人)

	常勤職員	非常勤職員	実人員計	換算人員計
医 師	40	75	115	48.4
研 修 医	12		12	12.0
薬 剤 師	18		18	18.0
診療放射線技師	14		14	14.0
臨床検査技師	20	3	23	22.1
臨床工学技士	6		6	6.0
管理栄養士	7		7	7.0
栄 養 士	4		4	4.0
理学療法士	10		10	10.0
作業療法士	3		3	3.0
言語聴覚士	3		3	3.0
視能訓練士	3	1	4	3.7
臨床心理士	1		1	1.0
社会福祉士	5		5	5.0
精神保健福祉士	1		1	1.0
保 健 師	5		5	5.0
助 産 師	15	1	16	15.8
看 護 師	254	17	271	265.8
准 看 護 師	6	1	7	6.5
事務職員	63		63	63.0
技 術 員	2		2	2.0
調 理 師	6		6	6.0
ボイラー技士等	1		1	1.0
看護助手	27	1	28	27.7
放射線助手	0	1	1	0.6
業 務 員	8		8	8.0
小 計	534	100	634	559.6

(2) 付帯事業

(単位：人)

	常勤職員	非常勤職員	実人員計	換算人員計
訪問看護ステーション職員	5		5	5.0
指定居宅介護支援事業所	3		3	3.0
小 計	8	0	8	8.0

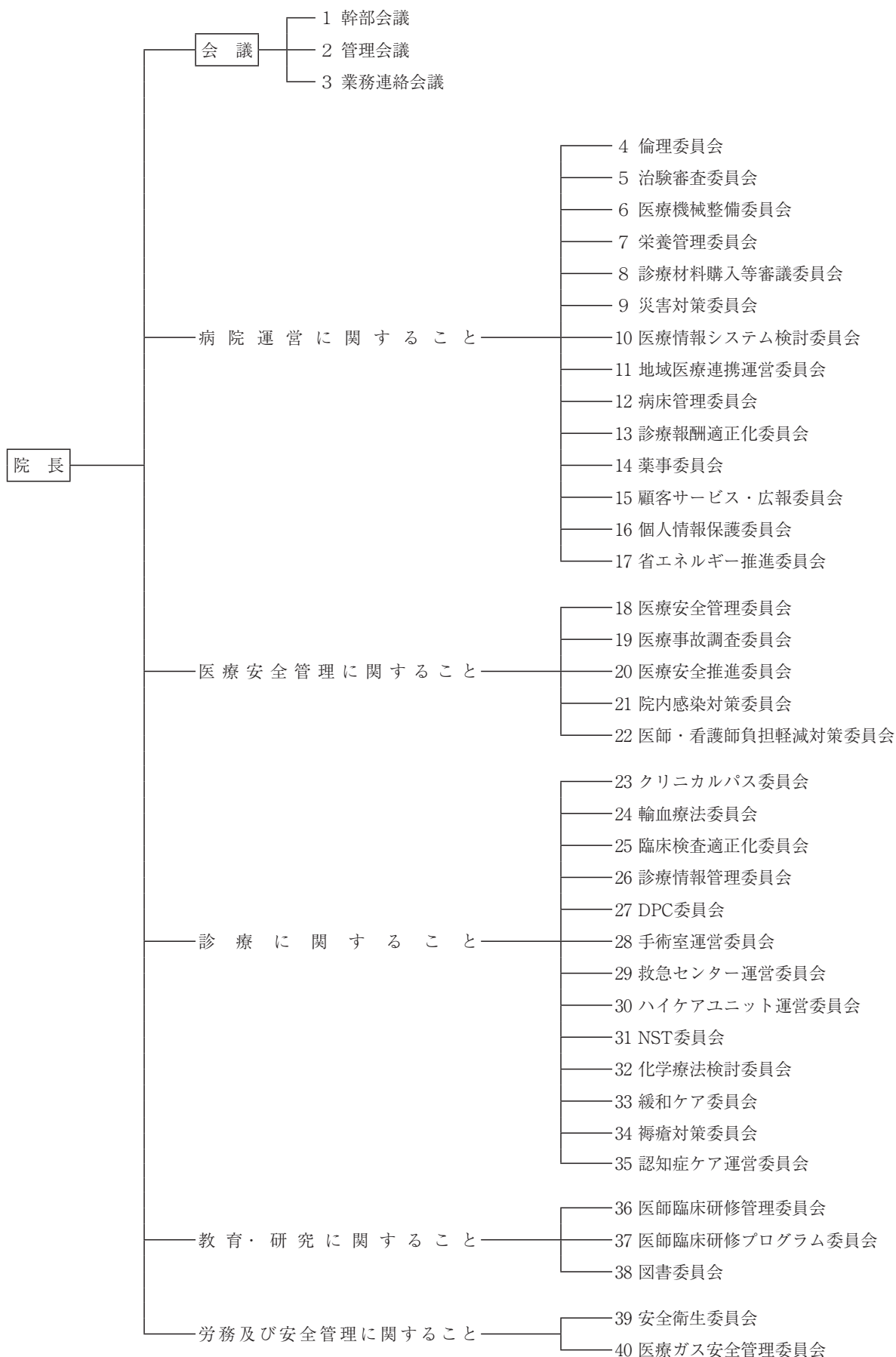
(3) 合計

(単位：人)

	常勤職員	非常勤職員	実人員計	換算人員計
(1) + (2)	542	100	642	567.6

5. 福島赤十字病院会議及び委員会

平成29年4月1日現在



6. 救護班名簿

(平成30年3月31日現在)

(1) 常備救護班

	第1救護班		第2救護班		第3救護班		第4救護班	
医師	血管外科部長	安藤 精一	第2外科部長	郡司 崇志	精神科部 副部長	藤森 春生	神経内科部 副部長	守谷 新
看護師長	本館4病棟 看護師長	齋藤 明子	1号館2病棟 看護師長	菅野ひとみ	1号館4病棟 看護師長	車田 真美	1号館4病棟 看護師長	菅野いづみ
看護師	1号館3病棟 看護係長	武田 里美	手術室 看護師	本田 賀絵	2号館3病棟 看護係長	齋藤 幸恵	2号館2病棟 看護係長	黒沢真由美
	本館3病棟 看護師	田島 一樹	1号館4病棟 看護師	菅野 奏	1号館2病棟 看護師	菅野 勇勝	1号館3病棟 看護師	金内 杏美
主事	企画課主事	野崎 謙司	総務課 総務係長	國分 秀俊	医事課 入院係長	金原 昭世	会計課 主事	山名慎一郎
	医事課主事	金子 瑛	リハビリテー ション科部 理学療法士	三浦 友輔	検査部 病理検査係長	佐藤 由峰	検査部 臨床検査技師	幕田 高平

	第5救護班		第6救護班		第7救護班		第8救護班	
医師	整形外科部 副部長	佐藤 法義	第2麻酔科 部長	出羽 明子	第2産婦人科 部長	伊藤 史浩	小児科部長	三友 正紀
看護師長	1号館2病棟 看護係長	小林 洋子	2号館3病棟 看護師長	石田 久江	3号館4病棟 看護師長	安達 明美	訪問ステーション 所長	佐藤 利恵
看護師	外来 看護係長	武井 明美	本館4病棟 看護係長	鈴木 牧子	外来 看護師	森田 直子	2号館2病棟 看護係長	柳田 美穂
	本館3病棟 看護師	友田 翔子	手術室 看護師	庄子 大志	本館4病棟 看護師	高橋 健太	3号館4病棟 看護師	渡辺 義文
主事	用度施設課 用度施設係長	池田 久光	総務課 文書係長	菅野 正幸	医療情報 システム課 主事	二階堂雄平	医療社会課 事業部 主事	日色沙緒里
	栄養課 調理師	釜田 雄一	放射線科部 診療放射線技師	三次 鏡太	用度施設課 技術員	加藤 仁義	医事課 主事	島村 健翔

こころの ケア指導者	福島県支部 事業推進課長	武田 玲子	看護副部長	渡邊 知子	地域医療連携課 退院支援係長	高根 晴美	手術室 看護師長	國分 花子
	地域医療連携課 医療福祉係長	菅野 直樹						

薬剤師	薬剤部長	我妻 禎	薬品管理課長	緑上 淳一	調剤係長	川村 早苗	製剤係長	山脇 聡	薬剤師	佐藤 南	薬剤師	齋藤可奈子
	薬剤師	武藤 壮平	薬剤師	菊池 洋平	薬剤師	安齋 英里	薬剤師	古賀 彩織	薬剤師	大竹 麻衣子	薬剤師	小野 優紀恵
	薬剤師	二瓶 瑤子	薬剤師	酒井 亮								

(2) 統括日本DMAT

医師	院長	渡部 洋一
----	----	-------

(3) 日本DMAT

	第1班		第2班		第3班		第4班	
医師	第2脳神経 外科部長	市川 剛	第1外科部長	遠藤 豪一	第2循環器 内科部長	渡部 研一	神経内科部長	中村 耕一郎
看護師	本館3病棟 看護師長	鈴木 佳子	手術室 看護係長	泉 弘子	外来 看護係長	渡邊 あゆみ	外来看護師	萩原 暁美
	本館3病棟 看護係長	奈良輪 弘美	3号館4病棟 看護師	原田 瑞穂	本館3病棟 看護師	鈴木 安英	手術室看護師	梅宮 誠
調整員	製剤課長 (薬剤師)	渡部 寿康	薬剤師	薄 大介	臨床工学技術課長 (臨床工学士)	橋本 健一	新病院建設 準備室長	野地 幸次
	診療支援課長	齋藤 智浩	福島県支部 組織振興課参事	久保 芳宏	総務課長	野田 誠	福島県血液センター 総務課主事	葛岡 大輔

(4) 福島県DMAT

看護 師	2号館3病棟 看護師長 (助産師)	石田 久江	1号館4病棟 看護師	藤田 恵実
調 整 員	福島県支部 総務課係長	松本 琢也	/	

(5) 日赤災害医療コーディネートチーム

医 師	院 長	渡部 洋一	災害医療コーディネーター
看 護 師	看護副部長	渡邊 知子	コーディネートスタッフ
	医療事業部 社会課長	野地 啓子	コーディネートスタッフ
事 務 職	福島県支部 組織振興課参事	久保 芳宏	コーディネートスタッフ

III

統計

1. 平成29年度実績表

単位：人(患者延数、1日平均)日(在院日数)、円(稼働額、診療単価)

	入			院			外			来		合 計
	患者延数	1日平均	在院日数	診療稼働額	診療単価	患者延数	1日平均	診療稼働額	診療単価	診療稼働額合計		
内科	15,244	41.8	15.4	660,623,804	43,337	22,351	92.0	402,779,306	18,021	1,063,403,110		
消化器内科	8,370	22.9	12.4	377,787,667	45,136	6,720	27.7	101,465,696	15,099	479,253,363		
糖尿病・代謝内科	3,609	9.9	23.0	121,496,865	33,665	7,354	30.3	64,799,961	8,812	186,296,826		
小児科	543	1.5	3.8	28,586,056	52,645	4,076	16.8	37,991,554	9,321	66,577,610		
外科	5,918	16.2	13.3	366,382,355	61,910	7,447	30.6	121,508,377	16,316	487,890,732		
呼吸器外科	4,247	11.6	11.8	336,608,108	79,258	4,543	18.7	140,375,215	30,899	476,983,323		
整形外科	14,075	38.6	19.0	750,424,775	53,316	17,035	70.1	96,958,042	5,692	847,382,817		
脳神経外科	9,803	26.9	14.0	665,369,732	67,874	8,906	36.7	112,446,875	12,626	777,816,607		
皮膚科	240	0.7	15.5	8,006,370	33,360	6,308	26.0	18,935,787	3,002	26,942,157		
泌尿器科	0	0.0	0.0	0	0	725	3.0	4,626,087	6,381	4,626,087		
産婦人科	6,814	18.7	7.1	457,352,072	67,119	9,430	38.8	111,398,956	11,813	568,751,028		
眼科	0	0.0	0.0	0	0	5,678	23.4	31,552,697	5,557	31,552,697		
耳鼻咽喉科	2,138	5.9	5.4	117,599,269	55,004	7,570	31.2	52,320,472	6,912	169,919,741		
麻酔科	85	0.2	4.8	5,205,134	61,237	877	3.6	1,935,277	2,207	7,140,411		
精神科	4,798	13.1	38.5	108,258,073	22,563	12,126	49.9	69,398,424	5,723	177,656,497		
血管外科・心臓外科	2,874	7.9	15.6	183,773,368	63,943	4,149	17.1	27,300,256	6,580	211,073,624		
循環器内科	13,022	35.7	15.7	779,128,552	59,832	17,037	70.1	145,275,062	8,527	924,403,614		
形成外科	92	0.3	4.8	6,107,320	66,384	1,552	6.4	17,793,075	11,465	23,900,395		
神経内科	5,084	13.9	17.0	216,938,829	42,671	5,397	22.2	42,595,797	7,892	259,534,626		
放射線科	0	0.0	0.0	0	0	19	0.1	4,599,200	242,063	4,599,200		
健診								65,947,487		65,947,487		
合計	96,956	265.6	13.9	5,189,648,349	53,526	149,300	614.4	1,672,003,603	11,199	6,861,651,952		
前年度	98,453	269.7	14.0	5,237,306,610	53,196	151,422	623.1	1,635,839,005	10,803	6,873,145,615		
増加率	△1.5%	△1.5%	△0.7%	△0.9%	0.6%	△1.4%	△1.4%	2.2%	2.9%	△0.2%		

2. 入院 診療科別・月別 患者数、稼働額、単価

(1) 入院患者数

(単位：人)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	15,244	1,334	1,179	1,334	1,434	1,297	1,349	1,201	1,276	1,252	1,278	1,196	1,114
消化器内科	8,370	498	650	610	667	676	641	702	862	707	773	791	793
糖尿病・代謝内科	3,609	340	326	273	247	259	380	227	231	232	358	407	329
小児科	543	59	49	53	59	68	59	27	60	32	39	7	31
外科	5,918	342	352	609	540	574	605	450	487	457	445	536	521
呼吸器外科	4,247	427	246	335	388	342	294	278	403	415	423	359	337
整形外科	14,075	973	1,215	1,277	966	1,019	1,092	1,116	1,143	1,358	1,296	1,276	1,344
脳神経外科	9,803	712	853	812	694	709	732	782	972	923	963	826	825
皮膚科	240	38	40	0	29	19	0	12	46	13	0	18	25
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	6,814	673	456	509	633	519	522	575	526	619	670	523	589
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	2,138	234	150	152	192	210	213	180	135	201	162	150	159
麻酔科	85	8	0	8	8	2	3	21	18	2	0	0	15
精神科	4,798	353	387	364	571	636	400	434	477	367	290	235	284
血管外科・心臓外科	2,874	237	271	215	216	189	263	262	235	240	256	225	265
循環器内科	13,022	1,212	1,084	1,068	1,065	1,106	1,030	865	937	1,307	1,092	1,005	1,251
形成外科	92	0	0	0	0	0	0	3	9	6	5	28	41
神経内科	5,084	288	537	285	289	278	272	404	377	463	801	532	558
合計	96,956	7,728	7,795	7,904	7,998	7,903	7,855	7,539	8,194	8,594	8,851	8,114	8,481
1日平均	265.6	257.6	251.5	263.5	258.0	254.9	261.8	243.2	273.1	277.2	285.5	289.8	273.6
前年度	98,453	8,790	8,362	8,779	8,181	8,089	7,588	7,670	8,077	8,393	8,378	7,951	8,195
1日平均	269.7	293.0	269.7	292.6	263.9	260.9	252.9	247.4	269.2	270.7	270.3	284.0	264.4
増加率	△1.5%	△12.1%	△6.8%	△10.0%	△2.2%	△2.3%	35%	△1.7%	1.4%	2.4%	5.6%	2.1%	3.5%

(2)入院稼働額

(単位：円)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	660,623,804	59,366,173	50,982,429	60,819,827	62,410,732	55,409,159	58,867,796	51,555,392	55,844,100	50,928,348	53,502,005	49,260,479	51,677,364
消化器内科	377,787,667	21,720,112	29,064,164	24,849,912	30,243,933	30,918,916	28,176,758	33,219,670	36,971,566	31,411,482	35,435,060	35,850,484	39,925,610
糖尿病・代謝内科	121,496,865	15,093,174	11,071,404	9,249,656	8,414,300	8,502,926	12,122,446	6,883,902	7,454,206	7,383,880	12,216,969	13,553,622	9,550,380
小児科	28,586,056	2,891,196	2,631,280	2,817,900	3,437,130	3,316,130	2,868,940	1,316,160	3,321,280	1,884,300	2,055,560	462,440	1,583,740
外科	366,382,355	17,712,781	23,884,840	33,070,472	34,060,308	34,722,002	35,334,526	28,533,706	30,317,070	32,578,128	29,814,427	37,677,582	28,676,513
呼吸器外科	336,608,108	29,871,360	21,659,366	26,711,836	31,769,361	26,919,725	26,111,579	30,326,108	29,278,354	26,081,319	32,692,316	27,397,138	27,789,646
整形外科	750,424,775	53,370,981	67,468,177	64,165,836	52,707,590	56,125,977	57,954,150	60,026,250	63,647,703	67,533,536	72,737,901	68,219,878	66,466,796
脳神経外科	665,369,732	49,496,874	62,318,214	53,022,022	44,760,284	60,530,381	48,728,148	52,768,123	68,558,225	56,216,757	64,456,868	45,288,507	59,225,329
皮膚科	8,006,370	1,109,932	1,240,104	0	1,061,214	677,467	0	398,350	1,674,610	367,589	0	639,718	837,386
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	457,352,072	45,633,880	37,112,012	35,805,832	36,876,148	32,077,722	35,837,346	42,611,872	32,589,376	37,361,082	45,320,388	36,329,028	39,797,386
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	117,599,269	11,149,765	6,319,922	7,155,170	9,942,344	11,768,252	9,988,372	12,245,732	8,337,674	10,162,850	10,848,338	10,243,628	9,437,222
麻酔科	5,205,134	505,884	0	516,010	585,170	219,930	275,440	1,039,320	744,430	211,530	0	0	1,107,420
精神科	108,258,073	9,157,225	8,688,038	8,646,646	12,908,589	13,386,033	8,783,507	9,354,010	9,542,015	8,701,311	6,592,763	5,852,545	6,645,391
血管外科・心臓外科	183,773,368	11,445,402	18,746,780	10,902,792	10,794,154	18,653,744	16,665,206	13,797,716	17,278,658	14,152,631	18,211,474	18,952,406	14,172,405
循環器内科	779,128,552	66,736,869	68,796,585	68,122,988	64,523,596	56,924,206	56,344,855	53,735,624	60,696,520	88,178,191	64,454,821	58,333,705	72,280,592
形成外科	6,107,320	0	0	0	0	0	0	200,980	610,530	499,200	812,280	1,997,420	1,986,910
神経内科	216,938,829	12,381,380	24,363,975	13,559,019	13,025,086	11,623,415	11,995,174	18,267,530	16,631,461	20,350,694	32,622,800	20,775,907	21,342,388
合計	5,189,648,349	407,642,988	434,347,290	419,415,918	417,519,939	421,775,985	410,054,243	416,280,445	443,497,778	454,002,828	481,773,970	430,834,487	452,502,478
前年度	5,237,306,610	452,970,666	426,232,230	461,101,917	424,146,477	428,785,616	407,224,036	405,637,833	432,731,071	467,667,543	454,533,699	422,244,131	454,031,391
増加率	△0.9%	△10.0%	1.9%	△9.0%	△1.6%	△1.6%	0.7%	2.6%	2.5%	△2.9%	6.0%	2.0%	△0.3%

(3) 入院単価

(単位：円)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	43,337	44,502	43,242	45,592	43,522	42,721	43,638	42,927	43,765	40,678	41,864	41,188	46,389
消化器内科	45,136	43,615	44,714	40,738	45,343	45,738	43,958	47,321	42,890	44,429	45,841	45,323	50,348
糖尿病・代謝内科	33,665	44,392	33,961	33,882	34,066	32,830	31,901	30,326	32,269	31,827	34,126	33,301	29,029
小児科	52,645	49,003	53,700	53,168	58,256	48,767	48,626	48,747	55,355	58,884	52,707	66,063	51,088
外科	61,910	51,792	67,855	54,303	63,075	60,491	58,404	63,408	62,253	71,287	66,999	70,294	55,041
呼吸器外科	79,258	69,956	88,046	79,737	81,880	78,713	88,815	109,087	72,651	62,847	77,287	76,315	82,462
整形外科	53,316	54,852	55,529	50,247	54,563	55,079	53,072	53,787	55,685	49,730	56,125	53,464	49,454
脳神経外科	67,874	69,518	73,058	65,298	64,496	85,374	66,569	67,478	70,533	60,907	66,933	54,829	71,788
皮膚科	33,360	29,209	31,003	0	36,594	35,656	0	33,196	36,405	28,276	0	35,540	33,495
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	67,119	67,807	81,386	70,345	58,256	61,807	68,654	74,108	61,957	60,357	67,642	69,463	67,568
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	55,004	47,649	42,133	47,073	51,783	56,039	46,894	68,032	61,761	50,561	66,965	68,291	59,354
麻酔科	61,237	63,236	0	64,501	73,146	109,965	91,813	49,491	41,357	105,765	0	0	73,828
精神科	22,563	25,941	22,450	23,755	22,607	21,047	21,959	21,553	20,004	23,709	22,734	24,904	23,399
血管外科・心臓外科	63,943	48,293	69,176	50,711	49,973	98,697	63,366	52,663	73,526	58,969	71,139	84,233	53,481
循環器内科	59,832	55,063	63,465	63,786	60,586	51,469	54,704	62,122	64,778	67,466	59,025	58,043	57,778
形成外科	66,384	0	0	0	0	0	0	66,993	67,837	83,200	162,456	71,336	48,461
神経内科	42,671	42,991	45,371	47,576	45,070	41,811	44,100	45,217	44,115	43,954	40,728	39,052	38,248
合計	53,526	52,749	55,721	53,064	52,203	53,369	52,203	55,217	54,125	52,828	54,432	53,098	53,355
前年度	53,196	51,532	50,973	52,523	51,845	53,008	53,667	52,886	53,576	55,721	54,253	53,106	55,403
増加率	0.6%	2.4%	9.3%	1.0%	0.7%	0.7%	△2.7%	4.4%	1.0%	△5.2%	0.3%	0.0%	△3.7%

3. 外来 診療科患別・月別 患者数、稼働額、単価

(1) 外来患者数

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	22,351	1,913	1,801	1,868	1,908	1,978	1,791	1,968	1,818	1,818	1,949	1,693	1,846
消化器内科	6,720	451	429	567	510	589	593	634	613	616	553	522	643
糖尿病・代謝内科	7,354	615	537	616	608	627	569	623	638	636	666	551	668
小児科	4,076	336	336	370	316	410	304	359	292	364	342	293	354
外科	7,447	604	601	641	591	618	611	670	689	618	648	557	599
呼吸器外科	4,543	333	327	368	387	419	439	392	412	390	350	352	374
整形外科	17,035	1,407	1,392	1,469	1,475	1,561	1,398	1,304	1,395	1,420	1,375	1,292	1,547
脳神経外科	8,906	781	717	805	698	812	738	731	781	742	678	639	784
皮膚科	6,308	501	490	585	552	595	577	522	508	494	496	425	563
泌尿器科	725	51	55	56	51	78	59	59	70	56	58	60	72
産婦人科	9,430	731	736	792	794	822	821	865	773	836	781	716	763
眼科	5,678	471	434	506	408	492	458	505	452	522	421	483	526
耳鼻咽喉科	7,570	649	717	667	610	689	677	640	636	590	573	518	604
麻酔科	877	68	58	55	59	74	78	99	75	84	72	71	84
精神科	12,126	1,057	981	1,056	1,034	1,065	992	1,044	1,019	1,002	959	915	1,002
血管外科・心臓外科	4,149	356	336	352	328	384	340	335	342	365	339	295	377
循環器内科	17,037	1,366	1,379	1,441	1,484	1,436	1,420	1,402	1,465	1,388	1,471	1,263	1,522
形成外科	1,552	53	65	63	55	61	72	189	191	200	188	198	217
神経内科	5,397	449	444	455	461	463	415	440	468	470	452	426	454
放射線科	19	0	0	1	2	2	3	2	1	2	2	3	1
合計	149,300	12,192	11,835	12,733	12,331	13,175	12,355	12,783	12,638	12,613	12,373	11,272	13,000
1日平均	614.4	609.6	622.9	578.8	616.6	598.9	617.8	608.7	631.9	630.7	651.2	593.3	619.0
前年度	151,422	12,296	12,051	12,643	12,693	13,138	12,864	12,769	12,952	12,509	12,187	11,683	13,637
1日平均	623.1	614.8	634.3	574.7	634.7	597.2	643.2	638.5	647.6	658.4	641.4	584.2	619.9
増加率	△1.4%	△0.8%	△1.8%	0.7%	△2.9%	0.3%	△4.0%	0.1%	△2.4%	0.8%	1.5%	△3.5%	△4.7%

(2) 外来稼働額

(単位：円)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	402,779,306	33,031,155	30,357,922	33,416,556	33,647,593	34,110,138	33,769,861	34,096,233	34,356,344	33,658,518	36,210,636	32,545,445	33,578,905
消化器内科	101,465,696	8,193,510	7,245,330	8,378,570	7,814,850	9,209,290	8,002,710	8,860,980	8,453,872	9,132,504	8,460,526	7,169,610	10,543,944
糖尿病・代謝内科	64,799,961	5,237,340	4,882,333	5,458,110	5,320,833	5,539,833	5,280,450	5,602,090	5,442,290	5,480,402	5,933,850	4,880,480	5,741,950
小児科	37,991,554	3,531,918	2,874,485	4,043,146	3,124,698	4,091,941	2,851,623	3,326,801	2,263,843	2,621,793	3,515,554	2,664,975	3,080,777
外科	121,508,377	9,735,953	10,521,223	10,963,120	8,847,621	10,702,050	9,087,767	10,359,237	11,760,379	10,240,008	9,954,653	10,311,286	9,025,080
呼吸器外科	140,375,215	7,099,252	9,057,583	11,047,311	11,462,954	13,386,569	12,855,954	12,867,471	11,739,203	14,272,701	12,915,340	11,816,960	11,853,917
整形外科	96,958,042	7,651,087	7,969,127	8,157,462	8,639,938	8,221,827	7,635,858	7,218,286	7,817,170	8,976,426	8,904,358	7,459,179	8,307,324
脳神経外科	112,446,875	9,527,873	9,028,851	10,380,298	9,085,546	10,154,998	10,209,867	9,639,364	8,950,815	9,543,622	8,129,299	8,340,268	9,456,074
皮膚科	18,935,787	1,439,000	1,631,750	2,099,700	1,539,438	1,743,483	1,685,440	1,925,770	1,339,985	1,261,926	1,228,760	1,122,123	1,918,412
泌尿器科	4,626,087	282,710	234,170	601,130	370,070	416,790	466,190	398,770	306,833	355,774	376,600	309,920	507,130
産婦人科	111,398,956	8,845,650	8,497,410	9,356,860	9,499,890	9,690,200	9,588,680	10,107,310	9,400,320	10,167,669	9,068,492	8,115,680	9,060,795
眼科	31,552,697	2,523,890	2,135,230	2,905,358	2,424,839	2,550,441	2,679,530	2,874,510	2,317,380	2,968,761	2,516,074	2,867,390	2,789,294
耳鼻咽喉科	52,320,472	3,114,063	3,935,380	3,992,100	4,597,163	4,525,563	5,013,893	4,828,657	4,842,700	3,912,604	4,302,457	4,153,862	5,102,030
麻酔科	1,935,277	114,540	116,360	87,940	108,980	119,480	175,850	194,420	185,800	320,987	206,560	141,960	162,400
精神科	69,398,424	6,090,979	5,641,451	6,316,472	6,114,571	6,282,985	5,919,071	5,912,050	5,683,167	5,498,756	5,391,597	5,116,435	5,430,890
血管外科・心臓外科	27,300,256	2,194,728	2,078,904	2,199,507	2,002,780	2,286,792	2,321,320	2,198,892	2,440,604	2,445,238	2,466,939	2,251,812	2,412,740
循環器内科	145,275,062	11,866,682	11,816,227	11,863,936	11,768,080	11,833,873	11,993,029	12,133,797	12,499,283	12,234,882	12,526,925	11,760,483	12,977,865
形成外科	17,793,075	403,331	673,630	829,370	681,180	535,469	536,920	2,725,844	2,205,756	2,498,301	1,824,425	2,432,428	2,446,421
神経内科	42,595,797	3,274,532	3,061,386	3,721,463	3,403,450	3,850,059	3,590,240	3,558,651	3,911,559	3,760,420	3,299,407	3,622,870	3,541,760
放射線科	4,599,200	402,350	348,300	363,140	402,060	420,330	474,560	376,410	363,830	292,200	433,220	318,490	404,310
健診	65,947,487	5,581,688	1,751,916	1,842,864	4,355,275	4,708,515	5,077,802	7,080,117	7,854,916	8,382,361	4,820,784	5,892,816	8,598,433
合計	1,672,003,603	130,142,231	123,858,968	138,024,413	135,211,809	144,380,626	139,216,615	146,285,660	144,136,049	148,025,853	142,486,456	133,294,472	146,940,451
前年度	1,635,839,005	130,345,728	125,186,431	135,397,701	132,902,649	135,725,170	135,806,188	141,333,530	137,601,664	141,452,570	138,461,155	134,256,650	147,369,569
増加率	2.2%	△0.2%	△1.1%	1.9%	1.7%	6.4%	2.5%	3.5%	4.7%	4.6%	2.9%	△0.7%	△0.3%

(3) 外来単価

(単位：円)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	18,021	17,267	16,856	17,889	17,635	17,245	18,855	17,325	18,898	18,514	18,579	19,224	18,190
消化器内科	15,099	18,167	16,889	14,777	15,323	15,635	13,495	13,976	13,791	14,825	15,299	13,735	16,398
糖尿病・代謝内科	8,812	8,516	9,092	8,861	8,751	8,835	9,280	8,992	8,530	8,617	8,910	8,857	8,596
小児科	9,321	10,512	8,555	10,927	9,888	9,980	9,380	9,267	7,753	7,203	10,279	9,095	8,703
外科	16,316	16,119	17,506	17,103	14,971	17,317	14,874	15,462	17,069	16,570	15,362	18,512	15,067
呼吸器外科	30,899	21,319	27,699	30,020	29,620	31,949	29,285	32,825	28,493	36,597	36,901	33,571	31,695
整形外科	5,692	5,438	5,725	5,553	5,858	5,267	5,462	5,535	5,604	6,321	6,476	5,773	5,370
脳神経外科	12,626	12,200	12,593	12,895	13,017	12,506	13,835	13,187	11,461	12,862	11,990	13,052	12,061
皮膚科	3,002	2,872	3,330	3,589	2,789	2,930	2,921	3,689	2,638	2,555	2,477	2,640	3,407
泌尿器科	6,381	5,543	4,258	10,734	7,256	5,343	7,902	6,759	4,383	6,353	6,493	5,165	7,043
産婦人科	11,813	12,101	11,545	11,814	11,965	11,789	11,679	11,685	12,161	12,162	11,611	11,335	11,875
眼科	5,557	5,359	4,920	5,742	5,943	5,184	5,851	5,692	5,127	5,687	5,976	5,937	5,303
耳鼻咽喉科	6,912	4,798	5,489	5,985	7,536	6,568	7,406	7,545	7,614	6,632	7,509	8,019	8,447
麻酔科	2,207	1,684	2,006	1,599	1,847	1,615	2,254	1,964	2,477	3,821	2,869	1,999	1,933
精神科	5,723	5,763	5,751	5,982	5,914	5,900	5,967	5,663	5,577	5,488	5,622	5,592	5,420
血管外科・心臓外科	6,580	6,165	6,187	6,249	6,106	5,955	6,827	6,564	7,136	6,699	7,277	7,633	6,400
循環器内科	8,527	8,687	8,569	8,233	7,930	8,241	8,446	8,655	8,532	8,815	8,516	9,312	8,527
形成外科	11,465	7,610	10,364	13,165	12,385	8,778	7,457	14,422	11,548	12,492	9,704	12,285	11,274
神経内科	7,892	7,293	6,895	8,179	7,383	8,315	8,651	8,088	8,358	8,001	7,300	8,504	7,801
放射線科	242,063	0	0	363,140	201,030	210,165	158,187	188,205	363,830	146,100	216,610	106,163	404,310
合計	11,199	10,674	10,465	10,840	10,965	10,959	11,268	11,444	11,405	11,734	11,516	11,825	11,303
前年度	10,803	10,601	10,388	10,709	10,471	10,331	10,557	11,068	10,624	11,308	11,361	11,492	10,807
増加率	2.7%	0.7%	0.7%	1.2%	4.7%	6.1%	6.7%	3.4%	7.4%	3.8%	1.4%	2.9%	4.6%

4. 診療科別・行為別稼働額

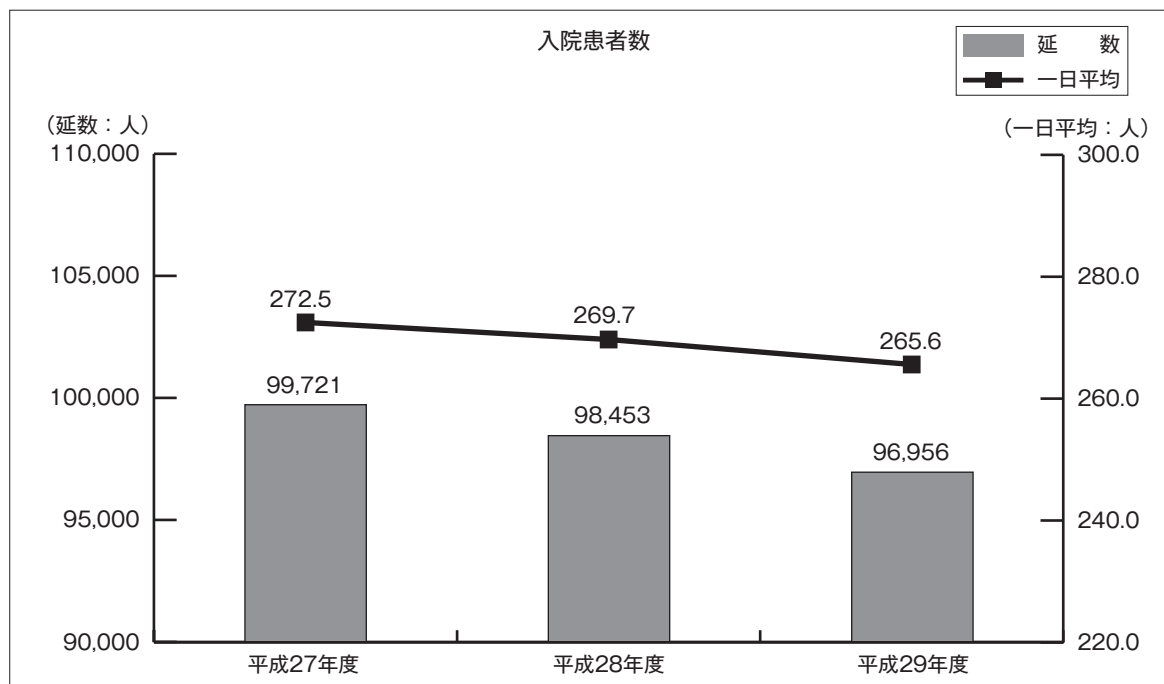
(単位：千円)

	入院料収益										入院診療収益/外来診療収益										自費収益(C)		合計 (A)+(B) +(C)
	DPC 稼働額	入院料	食事 療養費	計(A)	検査料	画像 診断料	投薬料	注射料	処置料	手術料等	初診 再診料	医学 管理料	在宅 管理料	理学 療法料	精神 療法料	処方箋料 その他	小計(B)	室料 差額	文書検診 その他				
内科	入院	452,888	58,429	19,867	531,184	6,213	898	6,147	34,182	995	37,219	1,187	7,139	2,582	14,053	854	0	111,470	16,347	1,623	660,624		
	外来					132,209	35,727	1,212	149,640	332	1,120	18,569	9,243	36,452	60	0	9,646		394,210		8,569	402,779	
消化器 内科	入院	232,247	53,056	8,979	294,282	6,268	853	2,820	2,799	522	48,571	629	3,851	344	4,421	282	0	71,359	11,425	722	377,788		
	外来					53,245	17,875	77	13,509	132	1,796	5,994	3,135	973	0	0	1,777		98,513		2,952	101,466	
糖尿病 内科	入院	95,969	7,028	6,736	109,733	411	104	781	102	153	2,316	92	1,869	1,383	2,184	189	0	9,583	2,031	150	121,497		
	外来					30,473	628	13	15	22	0	4,761	485	23,549	0	0	4,244		64,189		611	64,800	
小児科	入院	16,663	8,260	679	25,602	132	4	38	1,699	0	145	317	571	0	13	0	0	2,919	21	44	28,586		
	外来					5,753	992	216	131	7	0	2,410	5,786	6,525	0	0	833		22,652		15,340	37,992	
外科	入院	175,343	33,564	6,435	215,341	2,710	209	1,086	841	346	130,296	369	3,595	641	2,786	257	0	143,137	7,263	642	366,382		
	外来					25,795	20,946	84	52,555	534	2,867	6,274	7,114	786	8	0	2,100		119,062		2,447	121,508	
呼吸器 外科	入院	147,474	22,551	6,649	176,674	3,042	406	1,015	10,614	154	129,106	266	3,467	406	4,438	65	1,827	154,806	4,725	404	336,608		
	外来					21,042	32,244	39	69,273	70	20	3,749	6,939	3,851	183	0	1,108		138,517		1,859	140,375	
整形外科	入院	353,970	34,875	25,780	414,626	1,044	1,169	2,517	574	2,728	273,685	1,762	9,186	491	34,735	468	28	328,389	6,650	761	750,425		
	外来					6,593	30,982	368	10,241	3,368	5,041	15,019	2,916	1,276	2,990	0	6,911		85,706		11,252	96,958	
脳神経 外科	入院	325,111	50,005	13,940	389,055	1,849	3,227	1,761	423	699	210,892	1,789	5,320	69	43,047	127	350	269,554	5,714	1,048	665,370		
	外来					10,632	69,048	219	4,095	351	2,976	10,020	5,789	579	563	0	3,212		107,485		4,962	112,447	
皮膚科	入院	5,156	1,382	475	7,013	73	44	57	213	13	8	69	145	20	257	0	4	903	80	11	8,006		
	外来					3,350	76	118	1,926	1,591	424	5,534	1,987	34	10	0	3,041		18,093		843	18,936	
泌尿器科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	外来					1,340	862	15	657	37	141	715	398	79	0	0	318		4,560		66	4,626	

(単位：千円)

	入院料収益				入院診療収益/外来診療収益												自費収益(C)		合計 (A)+(B) +(C)		
	DPC 稼働額	入院料	食事 療養費	計(A)	検査料	画像 診断料	投薬料	注射料	処置料	手術料等	初診 再診料	医学 管理料	在宅 管理料	理学 療法料	精神 療法料	処方箋料 その他	小計(B)	室料 差額		文書検診 その他	
産婦 人科	入院	159,025	53,369	7,041	219,435	4,369	157	1,062	1,418	1,275	207,850	262	4,565	77	260	65	0	221,359	7,987	8,570	
	外来					44,774	15,629	113	12,460	809	692	6,396	5,526	72	0	0	0	1,380	87,851		23,548
眼 科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来					20,498	367	6	0	31	3,603	3,735	494	0	0	0	2,374	31,108		445	31,553
耳鼻 咽 喉科	入院	66,327	2,673	3,120	72,120	1,845	1	413	0	0	38,124	408	2,327	0	317	3		43,439	1,911	130	
	外来					21,720	13,216	160	127	1,187	1,716	7,744	1,308	276	374	0	2,418	50,246		2,075	52,320
麻酔 科	入院	3,061	1,187	91	4,339	8	5	273	2	13	213	22	82	0	67	12		697	133	36	
	外来					93	118	1	30	42	355	631	95	66	0	0	413	1,842		93	1,935
精神 科	入院	64,069	8,273	8,273	72,342	3,641	2,653	4,969	3,052	2,555	211	94	2,324	110	4,145	11,858	0	35,611	73	232	
	外来					3,127	4,253	18	336	1	9	8,899	2,787	1,192	0	38,788	6,903	66,312		3,086	69,398
産科 心臓 科	入院	82,671	17,970	4,569	105,210	518	328	839	1,324	1,597	68,116	206	1,145	83	1,470	57	0	75,685	2,463	416	
	外来					8,330	10,241	48	38	138	12	3,069	1,851	588	0	0	1,995	26,311		990	27,300
循環 器 内科	入院	399,713	65,761	20,951	486,425	15,662	375	7,561	2,038	1,384	229,738	957	7,444	1,573	9,746	398	0	276,876	14,346	1,482	
	外来					72,091	20,071	158	3,717	513	56	12,940	5,655	17,701	2	0	8,409	141,311		3,964	145,275
形成 外科	入院	2,674	37	128	2,839	54	0	17	0	0	2,984		78	0	0	0	0	3,134	134	6,107	
	外来					4,819	585	4	1	229	9,233	1,895	193	9	0	0	364	17,331		462	17,793
神経 内科	入院	162,480	17,564	7,507	187,552	916	455	1,019	526	213	610	705	2,629	449	18,481	162	0	26,165	2,932	291	
	外来					7,554	16,529	109	1,734	49	819	5,195	3,300	2,773	163	0	2,285	40,510		2,086	42,596
放射 線科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外来																	645		3,955	4,599
合 計	入院	2,680,772	491,781	141,221	3,313,773	48,758	10,888	32,374	59,807	12,646	1,380,086	9,131	55,738	8,227	140,423	14,797	2,209	1,775,084	84,229	16,562	
	外来					473,436	290,942	2,978	320,485	9,442	30,877	123,595	65,044	96,780	4,354	38,788	59,732	151,645		155,550	1,672,004

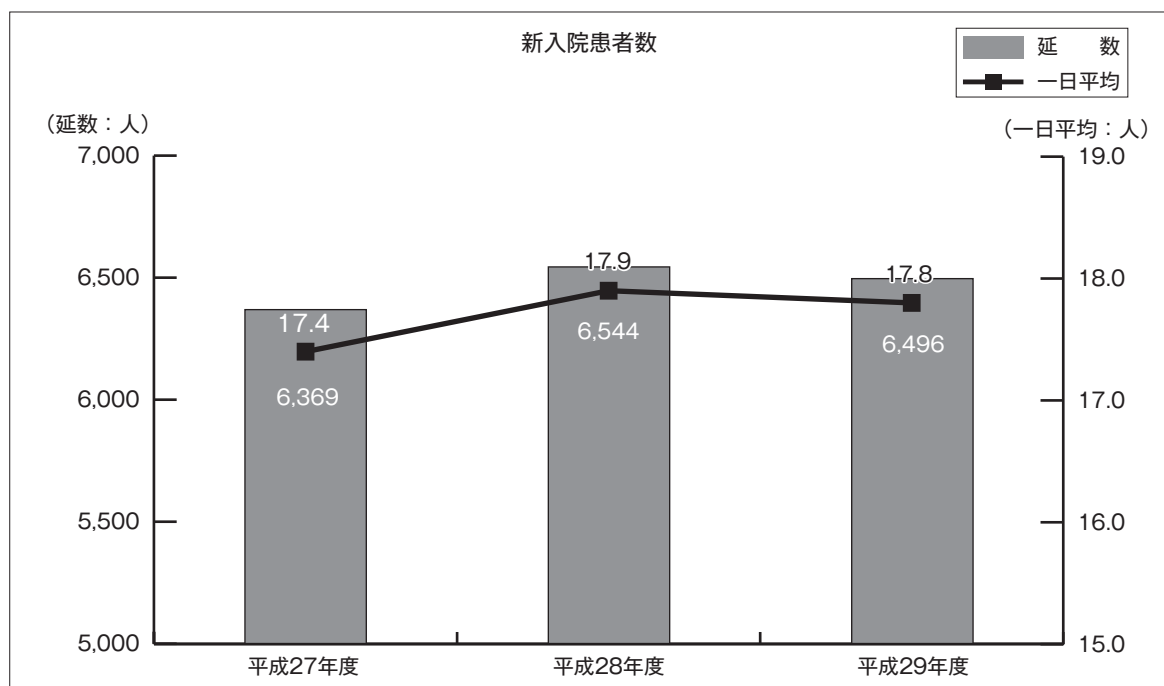
5. 入院患者数



(単位：人)

	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均
内科	15,812	43.2	19,073	52.3	15,244	41.8
消化器内科	7,219	19.7	5,808	15.9	8,370	22.9
糖尿病・代謝内科	—	—	—	—	3,609	9.9
小児科	788	2.2	526	1.4	543	1.5
外科	12,545	34.3	8,162	22.4	5,918	16.2
呼吸器外科	—	—	4,832	13.2	4,247	11.6
整形外科	14,756	40.3	13,313	36.5	14,075	38.6
脳神経外科	10,610	29.0	9,166	25.1	9,803	26.9
皮膚科	384	1.0	226	0.6	240	0.7
泌尿器科	0	0.0	0	0.0	0	0.0
産婦人科	7,996	21.8	8,722	23.9	6,814	18.7
眼科	7	0.0	7	0.0	0	0.0
耳鼻咽喉科	878	2.4	1,567	4.3	2,138	5.9
麻酔科	233	0.6	48	0.1	85	0.2
精神科	7,763	21.2	7,270	19.9	4,798	13.1
血管外科・心臓外科	2,901	7.9	2,883	7.9	2,874	7.9
循環器内科	12,728	34.8	12,066	33.1	13,022	35.7
形成外科	0	0.0	0	0.0	92	0.3
神経内科	5,101	13.9	4,784	13.1	5,084	13.9
放射線科	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	99,721	272.5	98,453	269.7	96,956	265.6

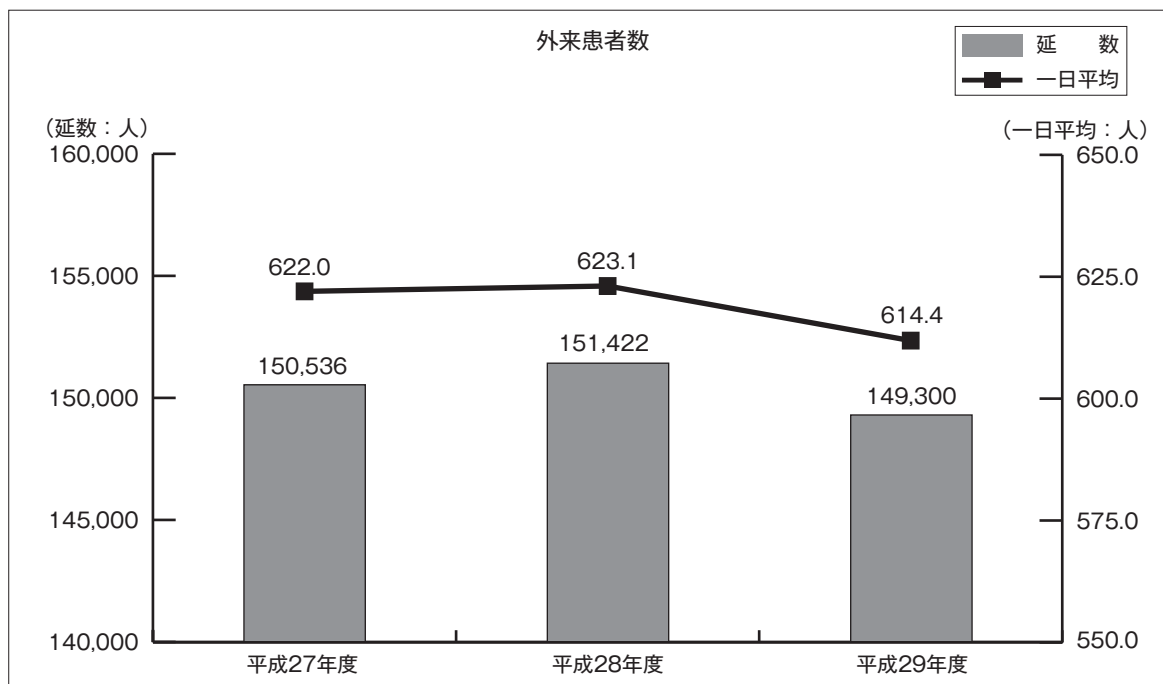
6. 新入院患者数



(単位: 人)

	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均
内 科	990	2.7	1,137	3.1	957	2.6
消化器内科	556	1.5	479	1.3	636	1.7
糖尿病・代謝内科	—	—	—	—	149	0.4
小 児 科	163	0.4	108	0.3	113	0.3
外 科	843	2.3	436	1.2	399	1.1
呼吸器外科	—	—	360	1.0	330	0.9
整形外科	695	1.9	691	1.9	703	1.9
脳神経外科	682	1.9	668	1.8	662	1.8
皮 膚 科	29	0.1	17	0.0	14	0.0
泌尿器科	0	0.0	0	0.0	0	0.0
産婦人科	913	2.5	1,049	2.9	830	2.3
眼 科	1	0.0	1	0.0	0	0.0
耳鼻咽喉科	136	0.4	246	0.7	330	0.9
麻 醉 科	21	0.1	11	0.0	20	0.1
精 神 科	117	0.3	123	0.3	104	0.3
血管外科・心臓外科	143	0.4	176	0.5	175	0.5
循環器内科	764	2.1	762	2.1	775	2.1
形成外科	0	0.0	0	0.0	16	0.0
神経内科	316	0.9	280	0.8	283	0.8
放射線科	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合 計	6,369	17.4	6,544	17.9	6,496	17.8

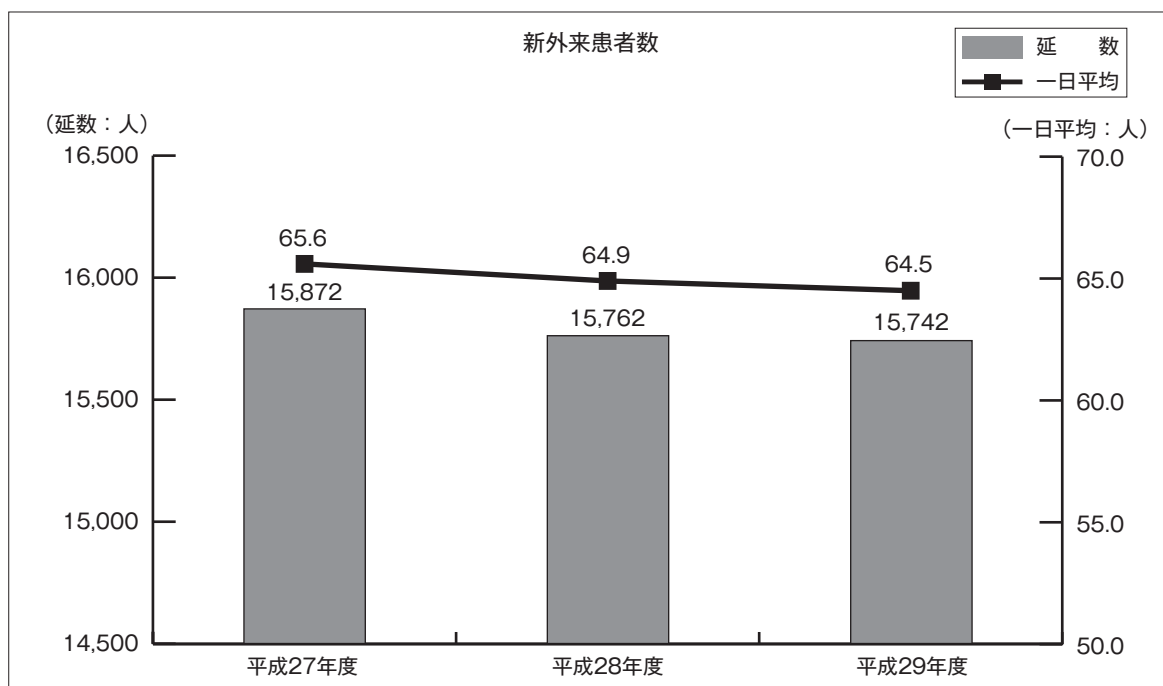
7. 外来患者数



(単位：人)

	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均
内 科	29,500	121.9	30,085	123.8	22,351	92.0
消化器内科	6,142	25.4	5,824	24.0	6,720	27.7
糖尿病・代謝内科	—	—	—	—	7,354	30.3
小 児 科	4,294	17.7	4,359	17.9	4,076	16.8
外 科	13,212	54.6	8,350	34.4	7,447	30.6
呼吸器外科	—	—	4,690	19.3	4,543	18.7
整 形 外 科	17,022	70.3	17,355	71.4	17,035	70.1
脳神経外科	9,434	39.0	9,161	37.7	8,906	36.7
皮 膚 科	6,463	26.7	6,171	25.4	6,308	26.0
泌 尿 器 科	706	2.9	814	3.3	725	3.0
産 婦 人 科	11,677	48.3	10,922	44.9	9,430	38.8
眼 科	5,768	23.8	5,734	23.6	5,678	23.4
耳鼻咽喉科	6,013	24.8	7,113	29.3	7,570	31.2
麻 醉 科	810	3.3	692	2.8	877	3.6
精 神 科	13,759	56.9	13,758	56.6	12,126	49.9
血管外科・心臓外科	4,630	19.1	4,506	18.5	4,149	17.1
循環器内科	15,431	63.8	16,070	66.1	17,037	70.1
形 成 外 科	616	2.5	685	2.8	1,552	6.4
神 経 内 科	5,044	20.8	5,110	21.0	5,397	22.2
放 射 線 科	15	0.1	23	0.1	19	0.1
合 計	150,536	622.0	151,422	623.1	149,300	614.4

8. 新外来患者数



(単位：人)

	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均
内科	2,256	9.3	2,064	8.5	1,877	7.7
消化器内科	1,008	4.2	857	3.5	1,105	4.5
糖尿病・代謝内科	—	—	—	—	205	0.8
小児科	452	1.9	420	1.7	324	1.3
外科	1,318	5.4	880	3.6	826	3.4
呼吸器外科	—	—	502	2.1	489	2.0
整形外科	1,808	7.5	2,062	8.5	1,748	7.2
脳神経外科	1,382	5.7	1,364	5.6	1,283	5.3
皮膚科	1,306	5.4	1,178	4.8	1,225	5.0
泌尿器科	144	0.6	157	0.6	159	0.7
産婦人科	992	4.1	980	4.0	793	3.3
眼科	443	1.8	418	1.7	534	2.2
耳鼻咽喉科	1,377	5.7	1,676	6.9	1,765	7.3
麻酔科	42	0.2	20	0.1	39	0.2
精神科	576	2.4	541	2.2	357	1.5
血管外科・心臓外科	352	1.5	295	1.2	299	1.2
循環器内科	1,250	0.0	1,265	5.2	1,370	5.6
形成外科	155	0.6	188	0.8	462	1.9
神経内科	996	4.1	877	3.6	863	3.6
放射線科	15	0.1	18	0.1	19	0.1
合計	15,872	65.6	15,762	64.9	15,742	64.5

9. 診療科別稼働額

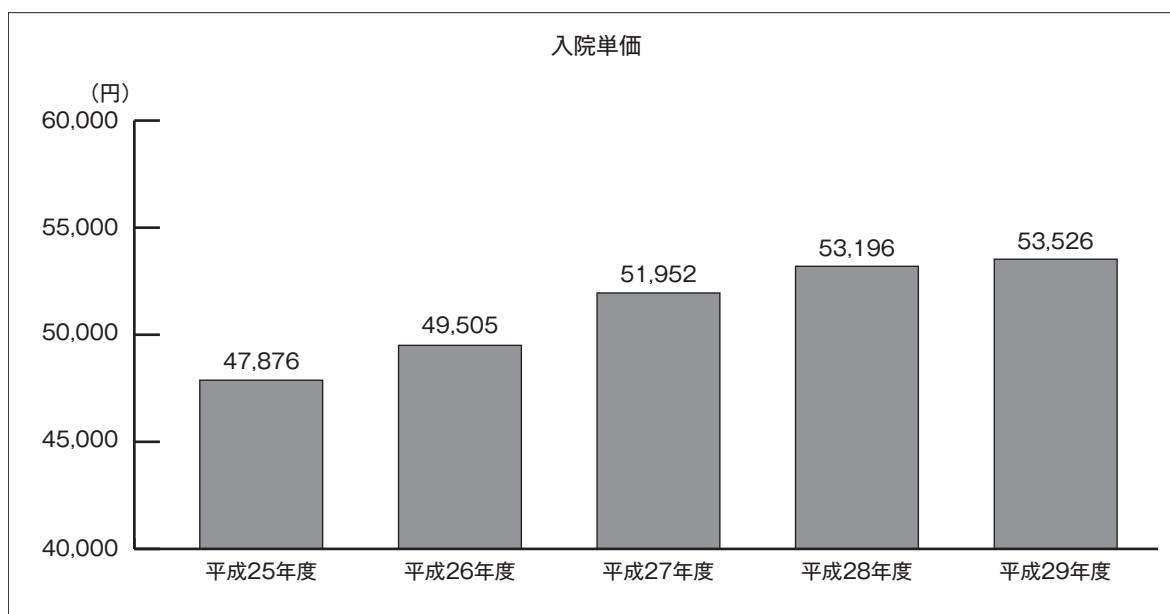
(単位：円)

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
内科	入院	675,256,573	718,779,059	660,069,023	784,378,199	660,623,804
	外来	490,504,072	452,698,826	448,994,550	454,610,932	402,779,306
	合計	1,165,760,645	1,171,477,885	1,109,063,573	1,238,989,131	1,063,403,110
消化器内科	入院	203,840,952	286,397,884	312,481,510	270,459,796	377,787,667
	外来	75,859,253	84,723,740	94,752,778	96,723,841	101,465,696
	合計	279,700,205	371,121,624	407,234,288	367,183,637	479,253,363
代謝内科 糖尿病	入院	—	—	—	—	121,496,865
	外来	—	—	—	—	64,799,961
	合計	—	—	—	—	186,296,826
小児科	入院	75,495,874	53,291,818	38,325,648	28,321,856	28,586,056
	外来	38,275,566	33,053,167	35,076,817	40,107,373	37,991,554
	合計	113,771,440	86,344,985	73,402,465	68,429,229	66,577,610
外科	入院	780,837,739	739,251,799	779,586,096	450,039,921	366,382,355
	外来	230,983,794	246,353,585	277,511,770	130,290,765	121,508,377
	合計	1,011,821,533	985,605,384	1,057,097,866	580,330,686	487,890,732
呼吸器外科	入院	—	—	—	374,208,138	336,608,108
	外来	—	—	—	127,174,262	140,375,215
	合計	—	—	—	501,382,400	476,983,323
整形外科	入院	770,702,010	814,854,015	776,578,873	705,532,407	750,424,775
	外来	96,839,184	90,001,805	96,115,417	97,316,276	96,958,042
	合計	867,541,194	904,855,820	872,694,290	802,848,683	847,382,817
脳神経外科	入院	664,255,589	609,983,856	693,967,866	667,345,252	665,369,732
	外来	99,299,596	99,959,910	103,134,703	109,129,246	112,446,875
	合計	763,555,185	709,943,766	797,102,569	776,474,498	777,816,607
皮膚科	入院	23,649,499	10,572,394	12,842,849	7,761,482	8,006,370
	外来	19,927,570	20,892,259	19,299,581	19,506,776	18,935,787
	合計	43,577,069	31,464,653	32,142,430	27,268,258	26,942,157
泌尿器科	入院	76,929,124	120,450	0	0	0
	外来	140,374,588	5,358,156	5,186,905	4,817,417	4,626,087
	合計	217,303,712	5,478,606	5,186,905	4,817,417	4,626,087
産婦人科	入院	485,229,516	437,893,858	476,396,255	532,015,646	457,352,072
	外来	104,688,749	108,342,983	115,294,222	120,084,004	111,398,956
	合計	589,918,265	546,236,841	591,690,477	652,099,650	568,751,028

(単位：円)

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
眼 科	入院	0	0	308,970	380,670	0
	外来	32,578,755	32,318,508	33,311,543	31,843,849	31,552,697
	合計	32,578,755	32,318,508	33,620,513	32,224,519	31,552,697
耳 鼻 咽 喉 科	入院	60,059,316	48,653,696	48,855,028	82,611,985	117,599,269
	外来	26,118,142	25,765,479	26,377,016	37,271,912	52,320,472
	合計	86,177,458	74,419,175	75,232,044	119,883,897	169,919,741
麻 醉 科	入院	6,338,024	11,477,970	8,982,270	2,666,328	5,205,134
	外来	1,599,873	1,679,854	1,362,080	1,331,997	1,935,277
	合計	7,937,897	13,157,824	10,344,350	3,998,325	7,140,411
精 神 科	入院	176,672,741	173,908,394	146,494,775	151,178,807	108,258,073
	外来	79,128,256	78,533,898	76,849,589	80,819,033	69,398,424
	合計	255,800,997	252,442,292	223,344,364	231,997,840	177,656,497
血 管 外 科 ・ 心 臓 外 科	入院	118,837,252	229,633,417	205,583,394	203,683,603	183,773,368
	外来	28,146,526	28,905,959	27,523,806	27,988,892	27,300,256
	合計	146,983,778	258,539,376	233,107,200	231,672,495	211,073,624
循 環 器 内 科	入院	705,982,525	671,654,434	822,250,079	765,449,443	779,128,552
	外来	109,724,429	120,814,607	132,314,213	137,040,290	145,275,062
	合計	815,706,954	792,469,041	954,564,292	902,489,733	924,403,614
形 成 外 科	入院	0	0	0	0	6,107,320
	外来	5,795,035	5,894,099	5,601,242	6,790,159	17,793,075
	合計	5,795,035	5,894,099	5,601,242	6,790,159	23,900,395
神 經 内 科	入院	124,026,517	185,559,892	197,884,913	211,273,077	216,938,829
	外来	23,712,779	31,704,357	42,377,641	41,999,634	42,595,797
	合計	147,739,296	217,264,249	240,262,554	253,272,711	259,534,626
放 射 線 科	入院	0	0	0	0	0
	外来	24,096,760	6,528,780	5,811,280	5,845,920	4,599,200
	合計	24,096,760	6,528,780	5,811,280	5,845,920	4,599,200
健 診	入院	—	—	—	—	—
	外来	—	22,884,053	63,279,816	65,146,427	65,947,487
	合計	—	22,884,053	63,279,816	65,146,427	65,947,487
合 計	入院	4,948,113,251	4,992,032,936	5,180,607,549	5,237,306,610	5,189,648,349
	外来	1,627,652,927	1,473,529,972	1,610,174,969	1,635,839,005	1,672,003,603
	合計	6,575,766,178	6,465,562,908	6,790,782,518	6,873,145,615	6,861,651,952

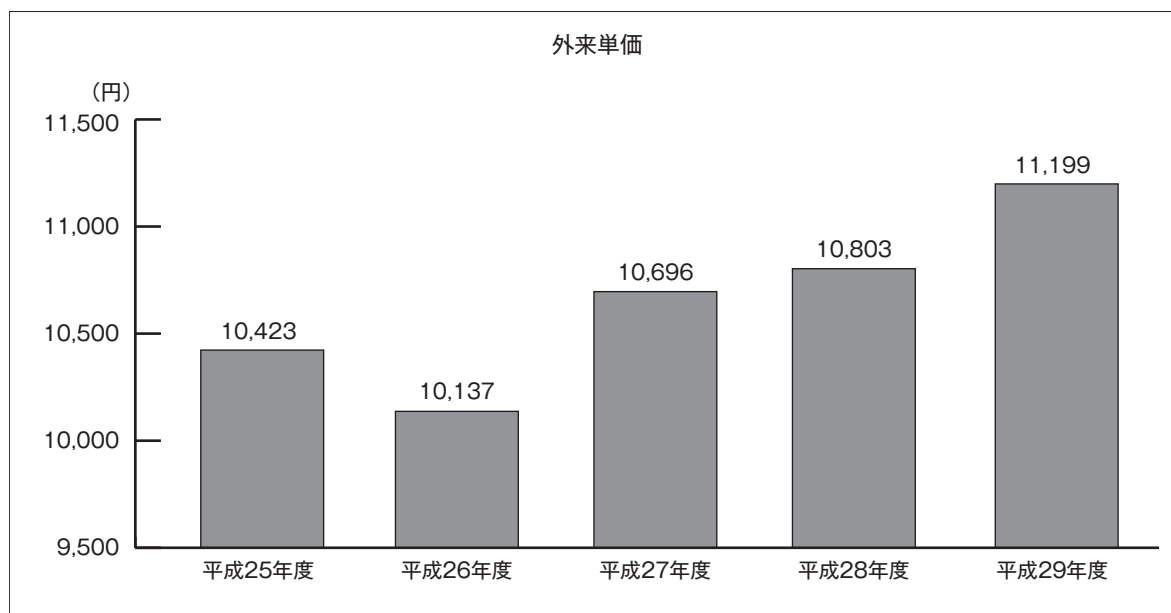
10. 一人一日入院単価(自費収益を含む)



(単位：円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
内 科	41,074	38,607	41,745	41,125	43,337
消化器内科	39,117	41,951	43,292	46,567	45,136
糖尿病・代謝内科	—	—	—	—	33,665
小 児 科	36,773	37,503	48,637	53,844	52,645
外 科	61,702	61,645	62,143	55,138	61,910
呼吸器外科	—	—	—	77,444	79,258
整形外科	48,037	53,147	52,628	52,996	53,316
脳神経外科	58,135	62,930	65,407	72,807	67,874
皮 膚 科	32,892	32,732	33,445	34,343	33,360
泌 尿 器 科	49,219	60,225	0	0	0
産 婦 人 科	59,384	59,618	59,579	60,997	67,119
眼 科	0	0	44,139	54,381	0
耳鼻咽喉科	46,958	52,884	55,644	52,720	55,004
麻 酔 科	33,535	40,274	38,551	55,549	61,237
精 神 科	16,502	17,679	18,871	20,795	22,563
血管外科・心臓外科	51,826	70,267	70,866	70,650	63,943
循環器内科	61,787	64,976	64,602	63,439	59,832
形成外科	0	0	0	0	0
神経内科	39,027	40,009	38,793	44,162	42,671
放射線科	0	0	0	0	0
合 計	47,876	49,505	51,952	53,196	53,526

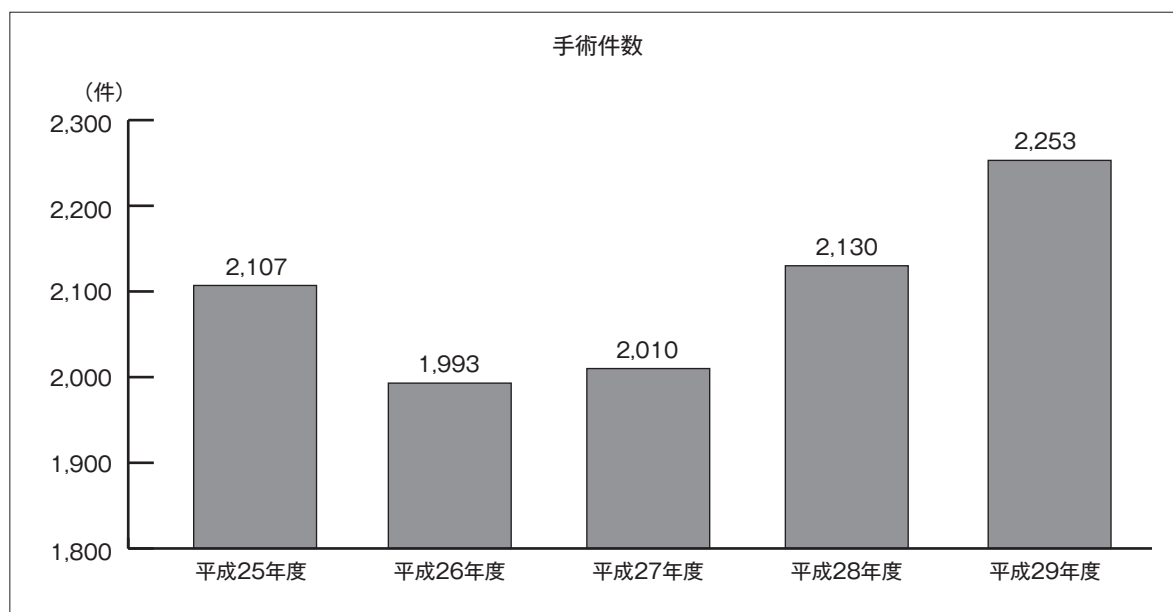
11. 外来単価(自費収益を含む)



(単位：円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
内 科	16,303	15,458	15,220	15,111	18,021
消化器内科	15,251	15,692	15,427	16,608	15,099
糖尿病・代謝内科	—	—	—	—	8,812
小 児 科	6,547	6,724	8,169	9,201	9,321
外 科	20,000	21,153	21,005	15,604	16,316
呼吸器外科	—	—	—	27,116	30,899
整形外科	5,316	5,409	5,647	5,607	5,692
脳神経外科	10,124	10,394	10,932	11,912	12,626
皮 膚 科	2,912	3,003	2,986	3,161	3,002
泌 尿 器 科	16,045	7,320	7,347	5,918	6,381
産 婦 人 科	10,625	9,852	9,874	10,995	11,813
眼 科	5,855	5,605	5,775	5,554	5,557
耳鼻咽喉科	4,220	4,142	4,387	5,240	6,912
麻 酔 科	2,367	1,995	1,682	1,925	2,207
精 神 科	5,290	5,355	5,585	5,874	5,723
血管外科・心臓外科	5,556	6,120	5,945	6,211	6,580
循環器内科	7,773	8,298	8,575	8,528	8,527
形成外科	8,071	8,944	9,093	9,913	11,465
神経内科	7,968	7,972	8,402	8,219	7,892
放射線科	0	544,065	387,419	254,170	242,063
合 計	10,423	10,137	10,696	10,803	11,199

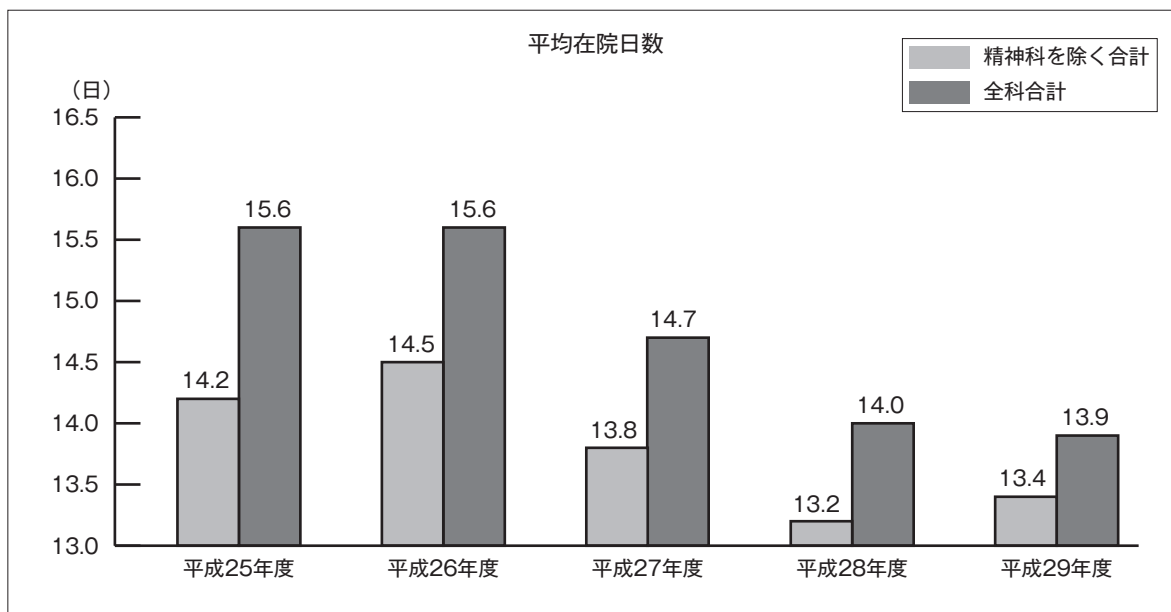
12. 手術件数(手術室)



(単位：件)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
消化器内科	13	3	3	9	3
外科	536	503	541	418	365
呼吸外科	—	—	—	140	135
整形外科	634	571	575	524	573
脳神経外科	147	166	164	161	166
泌尿器科	102	7	4	7	6
産婦人科	335	341	361	389	381
眼科	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	88	73	70	105	125
麻酔科	4	22	4	9	6
精神科	107	140	144	191	154
血管外科・ 心臓外科	58	73	42	62	63
循環器内科	0	0	0	0	0
形成外科	83	94	102	115	276
合計	2,107	1,993	2,010	2,130	2,253

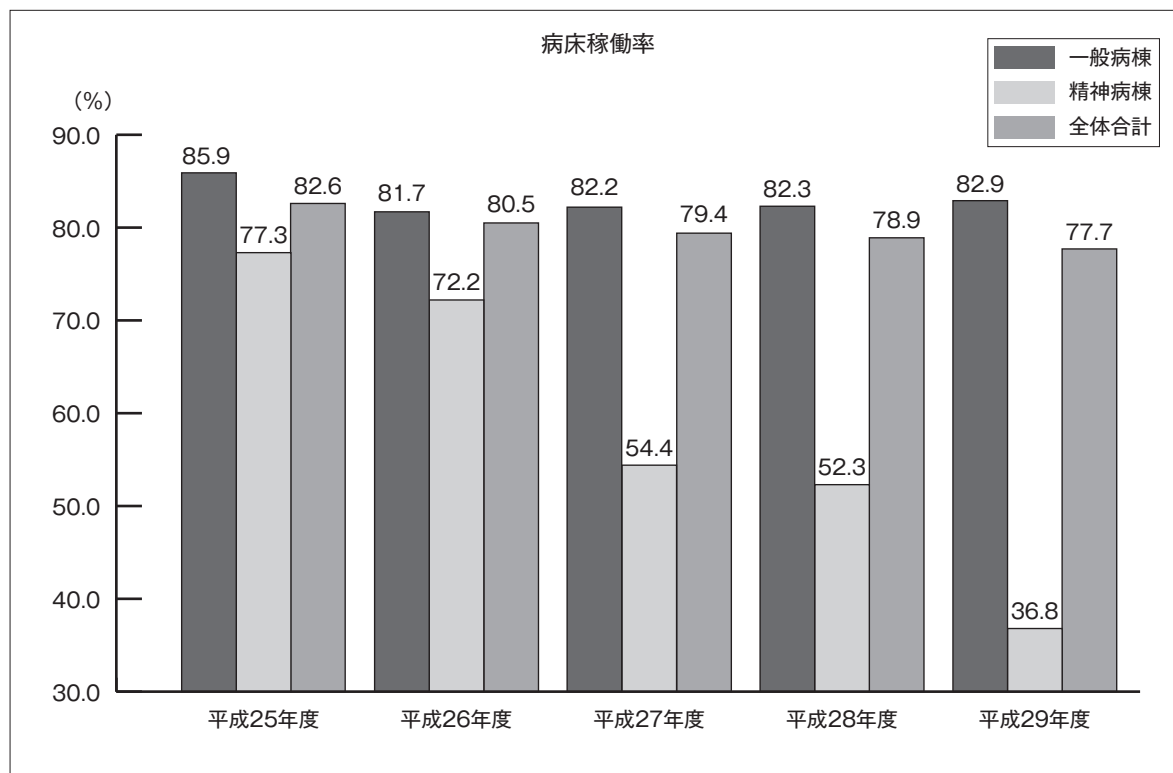
13. 平均在院日数



(単位：日)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
内 科	16.1	18.0	15.5	16.1	15.4
消 化 器 内 科	13.0	13.3	12.0	11.3	12.4
糖尿病・代謝内科	—	—	—	—	23.0
小 児 科	7.6	5.5	3.8	4.0	3.8
外 科	15.5	14.3	13.8	16.6	13.3
呼 吸 器 外 科	—	—	—	12.3	11.8
整 形 外 科	20.8	20.6	20.0	18.2	19.0
脳 神 経 外 科	16.6	13.5	14.8	12.9	14.0
皮 膚 科	15.7	17.5	12.2	14.2	15.5
泌 尿 器 科	5.8	1.0	0.0	0.0	0.0
産 婦 人 科	7.8	8.5	7.8	7.3	7.1
眼 科	0.0	0.0	6.0	6.0	0.0
耳 鼻 咽 喉 科	6.1	5.3	5.5	5.5	5.4
麻 醉 科	13.5	11.5	11.7	3.6	4.8
血管外科・心臓外科	14.3	18.1	19.7	15.4	15.6
循 環 器 内 科	17.7	15.6	15.3	15.0	15.7
形 成 外 科	—	—	—	—	4.8
神 経 内 科	16.1	15.1	15.3	16.0	17.0
精神科を除く合計	14.2	14.5	13.8	13.2	13.4
精 神 科	63.0	53.2	60.0	48.8	38.5
全 科 合 計	15.6	15.6	14.7	14.0	13.9

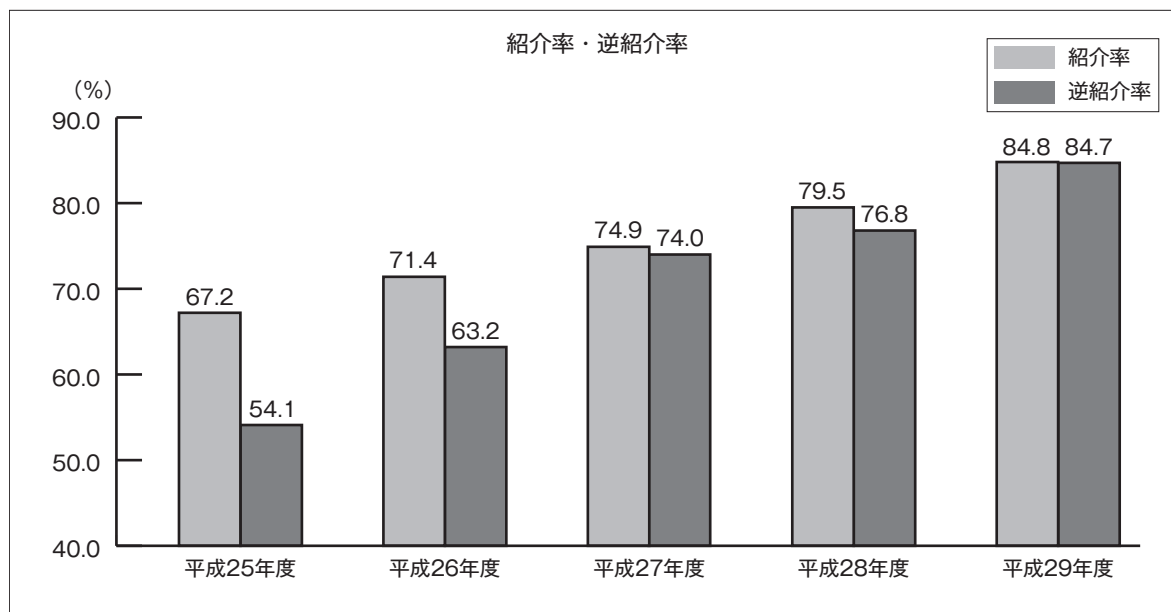
14. 病床稼働率(退院を含む)



(単位: %)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
1号館 2病棟	83.4	78.3	80.5	81.7	76.1
1号館 3病棟	88.2	84.5	83.1	78.5	83.3
1号館 4病棟	81.5	86.9	85.2	86.2	91.0
2号館 3病棟	79.4	72.3	77.8	85.0	69.8
3号館 4病棟	85.2	80.2	84.8	78.9	83.4
本館 3病棟	84.2	82.7	85.0	83.8	86.9
本館 4病棟	79.8	82.7	81.4	83.5	85.1
一般病棟	85.9	81.7	82.2	82.3	82.9
2号館 2病棟	77.3	72.2	54.4	52.3	36.8
全体合計	82.6	80.5	79.4	78.9	77.7

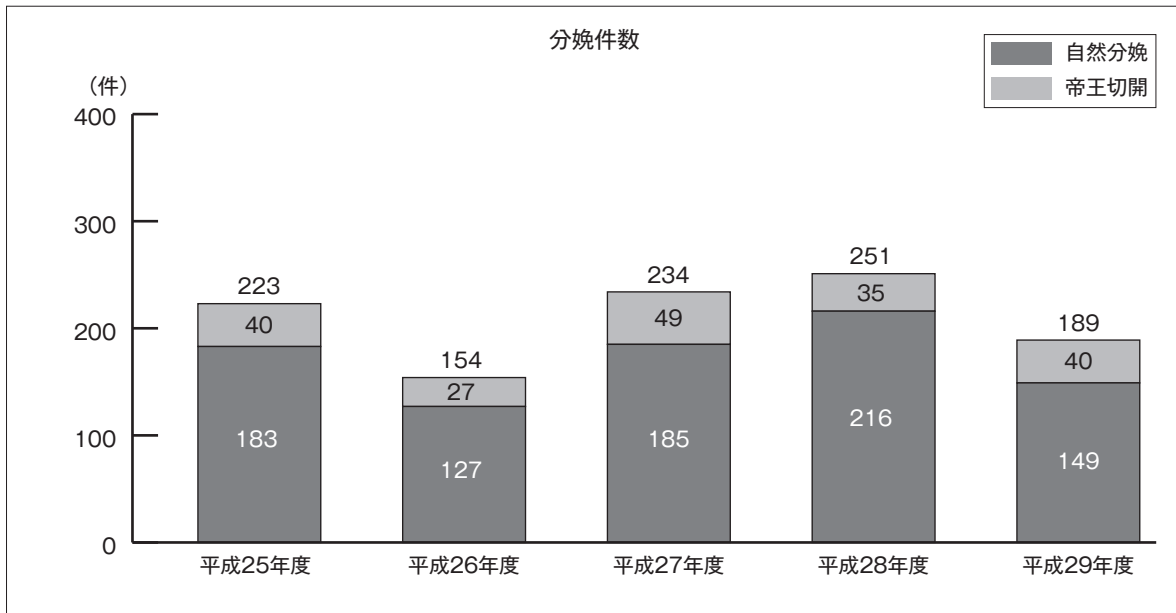
15. 紹介率・逆紹介率



(単位: %)

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	紹介率	逆紹介率	紹介率	逆紹介率	紹介率	逆紹介率	紹介率	逆紹介率	紹介率	逆紹介率
内 科	70.7	44.9	74.2	60.6	76.8	61.8	85.6	74.6	80.5	86.9
消化器内科	86.9	55.9	85.4	54.8	88.4	65.5	92.8	64.0	98.3	67.3
糖尿病・代謝内科	—	—	—	—	—	—	—	—	92.8	143.3
小 児 科	59.4	9.7	50.1	13.3	62.6	20.1	56.4	28.1	57.9	36.2
外 科	70.8	48.8	80.4	57.8	80.6	73.7	70.5	70.8	82.4	95.8
呼吸器外科	—	—	—	—	—	—	108.1	91.2	109.5	98.2
整形外科	65.1	45.4	66.1	61.0	69.9	99.4	77.4	70.5	81.9	87.3
脳神経外科	72.9	72.8	126.2	240.2	120.5	216.9	126.3	228.2	129.3	241.9
皮 膚 科	55.4	23.9	52.8	19.9	55.0	27.9	54.0	30.8	52.4	29.9
泌尿器科	73.9	299.8	68.6	120.0	125.0	212.5	81.0	133.3	87.0	143.5
産婦人科	54.4	31.0	57.7	39.0	58.7	36.5	65.2	38.3	67.5	61.8
眼 科	38.5	38.0	46.6	65.7	44.0	85.5	46.3	83.6	51.0	66.9
耳鼻咽喉科	56.3	25.8	55.1	28.1	56.3	33.1	65.2	28.0	70.0	46.1
麻 酔 科	64.0	44.0	109.1	63.6	42.9	57.1	77.8	44.4	84.2	63.2
精 神 科	50.3	41.0	45.1	84.2	47.4	88.5	54.4	115.0	92.2	156.3
血管外科・心臓外科	82.5	46.5	112.2	73.2	95.9	75.9	98.1	95.7	106.9	67.2
循環器内科	91.1	87.5	102.7	126.3	113.8	160.5	115.2	165.9	114.8	145.2
形成外科	65.3	44.0	104.3	50.0	71.1	17.1	83.6	19.8	90.0	5.8
神経内科	58.0	31.9	68.1	60.0	68.4	58.6	70.8	68.2	78.7	76.8
放射線科	100.0	100.0	110.0	130.0	100.0	116.7	100.0	128.6	100.0	112.5
合 計	67.2	54.1	71.4	63.2	74.9	74.0	79.5	76.8	84.8	84.7

16. 分娩件数

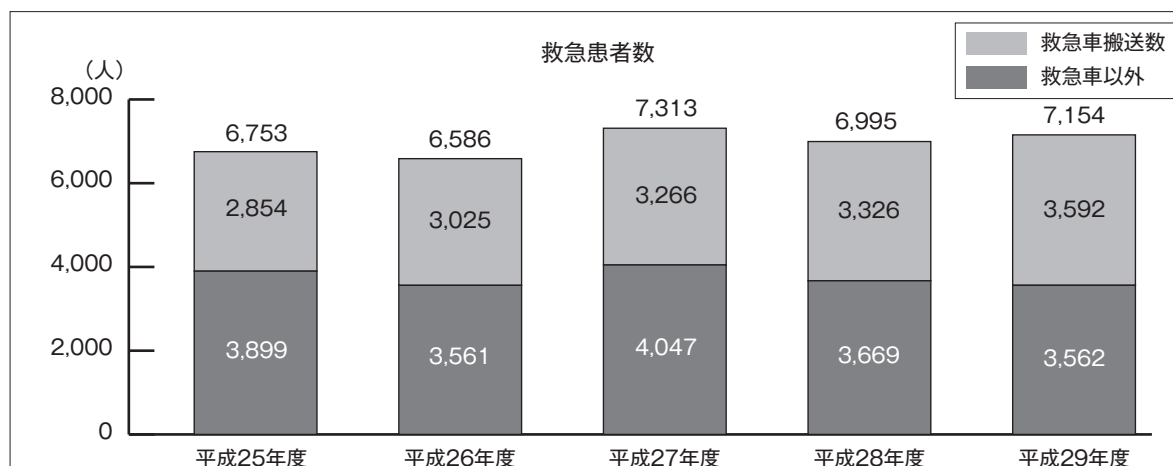


分娩件数

(単位：件)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
自然分娩	183	127	185	216	149
帝王切開	40	27	49	35	40
合計	223	154	234	251	189

17. 救急患者数



(単位：人)

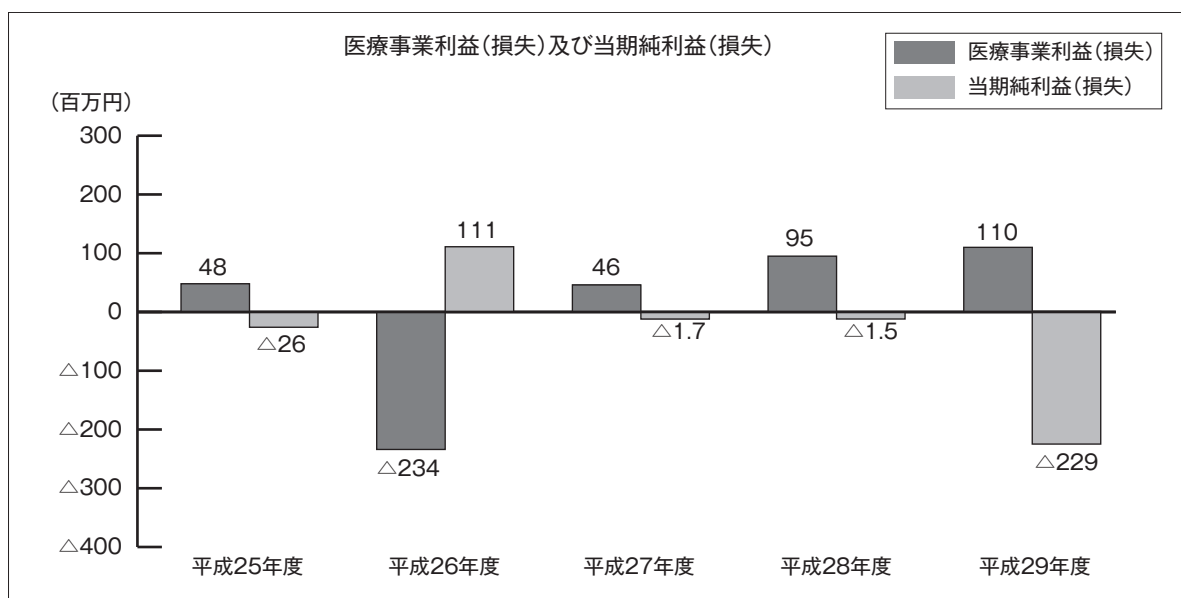
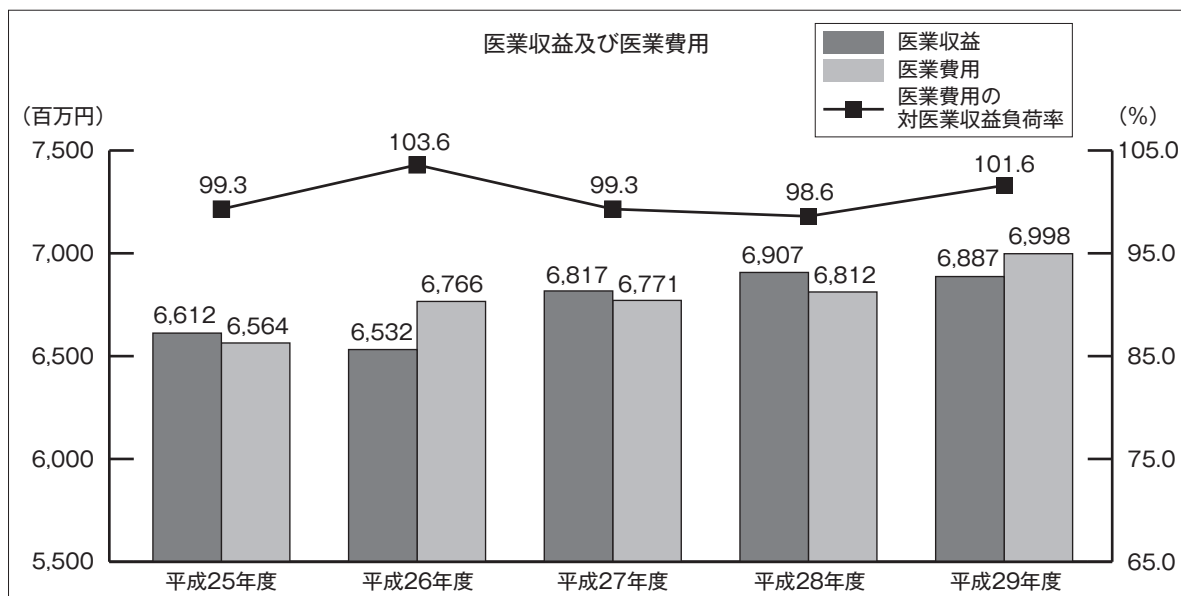
	平成25年度	平成26年度	平成27年	平成28年	平成29年
内科	1,207	1,164	1,187	1,088	1,257
消化器内科	168	242	248	195	321
糖尿病・代謝内科	—	—	—	—	46
小児科	193	125	146	144	119
外科	744	752	958	562	470
呼吸器外科	—	—	—	282	212
整形外科	1,006	926	1,066	1,082	1,065
脳神経外科	1,309	1,327	1,396	1,373	1,397
皮膚科	108	63	83	48	87
泌尿器科	195	33	34	39	38
産婦人科	463	436	461	527	428
眼科	4	4	4	12	0
耳鼻咽喉科	169	173	225	281	290
麻酔科	21	30	19	12	16
精神科	146	156	149	104	105
血管外科・心臓外科	100	119	140	124	112
循環器内科	628	645	693	710	767
形成外科	3	1	2	1	11
神経内科	289	390	502	411	413
合計	6,753	6,586	7,313	6,995	7,154

救急搬送患者数(再掲)

(単位：人)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
内科	552	559	580	559	660
消化器科	83	114	112	94	128
糖尿病・代謝内科	—	—	—	—	32
小児科	68	51	45	43	46
外科	105	121	172	103	124
呼吸器外科	—	—	—	67	78
整形外科	477	494	471	597	582
脳外科	765	850	925	924	939
皮膚科	22	7	19	12	18
泌尿器科	49	12	13	15	25
産婦人科	19	23	22	25	28
眼科	0	1	1	3	0
耳鼻科	40	38	44	76	87
麻酔科	18	19	14	11	15
精神科	70	70	57	51	58
心外科	47	55	76	70	63
循環器科	330	348	361	391	428
形成外科	0	0	0	0	0
神経内科	209	263	354	285	281
合計	2,854	3,025	3,266	3,326	3,592

18. 損益推移



(単位：円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
医業収益	6,611,775,746	6,532,307,534	6,817,136,281	6,907,344,815	6,887,324,492
医業費用	6,563,800,615	6,766,324,012	6,770,923,163	6,812,231,140	6,998,297,824
医療事業利益(損失)	47,975,131	△ 234,016,478	46,213,118	95,113,675	△ 110,973,332
医業費用の対医業収益負荷率	99.3%	103.6%	99.3%	98.6%	101.6%
医業外利益(損失)	7,309,262	1,207,199	25,791,902	2,159,643	△ 2,130,863
医療社会利益(損失)	△ 80,131,473	△ 86,827,223	△ 81,545,595	△ 97,070,066	△ 100,023,771
付帯事業利益(損失)	2,487,014	993,439	△ 116,615	△ 1,045,454	△ 1,737,675
特別利益(損失)	△ 1,094,916	430,431,982	8,420,388	△ 23,885	△ 13,785,970
法人税等	2,535,807	750,553	511,644	686,120	1,163,074
当期純利益(損失)	△ 25,990,789	111,038,366	△ 1,748,446	△ 1,552,207	△ 229,814,685

19. 比較損益計算書

(単位：円)

	平成28年度	平成29年度	(28年度～29年度)	
			差引	前年度比
医療事業損益計算				
医業収益	6,907,344,815	6,887,324,492	△ 20,020,323	△ 0.3%
入院診療収益	5,150,467,984	5,098,725,035	△ 51,742,949	△ 1.0%
室料差額収益	89,350,868	90,293,236	942,368	1.1%
外来診療収益	1,475,182,279	1,520,740,841	45,558,562	3.1%
保険予防活動収益	128,105,851	123,147,509	△ 4,958,342	△ 3.9%
受託検査・施設利用収益	5,425,318	4,141,558	△ 1,283,760	△ 23.7%
その他の医業収益	70,801,381	63,622,417	△ 7,178,964	△ 10.1%
保険等差通減	△ 11,988,866	△ 13,346,104	△ 1,357,238	11.3%
医業費用	6,812,231,140	6,998,297,824	186,066,684	2.7%
材 料 費	1,651,979,816	1,657,810,179	5,830,363	0.4%
給 与 費	3,796,252,266	3,910,418,054	114,165,788	3.0%
委 託 費	482,822,500	501,453,971	18,631,471	3.9%
設備関係費	569,881,175	565,674,638	△ 4,206,537	△ 0.7%
研究研修費	52,986,526	53,723,973	737,447	1.4%
経 費	258,308,857	309,217,009	50,908,152	19.7%
医療事業利益(損失)	95,113,675	△ 110,973,332	△ 206,087,007	△ 216.7%
事業損益計算				
医業外収益	147,941,033	145,321,804	△ 2,619,229	△ 1.8%
医業外費用	145,781,390	147,452,667	1,671,277	1.1%
医療外利益(損失)	2,159,643	△ 2,130,863	△ 4,290,506	△ 198.7%
医療社会事業収益	4,743,587	2,205,981	△ 2,537,606	△ 53.5%
医療奉仕費用	101,813,653	102,229,752	416,099	0.4%
医療社会事業利益(損失)	△ 97,070,066	△ 100,023,771	△ 2,953,705	3.0%
事業利益(損失)	203,252	△ 213,127,966	△ 213,331,218	△ 104,959.0%
経常損益計算				
付帯事業収益	55,101,790	54,494,366	△ 607,424	△ 1.1%
付帯事業費用	56,147,244	56,232,041	84,797	0.2%
付帯事業利益(損失)	△ 1,045,454	△ 1,737,675	△ 692,221	66.2%
経常利益(損失)	△ 842,202	△ 214,865,641	△ 214,023,439	25,412.4%
当期純損益計算				
特別利益	4,742,866	282,170	△ 4,460,696	△ 94.1%
特別損失	4,766,751	14,068,140	9,301,389	195.1%
特別利益(損失)	△ 23,885	△ 13,785,970	△ 13,762,085	57,618.1%
税引前当期純利益(損失)	△ 866,087	△ 228,651,611	△ 227,785,524	26,300.5%
法人税等	686,120	1,163,074	476,954	69.5%
当期純利益(損失)	△ 1,552,207	△ 229,814,685	△ 228,262,478	14,705.7%
前期繰越利益(損失)	552,688,335	551,136,128	△ 1,552,207	△ 0.3%
当期未処分利益(未処理損失)	551,136,128	321,321,443	△ 229,814,685	△ 41.7%

20. 比較貸借対照表

(単位：円)

科目	平成28年度	平成29年度	増減	科目	平成28年度	平成29年度	増減			
1. 流動資産				1. 流動負債						
現金・預金	1,423,364,939	5,376,627,927	3,953,262,988	買掛金	317,012,364	312,989,285	△ 4,023,079			
医業未収金	1,118,947,673	1,163,474,949	44,527,276	未払金	1,022,387,940	4,616,192,111	3,593,804,171			
未収金	64,886,602	390,357,659	325,471,057	短期借入金	926,760,000	726,660,000	△ 200,100,000			
有価証券	0	0	0	未払費用	37,606,033	21,000,063	△ 16,605,970			
医薬品	24,695,381	13,536,744	△ 11,158,637	未払法人税等	873,180	1,018,127	144,947			
診療材料	0	0	0	前受金	0	0	0			
給食用材料	0	0	0	預り金	1,592,163	1,636,115	43,952			
貯蔵品	3,201,951	3,021,542	△ 180,409	職員預り金	21,989,801	22,594,466	604,665			
前渡金	0	0	0	前受収益	0	0	0			
前払費用	3,399,130	3,483,927	84,797	賞与引当金	187,538,763	185,239,518	△ 2,299,245			
未収収益	10,922,963	10,980,929	57,966	その他の流動負債	0	0	0			
短期貸付金	0	0	0	流動負債計	2,515,760,244	5,887,329,685	3,371,569,441			
繰延税金資産	0	0	0	2. 固定負債						
その他流動資産	108,612,524	138,515,244	29,902,720	長期借入金	1,731,240,000	6,124,580,000	4,393,340,000			
流動資産計	2,758,031,163	7,099,998,921	4,341,967,758	長期未払金	161,266,703	93,558,449	△ 67,708,254			
2. 固定資産				預り出資金	0	0	0			
(1)有形固定資産				退職交付受入金	0	0	0			
建物	1,685,290,196	1,597,693,121	△ 87,597,075	退職給付引当金	2,611,580,804	2,780,327,130	168,746,326			
建物付属設備	305,936,764	281,372,394	△ 24,564,370	医療訴訟引当金	0	0	0			
構築物	5,117,578	5,117,578	0	長期前受補助金等	182,413,949	1,022,399,531	839,985,582			
医療用器械備品	252,566,109	251,245,458	△ 1,320,651	その他の固定負債	0	0	0			
その他器械備品	72,957,349	49,636,990	△ 23,320,359	固定負債計	4,686,501,456	10,020,865,110	5,334,363,654			
車両	6,525,655	4,303,006	△ 2,222,649	負債合計	7,202,261,700	15,908,194,795	8,705,933,095			
放射性同位元素	0	0	0	3. 基本金						
その他の有形固定資産	0	0	0		16,499,809	16,499,809	0			
土地	991,919,018	1,046,384,721	54,465,703	4. 基金積立金						
建物仮勘定	929,315,346	5,228,491,396	4,299,176,050	本社交付金	0	0	0			
有形固定資産計	4,249,628,015	8,464,244,664	4,214,616,649	支部繰入金	17,043,000	17,043,000	0			
(2)無形固定資産				その他の繰入金	0	0	0			
借地権	0	0	0	補助金	0	0	0			
ソフトウェア	173,336,771	104,670,127	△ 68,666,644	寄付金	0	0	0			
その他無形固定資産	618,145	618,145	0	固定資産再評価益(損)金	5,643,237	5,643,237	0			
無形固定資産計	173,954,916	105,288,272	△ 68,666,644	固定資産処分益(損)金	0	0	0			
(3)その他の資産				基金積立金合計	22,686,237	22,686,237	0			
有価証券	0	0	0	5. 利益剰余金						
長期貸付金	19,800,000	26,400,000	6,600,000	利益積立金	654,130,178	654,130,178	0			
預金	0	0	0	特別積立金	0	0	0			
長期未収金	0	0	0	当期末処分利益(損失)	551,136,128	321,321,443	△ 229,814,685			
長期前払費用	152,797,436	112,937,240	△ 39,860,196	利益剰余金合計	1,205,266,306	975,451,621	△ 229,814,685			
施設設備準備積立金	0	0	0	6. 有価証券評価差額金						
病院建物建設資金出資金	364,226,607	378,040,359	13,813,752		0	0	0			
病院財性調整事業資金出資金	176,274,036	183,181,380	6,907,344	基金合計	1,244,452,352	1,014,637,667	△ 229,814,685			
出資金	0	0	0	/						
退職拠出金	551,667,739	552,665,486	997,747							
預託金	334,140	76,140	△ 258,000							
繰延税金資産	0	0	0							
その他の固定資産	0	0	0							
その他の固定資産計	1,265,099,958	1,253,300,605	△ 11,799,353							
固定資産計	5,688,682,889	9,822,833,541	4,134,150,652							
資産合計	8,446,714,052	16,922,832,462	8,476,118,410							
負債及び基金合計								8,446,714,052	16,922,832,462	8,476,118,410

IV

活動実績

1. 内科・消化器内科	51	15. 産婦人科	63
2. 糖尿病・代謝内科	52	16. 眼科	64
3. 循環器内科	53	17. 耳鼻咽喉科	64
4. 神経内科	54	18. 放射線科	65
5. 精神科	54	19. 麻酔科	67
6. 小児科	55	20. リハビリテーション科	67
7. 外科	55	21. 薬剤部	68
8. 血管外科・心臓外科	57	22. 医療技術部	70
9. 呼吸器外科	58	23. 看護部	73
10. 整形外科	58	24. 検査部	84
11. 脳神経外科	59	25. 医療社会事業部	87
12. 皮膚科	61	26. 事務部	90
13. 形成外科	62	27. 医療安全推進室	99
14. 泌尿器科	62	28. 付帯施設	102



1. 内科・消化器内科

【副院長】 宮田 昌之(副院長 兼 医療社会事業部長)

日本内科学会認定専門医、アメリカ内科学会専門医、
日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医、日本リウマチ学会認定指導医、
日本アレルギー学会認定指導医、日本消化器病学会認定専門医、
日本肝臓学会認定専門医、日本医師会認定産業医、福島県立医科大学医学部臨床教授
専門 リウマチ、膠原病、アレルギー疾患の診断と治療

【部長】 黒田 聖仁(第1内科・消化器内科部長)

日本内科学会認定専門医、日本内科学会認定総合内科専門医、
日本肝臓学会認定指導医、日本消化器病学会認定指導医、
日本消化器内視鏡学会認定専門医、福島県立医科大学医学部臨床教授兼客員講師
専門 肝炎、肝臓がんの診断と治療

寺島久美子(第2内科・消化器内科部長 兼 感染管理室長)

日本内科学会認定医
専門 アレルギー疾患、特に喘息の診断と治療

菅野有紀子(第3内科・消化器内科部長)

日本内科学会認定医・専門医、日本消化器病学会専門医、
日本消化器内視鏡学会専門医、日本肝臓学会専門医、
日本リウマチ学会専門医
専門 内科、消化器科、肝臓疾患

【副部長】 児玉 健太(第1内科・消化器内科部副部長)

日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、
日本消化器内視鏡学会認定専門医・指導医、日本消化管学会胃腸科専門医、
日本がん治療認定機構がん治療認定医、日本大腸検査学会評議員
専門 消化器病

藁谷 雄一(第1内科・消化器内科部副部長)

日本内科学会認定医
専門 上部消化管

**【部外医】 泉田 太郎、引地 拓人、中村 純、坂本 夏美、高住 美香、東川 隆一、
力丸 真美**

<平成29年度実績>

当科は内科、消化器疾患を幅広く診療しており、平成29年度も厳しい診療体制であった。

日本内科学会、日本消化器病学会、日本肝臓学会、日本リウマチ学会、日本アレルギー学会の認定施設である。食道がん、胃がん、大腸がんに対するESD(内視鏡的粘膜切除)、総胆管結石、悪性胆道閉塞に対する内視鏡治療に積極的に取り組んでいる。また、肝疾患専門医療機関であり、肝炎、肝がんの診療にも力を入れている。

症例数、治療、成績：内科消化器内科として年間入院患者数1501例で消化管、肝胆膵、呼吸器、膠原病と症例は多岐にわたる。疾患別入院数は1. 大腸疾患324例 2. 呼吸器疾患228例 3. 肝疾患186例で腹部超音波検査の年間症例数約3500例、上部消化管内視鏡検査年間症例数約3500件、下部消化管内視鏡件数約1200件(内訳は下記参照)と増加している。胃癌に対するESD、大腸

EMRも年々増加し、福島県立医科大学内視鏡科の引地、中村医師と共に治療にあたっている。C型慢性肝炎には直接作用型抗ウイルス療法、B型慢性肝炎には核酸アナログ製剤投与を行っている。肝細胞癌にはビーズを用いた肝動脈塞栓療法(TACE)や経皮的ラジオ波焼灼療法(RFA)を50例以上に施行している。また、関節リウマチに対する生物学的製剤やJAK阻害剤を用いた最新治療の症例数は県内トップクラスで、延べ400例以上を治療し、関節エコーによる診断、治療評価を積極的に導入している。関節エコーの症例数は年間400例以上に達している。また、難治性の膠原病や不明熱の紹介も多い。呼吸器、腎臓疾患については福島県立医科大学の派遣医師とともに診療にあたり、禁煙外来での禁煙指導や睡眠時無呼吸の治療にも力を入れている。今後は病診連携に力を入れて症例数をさらに増加させ、地域の医療の活性化にも貢献したい。

また、週一回、医大の総合診療科が、新患者の見方やプレゼンテーションの仕方を研修医に指導している。研修医は例年どおり、日本内科学会、日本消化器病学会東北支部例会、内科学会地方会にて発表をしている。

<u>上部内視鏡検査総件数</u>	<u>3471件</u>
上部内視鏡検査	3236件
ESD	40件
止血術	53件 等
<u>下部内視鏡検査総数</u>	<u>1270件</u>
下部内視鏡検査	949件
EMR	246件
止血術	15件
ESD	3件 等
<u>ERCP</u>	<u>115件</u>

<平成30年度目標>

昨年と同様、厳しい診療環境の中、他科の協力も得ながら、安全に効率良く診療をすることを目標としたい。まだまだ内科消化器内科、リウマチ、膠原病内科の医師は充足しておらず、厳しい状態が継続すると思われるが、新しい治療を積極的に取り入れ、コメディカルの力も借りて、クオリティの高い診療を維持して行きたい。また、研修医の指導や学会活動にも力を入れて病院、医局を盛り立てて行きたい。大学の医局を盛りたてるには初期研修医を多く獲得することが最も効果的である。初期研修にはプライマリケアを重視した指導が強く求められている。

今後はプライマリケア、総合内科を指導できるように研修を充実させ、研修医が幅広く臨床を見ていけるような研修の場を提供したい。

2. 糖尿病・代謝内科

【部長】 佐藤 義憲(糖尿病・代謝内科部長)

日本内科学会認定内科医、日本内科学会認定総合内科専門医、
日本糖尿病学会認定専門医、日本糖尿病学会認定研修指導医
ICD制度協議会認定インфекションコントロールドクター
日本医師会認定産業医
専門 糖尿病

<平成29年度実績>

1. 活動実績

入院数が当科開設以来最多であった。

外来予約診療 804
入院 162
学会発表 4

2. 学会発表

- ・第60回日本糖尿病学会年次学術集会
2017年5月18-20日、名古屋国際会議場
「当院で経験した自発性低血糖症34例の原因検討」
佐藤 義憲
- ・第55回日本糖尿病学会東北地方会
2017年11月11日、仙台国際センター
「DKA with alkalemiaの1例」
佐藤 義憲、山口 瑞希
「急性気腫性胆嚢炎の1例」
山口 瑞希、佐藤 義憲、郡司 崇志
「アルコール性ケトアシドーシスによる低血糖昏睡の1例」
浅野 太志、佐藤 義憲

<平成30年度目標>

糖尿病単独の診療科となり入院数が減少した。次年度から少しずつ増やしたい。

3. 循環器内科

【部長】 大和田尊之(第1循環器内科部長)

日本内科学会認定医、日本循環器学会認定専門医
日本心血管インターベンション治療学会認定専門医、
日本高血圧学会認定指導医、福島県立医科大学臨床教授
専 門 循環器一般、虚血性心疾患、冠動脈疾患

渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)

日本内科学会認定医、日本循環器学会認定専門医、日本DMAT隊員
専 門 循環器科一般、不整脈

阪本 貴之(第3循環器内科部長)

日本内科学会認定医、日本循環器学会認定専門医
専 門 循環器科一般、心血管インターベンション

【医師】 天海 一明

専 門 循環器内科

中里 和彦(非常勤医師)

<平成29年度実績>

カテーテル件数(1月1日~12月31日)

CAG 410

PCI 213

EVT 22



4. 神経内科

【部長】 中村耕一郎(神経内科部長)

日本神経学会認定専門医、日本神経学会認定指導医
日本内科学会認定医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医
日本脳卒中学会、日本臨床神経生理学会
専 門 神経内科一般

【副部長】 守谷 新(神経内科部副部長)

日本神経学会認定専門医
日本内科学会認定医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医
専 門 神経内科一般

<平成29年度実績>

平成29年度の入院件数は283件(前年度より3件増)であった。

<平成30年度目標>

当科入院症例は救急および紹介症例が多数を占めるため、引き続き病診連携に努め神経救急患者の受け入れに努めていく。



5. 精神科

【部長】 後藤 大介(精神科部長)

日本精神神経学会専門医・指導医、精神保健指定医、日本生物学的精神医学会、
日本老年精神医学会、日本認知症学会、日本精神科診断学会 日本社会精神医学会
専 門 精神科一般

【副部長】 藤森 春生(精神科部副部長)

精神保健指定医、日本精神神経学会精神科専門医、日本総合病院精神医学会一般病院
連携精神医学専門医・指導医、日本医師会認定産業医、日本サイコオンコロジー学会
専 門 精神科一般

【医師】 浅野 聡子

日本精神神経学会専門医、日本臨床神経生理学会、東北精神神経学会、
福島県精神医学会、精神保健指定医

<平成29年度実績>

平成29年度の実績としては、外来患者延数11,124人(1日平均45.4人)、新患者延数122人、入院患者延数4,514人(1日平均12.4人)、平均在院日数35.8日、紹介率92.2%、逆紹介率156.3%、mECT件数156件となっている。

<平成30年度目標>

当科は、有床総合病院精神科であり、精神保健福祉法に基づく精神科病床を有する。地域医療における有床総合病院精神科の役割を果たしていくことが大切である。救急医療における精神疾患への対応、身体合併症を有する認知症疾患及び精神疾患への対応、院内身体科とのコンサルテーション・リ

エゾン精神医療、修正電気けいれん療法等は重要であると考えられる。また、認知症疾患医療センターであり、地域の認知症医療の拠点としての役割も重要である。医療連携及び地域連携を大切に、円滑な診療体制を作っていく必要がある。

6. 小児科

【部長】 三友 正紀(小児科部長)

日本小児科学会認定専門医
専 門 小児科一般、感染症、循環器疾患

【医師】 弓削田英知(非常勤嘱託医師)

日本小児科学会認定専門医、日本腎臓学会認定専門医
専 門 小児科一般、感染症、腎泌尿器疾患

<平成29年度実績>

外来患者数 4,076人(1日平均16.7人)
入院患者数 543人

外来、入院ともに感染症が多くを占めるが、小児の各領域の疾患に関して診療を行っている。また、外来では、一般外来の他、腎臓、神経、心臓疾患の特殊外来や、乳幼児健診、予防接種などを行っている。

<平成30年度目標>

他の医療機関との連携を図りながら、救急医療、二次医療の充実を図るとともに、予防接種や学校健診要精検者の二次健診の拡充にも努める。

7. 外科

【部長】 遠藤 豪一(第1外科部長)

日本外科学会認定認定医・専門医・指導医
日本消化器外科学会認定認定医・専門医・指導医
日本消化器外科学会認定消化器がん治療認定医
日本がん治療認定医機構認定医
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定マンモグラフィ読影認定医
福島県立医科大学臨床教授
日本DMAT隊員
専 門 消化器外科

郡司 崇志(第2外科部長)

日本外科学会専門医
日本消化器外科学会
日本臨床外科学会
日本東洋医学会
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定マンモグラフィ読影認定医
専 門 消化器外科

【医師】 西間木 淳
 日本外科学会
 日本消化器外科学会
 日本胆管膵外科学会
 日本移植学会
 日本内視鏡外科学会
専門 消化器外科

【非常勤】 今野 修(副院長 兼 医療安全推進室長)
 日本外科学会認定専門医・認定医・指導医
 日本消化器外科学会認定専門医・指導医・認定医
 日本消化器外科学会認定消化器がん外科治療認定医
 日本体育協会公認スポーツドクター
 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定マンモグラフィ読影認定医
専門 消化器外科、胸部外科(食道)

<平成29年度実績>

手術症例(一般外科手術症例)(平成29年1月1日～12月31日)

1) 甲状腺	
悪性腫瘍	2例
2) 乳腺	
悪性腫瘍手術	20例(乳房温存手術10例)
3) 胃	
胃悪性腫瘍手術	17例(胃全摘術6例)
潰瘍穿孔手術	2例
4) 小腸	
部分切除	10例
5) 大腸(結腸)	
結腸悪性腫瘍手術	33例(腹腔鏡下手術4例)
その他	7例
6) 直腸	
直腸悪性腫瘍手術	15例(直腸切断術1例)(腹腔鏡下手術1例)
その他	3例
7) 急性虫垂炎	
虫垂切除術	26例
8) 肛門	
その他	6例
9) 消化管(その他)	
腹膜炎手術	3例
腸閉塞症手術	7例
10) 肝臓	
部分切除術	0例
11) 胆嚢	
胆石症	40例(腹腔鏡下手術30例)
胆嚢炎	3例(腹腔鏡下手術0例)
悪性腫瘍	0例
12) ヘルニア	
鼠径ヘルニア	73例(腹腔鏡下手術5例)
腹壁癒痕ヘルニア	2例

大腿ヘルニア	2例
閉鎖孔ヘルニア	0例
13)血管系	
CVポート埋め込み手術	36例

<平成30年度目標>

基本的治療方針として、個々の患者様の状態に応じた適切な手術を目標にしている。

患者様の体への負担が少ない腹腔鏡下大腸切除手術を平成26年12月より導入した。現在は比較的早期の大腸(結腸、直腸)がんを対象に手術施行しており、平成29年12月までに20例以上の患者様において腹腔鏡下大腸切除手術を施行した。今後胃がんに対しても腹腔鏡下胃切除手術を導入する予定である。

患者様の体への負担の少ない手術式の導入により入院期間の短縮化、早期退院、早期社会復帰可能となるように今後も努力していく所存である。

+

8. 血管外科・心臓外科

【部長】 安藤 精一(血管外科部長)

日本外科学会専門医、日本胸部外科学会認定医、日本循環器学会専門医、
日本脈管学会専門医

専 門 血管病(動脈系・静脈系)、動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、高血圧、心不全、不整脈

【副部長】 籠島 彰人(心臓外科部副部長)

日本心臓血管外科学会専門医、日本脈管学会専門医、
日本外科学会専門医、腹部ステントグラフト実施医、日本血管外科学会、
日本胸部外科学会、日本循環器学会、日本心臓血管外科学会、
日本冠動脈外科学会

専 門 成人心臓、血管

<平成29年度実績>

開心術7例

大動脈手術(人工血管置換+ステントグラフト)8例

末梢動脈手術(バイパス+血管内治療)49例

下肢静脈瘤手術15例

下大静脈フィルター3例

ペースメーカー手術14例

<平成30年度目標>

当院の血管外科は日本脈管学会認定研修関連施設です。近年の血管内治療の進歩による循環器内科医、放射線科医、美容外科医の末梢血管治療への参戦により、最近は大動脈、抹梢動脈、静脈関連手術数が減少傾向にありましたが、末梢動脈疾患に対しては以前のレベルまで回復しました。今後も血管内治療+血管外科医ゆえのバイパス手技を駆使した高難度の重症虚血疾患に対し、満足のいく効果をあげられるよう対処していきたいと考えています。また、心臓外科における手術は安全確保が第一であり、安全確実に有効な手術を提供できるよう努力していく所存です。



9. 呼吸器外科

【部長】 管野 隆三(呼吸器外科部長)

日本外科学会認定専門医・指導医
日本胸部外科学会認定指導医
日本呼吸器外科学会認定指導医
呼吸器外科専門医合同委員会認定呼吸器外科専門医
日本呼吸器内視鏡学会認定気管支鏡専門医・指導医
日本消化器外科学会認定医
日本がん治療認定医機構暫定教育医・認定医
福島県立医科大学臨床教授・客員講師
インфекションコントロールドクター
専 門 呼吸器外科

【医師】 渡邊 謙

日本外科学会認定専門医、日本呼吸器外科学会認定専門医、日本胸部外科学会、
日本肺癌学会、日本緩和医療学会、日本癌治療学会
専 門 呼吸外科

<平成29年度実績>

呼吸器外科手術総数134件(胸腔鏡下手術92件、局所麻酔手術、気管切開は除く)
内訳：肺良性腫瘍手術9件、原発性肺悪性腫瘍手術52件、転移性肺腫瘍手術5件、縦隔腫瘍手術5件、膿胸に対する手術4件、嚢胞性肺疾患手術2件、特発性自然気胸手術28件、続発性気胸手術22件、胸膜生検、縦隔リンパ節生検2件、胸壁腫瘍1件、その他4件

<平成30年度目標>

呼吸器外科手術総数150件を目標とする。特に原発性肺悪性腫瘍手術件数を増やすこと。
引き続き、その他の良性呼吸器外科疾患、手術不能の肺癌に対する緩和療法を含めた治療症例の増加に努めること。



10. 整形外科

【部長】 村上 和也(整形外科部長 兼 リハビリテーション科部長)

日本整形外科学会認定専門医、日本整形外科学会スポーツ認定医、
日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医、
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会評議員、東北膝関節研究会幹事
専 門 足の外科、膝関節外科

【副部長】 佐藤 法義(整形外科副部長)

日本整形外科学会、日本股関節外科学会など
専 門 股関節外科

小山 光久(整形外科副部長)

日本整形外科学会、東北整形外科災害外科学会など

専 門 整形外科一般

<平成29年度実績>

平成29年度の整形外科の一日平均外来患者数は、69.8人、年間新患患者数は1,748人であった。整形関連の年間救急患者数は582人であった。年間手術件数は699例でほぼ例年通りであった。手術の内訳は骨折を中心とした外傷関連が484例と手術全体の69%を占めており、救急患者を積極的に受け入れている当院の特徴と思われた。慢性疾患では人工膝関節置換術と人工股関節置換術が86例と外傷症例とのバランスが比較的とれていると考えている。常勤3名、福島医大からの週1回の診療応援、隔週火曜日の手術応援を得て、この規模の人員のなかでは、結構な実績と考えている。

<平成30年度目標>

今年度も、佐藤正義医師と小山光久医師がそのまま常勤となり、昨年度と同様に救急患者の受け入れ、対応が可能なスタッフとなっている。慢性疾患は人工関節の手術を中心に手術件数を維持し、骨折を中心とした外傷手術にもスタッフ全員で対処していこうと考えている。

11. 脳神経外科

【院 長】 渡部 洋一

日本脳神経外科学会認定専門医、
日本脳卒中学会認定専門医・代議員・評議員、
日本脳卒中の外科学会技術指導医
日本救急医学会認定専門医、
社会医学系専門医
福島県立医科大学脳神経外科臨床教授
統括日本DMAT隊員
福島県災害医療コーディネーター
日赤災害医療コーディネーター
日赤緊急被ばく医療アドバイザー
専 門 脳血管障害、救急医療

【部 長】 鈴木 恭一(第1脳神経外科部長 兼 医療安全推進室長)

日本脳神経外科学会認定専門医
日本脳卒中学会認定専門医・評議員、
日本脳卒中の外科学会代議員
日本脳卒中の外科学会技術指導医
日本リハビリテーション学会認定臨床医
日本脳神経外科光線力学学会幹事
福島県立医科大学脳神経外科臨床教授
専 門 脳血管障害

市川 剛(第2脳神経外科部長)

日本脳神経外科学会認定専門医
日本脳卒中学会認定専門医
日本脳卒中の外科学会技術指導医
日本脳神経血管内治療学会認定専門医
日本神経内視鏡学会技術認定医
日本DMAT隊員
日赤災害医療コーディネーター
専 門 脳血管内治療、脳神経外科一般

【医 師】 古川 佑哉

日本脳神経外科学会認定専門医
日本脳卒中学会
日本脳神経血管内治療学会
日本神経内視鏡学会
日本脳腫瘍の外科学
専 門 脳血管障害、脳神経外科一般

蛭田 亮

日本脳神経外科学会
日本脳卒中学会
日本脳神経血管内治療学会
日本神経内視鏡学会
日本脳腫瘍の外科学会
日本脳腫瘍病理学会
専 門 脳腫瘍、脳神経外科一般

<平成29年度実績>

I. 診療

昨年度1年間での入院患者総数は667名であり、その内訳は、脳血管障害が345例(脳梗塞：181例、脳出血：97例、クモ膜下出血：23例、未破裂脳動脈瘤：33例、脳動静脈奇形・脳動静脈瘻：8例、もやもや病3例)、脳腫瘍が29例、頭部外傷が122名、てんかんが30名、水頭症・奇形が18例、機能的疾患が2名、感染症が4名、その他が114名であった。

手術件数は193件であった。そのうち開頭手術は57例で、脳動脈瘤クリッピング術：19例、脳内血腫除去術：8例、脳腫瘍摘出術：15例、脳動脈吻合術：6例、AVM摘出術：1例、急性硬膜下血腫除去術：3例、急性硬膜外血腫除去術：2例、神経血管減圧術：2例、その他：1例であった。血管内手術は56例であり、動脈瘤内コイル塞栓術：29例、頸部頸動脈ステント留置術：7例、血栓回収術：11例、血管形成術：2例、塞栓術：6例、その他：1例であった。それ以外の手術は81件で、慢性硬膜下血腫：48例、水頭症手術：33例であった。

II. 教育

リハビリテーションカンファランス：脳卒中急性期リハビリテーションによる更なる機能改善を目指して、医師・リハビリテーションスタッフ・病棟看護師による入院患者さんの検討会を2回/月の頻度で開催した。

神経内科・脳神経外科合同カンファランス：脳卒中治療の進歩に迅速に対応するための勉強会を第2、4月曜の夕方に開催した。研修医や看護師も参加し、当院における脳卒中治療水準の底上げを目指している。

回復期リハビリテーション施設との症例検討会：非定期的ではあるが開催して、県北地域の脳卒中治療成績の向上を目指している。

若手医師を対象とした教育セミナー：脳神経外科のスキルを身につけた医師が増加すること

を期待し、血管内治療のハンズオンや顕微鏡下での縫合練習などを開催した。殊に血管内治療学会認定専門医である市川医師のOJTは、当院で働く医師・スタッフのレベル向上に大きく貢献した。

Ⅲ. 社会貢献

当院は、日本脳卒中協会福島支部の事務局であり、渡部洋一院長が副支部長を務めていることから、福島県民への啓発活動を積極的に行った。恒例の福島県脳卒中市民公開講座を、平成29年度も開催した。脳卒中の予防から治療までの知見を啓蒙するために、渡部院長が主体となり福島県内外の医師や市民を対象とした講演を各地で行った。

Ⅳ. 研究

主に脳卒中に関する臨床研究を継続して行い、その成果を国内外の学会で発表した。掲載に至った論文は1編のみにとどまった(研究発表参照)。

<平成30年度目標>

I. 診療

平成29年度も福島医大脳神経外科から中堅医師を派遣していただいた(29年4月から9月まで黒見洋介医師が、10月から古川佑哉医師が勤務)。いずれも脳神経外科専門医を取得し最新の知識をもって診療にあたってくれている。加えて平成30年度からは1名の若手医師も派遣していただき脳外科医師5人体制となることから、更に診療のレベル向上を目指したい。

市川部長を中心に行っている血管内治療は、進歩する血管内手術手技を積極的に取り入れ更なる治療成績の向上を目指したい。平成30年度から日本神経内視鏡学会に所属する医師が3名となる。患者さんにとって低侵襲の手術を進める観点から、内視鏡手術症例数を増やして行きたい。

29年8月に開設した「脳神経・脳卒中センター」も機能している。脳卒中はもちろんのこと脳神経疾患全般を脳神経外科医5名、神経内科医2名が協力して行うことで、神経疾患に対する診療レベル向上が得られた。特に当院は、脳卒中に対する県北地域の基幹施設であることから、多職種のスタッフと協力しながら、脳卒中センターの実績を積み重ねてゆきたい。

II. 教育

福島県内の血管内治療学会認定専門医が少ないことから、血管内治療医を目指す若手の教育に引き続きあたりたい。臨床研修指定病院としての役割も担う当院は、初期臨床研修医の教育にも重点を置いてゆく。神経内科との合同カンファレンスなどこれまで行ってきたものを継続するのに加えて、脳神経外科治療を院内の多職種で共有出来るような教育の場を増やしてゆきたい。職員の学会発表・論文作成を支援することにより、病院全体の医療レベルの向上に努めてゆきたい。

Ⅲ. 社会貢献

今年度以降も、日本脳卒中協会福島支部の事務局として、脳卒中の予防、早期治療の重要性などに関する啓発活動を中心として社会貢献に努めてゆきたい。

12. 皮膚科

【部長】 元木 良和(皮膚科部長)

日本皮膚科学会認定専門医

専門 皮膚科一般

<平成29年度実績>

統計のページをご参照ください。

<平成30年度目標>

無事故

前年度も無事故を目標に掲げましたが、予期しない不可逆的な変化を生じた症例が発生しました。知識・判断力・忍耐力の衰えを自覚し、安全マージンを十分とった診療を心がけて無事故をめざします。

13. 形成外科

【部長】 浅井 笑子(形成外科部長)

日本形成外科学会専門医、形成外科領域指導医、皮膚腫瘍外科分野指導医
小児形成外科分野指導医、創傷外科分野指導医、博士号
所属学会：日本形成外科学会、日本顔面神経学会、日本創傷外科学会
専門 形成外科全般(唇顎口蓋裂等先天異常、マイクロサージャリーを含む再建外科)

<平成29年度実績>

平成29年4月－平成30年3月までの中央手術室での手術件数：248件(うち、全身麻酔12例)

<平成30年度目標>

前年度同様、週最大12件まで手術を入れさせていただいている。平成29年10月より常勤となって手術枠が拡大したことで紹介患者の手術はほぼ全例当院で施行できており、全身麻酔下の手術も徐々に増加している。

トレチノインによるシミ治療や新型男性脱毛症治療薬による保険外診療も開始したため、今後はそういった患者の増加も見込まれる。

入院に関しては、DPCに配慮した無駄のない効率的な管理を心掛けていきたい。

14. 泌尿器科

【医師】 丹治 進(非常勤医師)

日本泌尿器科学会認定専門医、日本泌尿器科学会認定指導医
日本性機能学会認定専門医
医療法人恵仁会 泌尿器科・皮膚科・内科・北町丹治医院 院長
岩手医科大学医学部泌尿器科学講座客員教授
専門 泌尿器科一般

<平成29年度実績>

週1回1日の外来診察を実施した。

<平成30年度目標>

週1回1日(水曜日、第3水曜日を除く)、午前の外来診察を継続する。
限られた時間ではあるが、今まで通り、お役に立てればと思う。



15. 産婦人科

【部長】 矢澤 浩之(第1産婦人科部長)

日本産科婦人科学会専門医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医
日本生殖医学会生殖医療専門医
専門 内視鏡手術(腹腔鏡下手術)、婦人科腫瘍学、不妊症

伊藤 史浩(第2産婦人科部長)

日本産科婦人科学会専門医
専門 周産期

【医師】 和田茉莉奈

日本産科婦人科学会

<平成29年度実績>

子宮筋腫や卵巣腫瘍など婦人科良性疾患に対しては患者様の負担軽減のため可能な限り低侵襲性手術(内視鏡下手術)を選択してきた。学会や研修会に積極的に参加し内視鏡下手術のスキルアップに努め、その適応拡大を行ってきた。

悪性疾患では、診断、治療(手術、化学療法)、術後のフォローアップから終末期管理や在宅医療への移行まで一貫した管理を行ってきた。

産科診療では、外来妊婦健診において助産師外来の割合を増やすことにより、妊婦さんの診療待ち時間の短縮、充実した妊婦生活指導などに努めてきた。また、最近妊婦さんの高齢化が進んでおり、内科疾患、精神科疾患を有する妊婦が増加する傾向にあるが、これらの患者さんに対しては積極的に内科医、精神科医へ相談を行い共同管理を行ってきた。

不妊症治療では、妊娠に関する気軽な相談、タイミング法、腹腔鏡下による検査、治療から顕微授精を含むART(Assisted Reproductive Technology)治療までを一貫して行ってきたが、新病院での診療体制に合わせて平成30年度よりART治療は中止とした。

その他、骨盤性器脱の管理や性感染症の診断治療など全ての産婦人科疾患に対応できる体制で診療を行ってきた。

総手術件数：408件(前年より35件増)

悪性腫瘍・境界悪性腫瘍に対する根治手術：39件

腹腔鏡下手術：204件(卵巣腫瘍：115件、子宮全摘：60件、筋腫核出：21件、異所性妊娠：7件、など)

子宮鏡下手術：14件

開腹子宮全摘術：31件

開腹子宮筋腫核出術：11件

開腹卵巣腫瘍手術：3件

円錐切除術：49件

子宮脱手術：5件

帝王切開：41件 など

分娩件数：189件 [うち帝王切開：41件(22%)]

<平成30年度目標>

- *学会や研修会に積極的に参加し、最新の診断、治療法の習得や手技の向上に努める。
- *婦人科良性腫瘍の手術件数の増加、特に内視鏡下手術の適応拡大に努める。
- *婦人科悪性腫瘍患者管理をさらに充実させる。
- *妊婦管理(健診)の充実、分娩件数の増加に努める。
- *初期研修医、後期研修医がさらに充実した研修を行えるように努める。



16. 眼科

【医 師】 加宅田匡子(非常勤嘱託医師)

日本眼科学会専門医
日本緑内障学会
日本白内障屈折矯正手術学会
専 門 眼科一般

[視能訓練士] 秋山 妙子、湯野川樹理、渡邊 恵、大藤 美弥

<平成29年度実績>

統計ページを参照。

<平成30年度目標>

外来診療では、診断に不可欠な光干渉断層計(OCT)やエコーを導入したため、より正確な診療、迅速な加療に努めたい。

今まで入院、手術が無かったことから病棟、手術室始め院内全体との関わりも薄かったと思われるので、当科的入院システムの構築に努め、眼科疾患、患者様の介助などへのスタッフの方々のご理解を深めていただけるよう勉強会を開催したり、密にコミュニケーションを図っていき、急患、入院も積極的に受け入れたい。

白内障手術を中心に安全、確実を心がけ、地域に貢献できるよう件数も徐々に増やしたい。



17. 耳鼻咽喉科

**【部 長】 多田 靖宏(耳鼻咽喉科部長 兼 嚙下・ボイスセンターセンター長
兼 鼻・副鼻腔センター長 兼 医療情報部門責任者)**

日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本気管食道科学会認定専門医、日本喉頭科学会、
音声言語医学会、日本鼻科学会、日本嚙下医学会、日本耳鼻咽喉科臨床学会
日本頭頸部外科学会、日本口腔咽頭科学会、日本再生医療学会、日本炎症再生学会
福島県立医科大学非常勤講師

専 門

耳鼻咽喉科一般、音声外科領域(音声改善手術)
鼻副鼻腔領域(慢性副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎)
気管食道科領域(気管狭窄症)、医療情報学領域

【副部長】 柳川 明弘(鼻耳咽喉科部副部長)

日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本耳鼻学会、日本口腔・咽頭科学会
専 門 耳鼻咽喉科一般、睡眠時無呼吸の診断と治療

【医 師】 大河内幸男(非常勤委託医師)

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医、日本気管食道科学会専門医、
日本聴覚医学会、日本耳科学会、日本鼻科学会、耳鼻咽喉科臨床学会
福島県立医科大学臨床教授

専 門 鼻・副鼻腔疾患、扁桃疾患

【医 師】 松井 隆道(非常勤医師)

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医

日本耳科学会

専 門 耳鼻咽喉科

<平成29年度実績>

平成29年度の入院患者数は343名で、その内訳は手術目的の予定入院158名、救急入院は185名であった。手術症例は全身麻酔161名、局所麻酔167名であった。

<平成30年度目標>

1. 国内および国際学会で積極的に発表を行う。
2. 手術研修や講習会に積極的に参加する。
3. 各専門外来を充実させ、より専門的な治療を提供する。
4. 耳鼻咽喉科に関わるコ・メディカルと連携し、チーム医療を充実させる。

18. 放射線科

【部 長】 菊田 学(放射線科部長)

日本医学放射線学会専門医

専 門 画像診断(特にCT・MRI)

【技師長】 今野英麻呂(放射線科部技師長 兼 第1放射線技術課長)

【課 長】 佐藤 勝行(第2放射線技術課長)

【係 長】 菅野 徹(特殊撮影係長)

相澤 浩樹(画像情報係長)

阿部 直人(一般撮影係長)

[診療放射線技師] 海藤 隆紀、国島やよい、五十公野純子、羽貝 寿子、
サインブヤン美穂、三次 鏡太、明田 充弘、佐藤 竜馬、高橋 嗣郎

[放射線科助手] 八巻 弘美

<平成29年度実績>

1. 検査件数

	H28 年度	H29 年度
一般撮影	28,725	29,182
透視撮影	1,098	1,126
骨密度検査	553	560
CT 検査	12,435	12,937
MRI 検査	5,891	5,890
乳房撮影	1,806	1,765
ホールボディカウンタ検査	540	89
ポータブル撮影	4,356	4,808
PACS 取り込み・複写	4,532	5,013

2. 脳外二次輪番日の宿直制の継続
3. 紹介患者、画像データのPACSへの取り込みの対応
4. 遅番体制による貢献
5. 各モダリティーにおける勉強会の開催

<平成30年度目標>

1. 患者さんに寄り添った検査の実施
2. 共同利用の積極的な対応
3. 新病院に相応しい放射線機器の選定
4. 新病院に導入される大型医療機器の計画的なトレーニングの実施
5. 新病院移転後の放射線機器の順調な稼働
6. 学会・研究会への積極的な参加と発表数の増加
7. 放射線科の教育用ラダーを作成し、新入職員の教育を試みる

<学会・研修会参加>

1. 2017年 国際医用画像総合展 平成29年4月15日(土) パシフィコ横浜
今野英麻呂、佐藤 勝行、菅野 徹、相澤 浩樹、阿部 直人、国島やよい、羽貝 寿子
2. 原子力災害基礎研修 平成29年6月3日(土)～4日(日) 石巻赤十字病院災害医療研修センター
海藤 隆紀 佐藤 竜馬
3. 第3回 福島血管撮影技術セミナー 平成29年6月10日(土) 星総合病院ポラリス保健看護学院
明田 充弘 高橋 嗣郎
4. 平成29年度 日本赤十字社放射線技師学術総会・第64回定期総会
平成29年6月23日(金) 東京国際フォーラム 菅野 徹、阿部 直人
5. 平成29年度 福島県放射線技師会県北地区勉強会 平成29年7月29日(土) 福島テルサ
今野英麻呂、佐藤 勝行、相澤 浩樹、阿部 直人、海藤 隆紀、高橋 嗣郎
6. 平成29年度日本赤十字社放射線技師会東北ブロック研修会
平成28年9月30日(土) 秋田赤十字病院 今野英麻呂、佐藤 勝行、羽貝 寿子
7. 第53回 日本赤十字社医学総会 平成29年10月23日(月) 仙台国際医療センター
佐藤 勝行
8. 平成29年度 福島県放射線技師学術大会 平成29年11月19日(土) 県立福島医大
今野英麻呂、佐藤 勝行、阿部 直人、海藤 隆紀、三次 鏡太
9. 第17回 福島県MR技術研究会 平成29年12月2日(土) 太田西ノ内病院
阿部 直人、海藤 隆紀、三次 鏡太、佐藤 竜馬
10. 日本赤十字社医療安全管理者養成研修会 第15回集合研修会
平成30年2月22日(木)～23(金) 日本赤十字社本社 佐藤 勝行

<研修会等発表>

- ・H29年度日本赤十字社放射線技師会東北ブロック研修会 平成28年9月30日(土)
「産休・育児休暇、前中後の勤務体制について」 羽貝 寿子
- ・第17回 福島県MR技術研究会 平成29年12月2日(土) 太田西ノ内病院
「手指MRI検査の補助具およびポジショニング」 佐藤 竜馬

<座長>

- ・平成29年度 福島県放射線技師会県北地区勉強会 平成29年7月29日(土) 福島テルサ
「胸部X-Pの基礎とデジタル化後の注意点」
「救急診療におけるX線撮影の目的とポイント」 相澤 浩樹
- ・第53回 日本赤十字社医学総会 平成29年10月23日(月) 仙台国際医療センター
一般演題 ポスター12「放射線技術部門1」 佐藤 勝行
- ・平成29年度 福島県放射線技師学術大会 平成29年11月19日(土) 県立福島医大
セッションⅦ 「救急撮影・災害医療」 海藤 隆紀



19. 麻酔科

【部長】 安達 守(第1麻酔科部長)

日本麻酔科学会、日本臨床麻酔学会、日本麻酔科学会認定専門医
専門 星状神経節ブロック

出羽 明子(第2麻酔科部長)

日本麻酔科学会、日本臨床麻酔学会、日本緩和医療学会、日本ペインクリニック学会、
日本麻酔科学会認定専門医
専門 緩和ケア、帯状疱疹後神経痛

<平成29年度実績>

麻酔件数	1,698件
ペインクリニック	67件
緩和ケア	54件
薬物中毒	6件
初期研修医	10名
救急救命士挿管実習	1名

<平成30年度目標>

安全な手術麻酔と緩和ケアの充実



20. リハビリテーション科

【部長】 村上 和也(第1整形外科部長 兼 リハビリテーション科部長)

【医師】 丸山 俊章(非常勤医師)

【係長】 大室 祐司(第1リハビリテーション科係長、理学療法士)

藤橋 伸弘(第2リハビリテーション科係長、理学療法士)

[理学療法士] 近澤久美子、相田 悦子、鈴木かおり、三浦 友輔

渡邊みなみ、淵澤 慎也、大室 康騎、菅野 裕司

[作業療法士] 高橋 美和、川瀬ゆかり、小林 楓

[言語聴覚士] 後藤真紀子、齋藤 隆徳、佐藤 藍里

[事務] 鈴木真紀子

<平成29年度実績>

1. リハビリテーション業務実績

部門	入院	外来	合計
理学療法総単位数	33,556	742	34,618
作業療法総単位数	9,259	435	9,694
言語聴覚療法総単位数	7,793	162	7,955

2. 音声外来業務従事(ST部門)

<平成30年度目標>

1. 方針

- (1)患者満足度と職務満足度の向上
- (2)質の高いリハビリテーションの提供
- (3)病院収益への貢献
- (4)人材育成

2. 具体的目標

- (1)処方された全ての患者様へ、適切なりハビリテーションを提供する
- (2)ハード面、ソフト面の充実
- (3)地域連携パスの適切で効果的な運用
- (4)診療報酬改訂に対応し、規定範囲内で最大限の算定を行う
- (5)業務改善の提案
- (6)他部門との連携強化
- (7)各種リハビリテーション文書の統一化
- (8)臨床実習の受け入れを行う

21. 薬剤部

【部長】 我妻 禎(薬剤部長 兼 調剤課長)

日本病院薬剤師会認定実務実習指導薬剤師、日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師
日本病院薬剤師会生涯研修履修認定薬剤師、上級放射線ファーマシスト
日本アンチドーピング機構スポーツファーマシスト

【課長】 緑上 淳一(薬品管理課長 兼 薬品管理係長)

渡部 寿康(製剤課長)

がん薬物療法認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師
日本薬剤師研修センター認定薬剤師、日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師
日本病院薬剤師会生涯研修履修認定薬剤師、日本DMAT隊員、麻薬教育認定薬剤師
ケアマネージャー、日本アンチドーピング機構スポーツファーマシスト
中級放射線ファーマシスト

【係長】 山脇 聡(製剤係長)

川村 早苗(調剤係長)

薬原性錐体外路症状評価尺度(DIEPSS)評価者講習修了
日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師、吸入指導薬剤師

【薬剤師】 薄 大介

日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師
日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師、日本DMAT隊員

佐藤 南

日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師
吸入指導薬剤師、初級放射線ファーマシスト

二瓶 瑤子

日本糖尿病療養指導士(薬剤師)

日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定薬剤師

齋藤可奈子

外来がん治療認定薬剤師

日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定薬剤師

酒井 亮

日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師

日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定薬剤師

武藤 壮平

日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師

大竹麻衣子

中級放射線ファーマシスト、日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師

小野優紀恵

中級放射線ファーマシスト、日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師

菊地 洋平

中級放射線ファーマシスト

古賀 彩織

中級放射線ファーマシスト、日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師

安齋 英里

中級放射線ファーマシスト、日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師

佐藤 綾香

初級放射線ファーマシスト

小川 理菜

初級放射線ファーマシスト

〔薬剤助手〕 **山田 奈美、板垣かなえ、矢吹沙紀子**

＜平成29年度実績＞

1. 薬剤管理指導件数 月平均：608件
2. 退院時薬剤情報管理指導数 月平均：280.4件
3. 6年制薬剤師長期実務実習受入件数
Ⅱ期(平成29年9月4日～11月17日) 1名
Ⅲ期(平成30年1月9日～3月26日) 3名
4. 化学療法ミキシング件数
外来実施件数：740件
入院実施件数：360件
5. 学会・研修会発表
平成29年8月20日 郡山市 市民交流センター
第10回福島県薬剤師がん化学療法研究会 渡部 寿康、齋藤可奈子
「レジメン提案選択症例」「Nivo vs Pmab 使い分け」「irAE マネジメントに対する対策」
平成29年10月22日 横浜市 パシフィコ横浜
第55回日本癌治療学会学術集会 渡部 寿康
「ニボルマブの使用状況と薬剤師による治療継続への介入」
平成29年11月14日 福島市 福島テルサ
第5回県北地区薬薬連携研究会 我妻 禎、渡部 寿康、齋藤可奈子、武藤 壮平
「肝障害を見逃さない！事例検討」
平成29年11月25日～26日 福島市 福島赤十字病院
第20回東北ブロック赤十字病院薬剤師研修会 薄 大介、菊地 洋平、安齋 英里
「入院患者さんの持参薬鑑別手順と持参薬使用について」
「薬剤師外来の実施について」

6. 学会・研修会参加

日赤薬剤師会臨床薬学研修会
日赤薬剤師会災害救護研修会
日赤東北ブロック薬剤師研修会
日赤薬剤師会総会及び講演会
日赤医学会
東北ブロック赤十字病院リスクマネージャー養成ワークショップ
日本病院薬剤師会感染制御専門薬剤師講習会
日本病院薬剤師会医薬品安全責任者講習会
日本病院薬剤師会新人研修プログラム
日本病院薬剤師会関東ブロック大会
日本病院薬剤師会東北ブロック大会
日本医療薬学会年会
がん専門薬剤師集中教育講座
臨床腫瘍学会学術集会
臨床腫瘍薬学会学術集会
日本癌治療学会学術集会
中小病院薬剤師実践セミナー
薬学実務実習指導薬剤師のためのアドバンスワークショップ
福島県病院薬剤師会新人・新任者研修会
福島県病院薬剤師会福島支部・福島薬剤師会合同研修会
福島県薬剤師学術大会
福島医療の質・安全フォーラム
福島NSTフォーラム
日本緩和医療薬学会

<平成30年度目標>

1. 薬剤管理指導件数
月平均 700件
2. 6年制薬剤師長期実務実習受入件数
Ⅰ期：2名 Ⅱ期：2名 Ⅲ期：0名
3. 化学療法ミキシング件数
外来実施件数：800件
入院実施件数：400件
4. 学会・研修会発表：3件

22. 医療技術部

【部長】 渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)

栄養課

【係長】 菊地 利恵(第一栄養係長、管理栄養士)
静脈経腸栄養(TNT-D)管理栄養士
NST専任管理栄養士

小河原貴之(第二栄養係長、管理栄養士)

福島県糖尿病療養指導士

NST専任管理栄養士

服部 みゆき(調理係長、調理師)

[管理栄養士] 佐藤る美子(総合アドバイザー)

産業栄養指導者

NST専任管理栄養士

葛城 美貴

福島県体育協会認定スポーツ栄養士

野崎 華織、野沢 雅美、長谷川璃香

[栄養士] 野地満里絵、齋藤那緒美、蓬田 ゆみ、安田 萌美

[調理師] 釜田 雄一、中尾ひろみ、島倉 蘭

[業務員] 三浦美智子、佐藤 由枝、片平 純子、本多由美子、鈴木 晴子、高橋 睦、

小林 玲子、佐川 取、佐藤 栄寿、佐藤 弥

[事務員] 渡辺 淳子

<平成29年度実績>

・栄養管理業務

項目	区分	実績	備考		対前年度増減
栄養指導件数	外来指導	381件/年	算定件数	360件/年	132件増
	入院指導	837件/年	算定件数	759件/年	187件減
栄養管理計画書		2,425件/年	40.2%/年		242件減
集団栄養相談教室	プレママ	23回/年			-
個人対応		608件/年			58件減

(1)糖尿病代謝内科外来患者で栄養指導対象者の抽出を行い、外来栄養指導件数UPに繋げた

(2)糖尿病透析予防指導管理料算定へ向け体制を整えた

・給食管理業務

項目	区分	実績	備考		対前年度増減
給食延数	一般食	134,481食/年	特別食割合	60.20%	3,774食減
	特別食加算	80,961食/年			178食増
行事食回数		39回/年			-

(1)学校給食等産地産物推進事業に参画し、県産農林水産物を使用したメニュー(ふくしまふるさとメニュー)を提供した

(2)災害非常食の見直しを実施

(3)8月に嗜好調査を実施し、献立内容改善に繋げた

(4)大量調理施設衛生管理マニュアル改定に伴い、当院の衛生管理マニュアルの改訂を行った

(5)ニュークックチルシステム移行に向け、衛生管理及び調理研修を開始した

(6)2月下旬から産科食に陶器を使った食事の提供を開始した

(7)管理栄養士、栄養士の実習生を5校(14名)、インターンシップ2名受け入れた

<平成30年度目標>

1. ニュークックチルシステムへ滞りなく移行する

2. 栄養指導算定数1,200件/年以上

3. 栄養管理の充実(栄養管理計画実施件数、NSTラウンド件数UP)
4. 嚥下食改定
5. 衛生管理を充実させ、安全で美味しい食事摂取基準に則した食事の提供に取り組む

臨床工学技術課

【課長】 橋本 健一(臨床工学技術課長・臨床工学技士・医療機器安全管理責任者・医療安全推進室員)
 [臨床工学技士] 早坂美智子・中山 彩・佐藤 恵美・塩澤 将太・村上 風太

<平成29年度実績>

1. 臨床業務

- (1)アンギオカテーテル業務
 - ・心臓414件 (PCI 208件)
 - ・末梢血管EVT 21件
 - ・血栓除去 14件
 - ・IVCフィルター 7件
 - ・脳血管112件(造影・コイル他)
 - ・肝臓40件(TACE他)
 - ・大動脈ステントグラフト4件
- (2)心臓ペースメーカー業務
 - ・新規埋込み術・電池交換術 53件
 - ・植込み型ペースメーカー外来 1,210回
 - ・体外式ペースメーカー管理日数 201日
- (3)心臓手術 業務
 - ・8件
- (4)血液浄化アフェレーシス療法業務
 - ・77回 (HD・CHDF・DHP・腹水濾過再静注)
- (5)ラジオ波腫瘍焼却術(RFA)
 - ・4件
- (6)術中自己血回収術(セルセーバー)
 - ・14件
- (7)補助循環装置管理日数(IABP・PCPS)
 - ・10日
- (8)内視鏡室業務

2. 医療機器管理業務

- (1)中央管理・点検業務
 - 輸注ポンプ・人工呼吸器・除細動器・全身麻酔器・閉鎖式保育器・血液透析装置
 - 補助循環装置(IABP・PCPS)・ペースメーカー・パルスオキシメーター・生態情報モニター・低圧持続吸引器・電気メス など
- (2)医療機器研修会開催
 - ・10回 (病棟単位での研修会含む)

3. 参加委員会 等

- ・医療安全推進室
- ・医療安全推進委員会
- ・医療ガス委員会
- ・医療機器整備委員会
- ・HCU運営委員会
- ・手術室運営委員会
- ・NESスタッフ
- ・新型インフルエンザ委員会
- ・省エネ委員会

<平成29年度目標に対する活動実績>

- ・学会・研究会での発表 4回

<平成30年度目標>

1. 管理機器における点検表の整備
2. 各臨床業務分野における知識・技術の向上

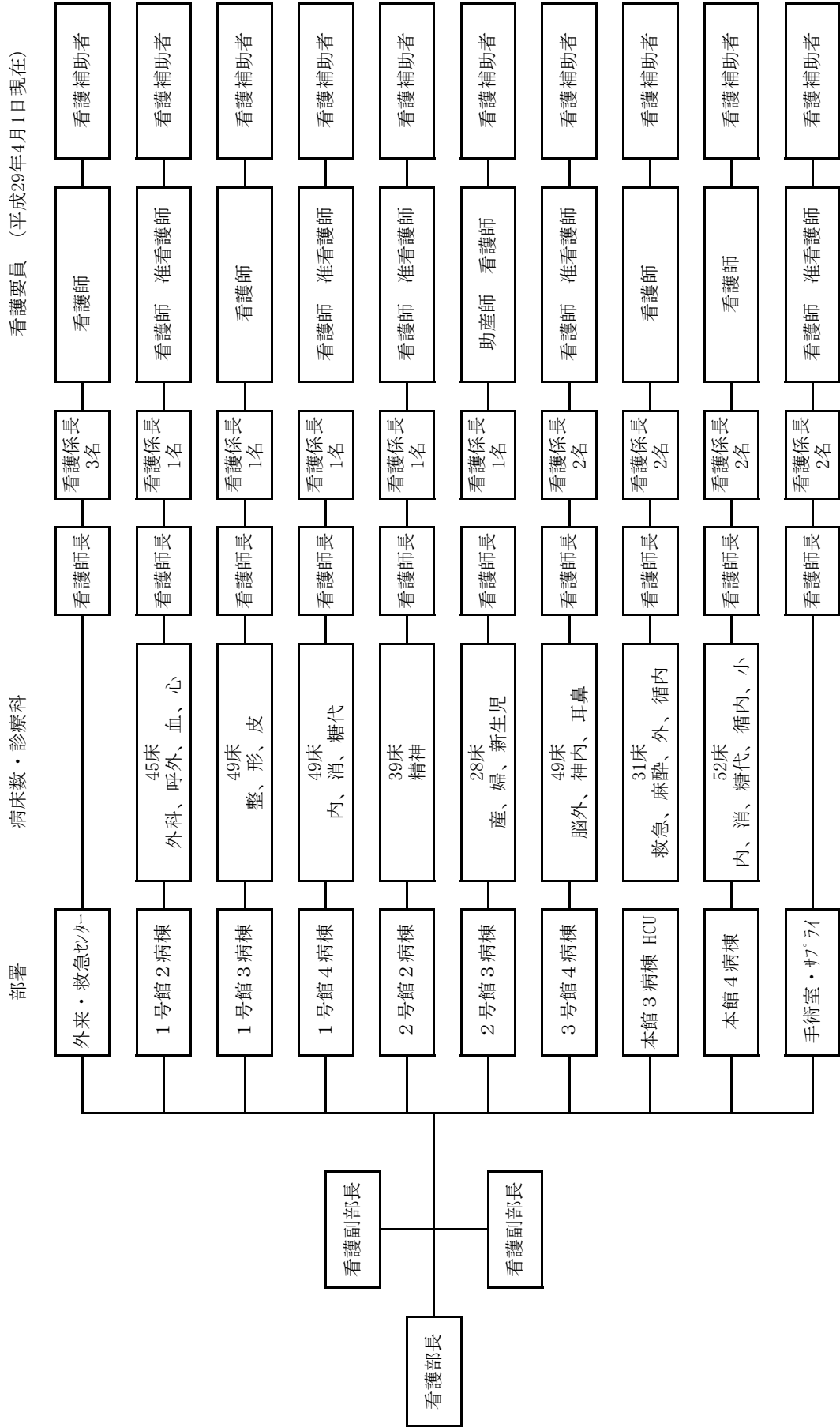


23. 看護部

(平成29年4月1日現在)

看護部長	會澤英子		
看護副部長	渡邊知子	高木朝子	
所属別配置			
所属	看護師長	看護係長	
医療等安全推進室	阿部 美幸 (専任リスクマネジャー)	三浦 愛 (感染制御実践看護師)	
褥瘡管理者		佐藤 美絵 (皮膚・排泄ケア認定看護師)	
実務病床管理責任者	富田 仁子		
外来	森谷 浩子 (がん化学療法看護認定看護師)	白岩 芳子 武井 明美 渡邊あゆみ(救急看護認定看護師)	
1号館2病棟 (外科・心外科・泌尿器科) 45床	菅野ひとみ	小林 洋子	
1号館3病棟 (整形外科・眼科・皮膚科) 49床	笹木恵美子	武田 里美	
1号館4病棟 (内科・消化器内科・ 糖尿病代謝科) 49床	菅野いづみ	車田 真美	
2号館2病棟 (精神科) 40床	伊藤美津子	柳田 美穂	
2号館3病棟 (産婦人科) 28床	石田 久江	齋藤 幸恵	
3号館4病棟 (脳外科・神経内科・耳鼻科) 49床	安達 明美	小野ひとみ	成澤 裕美
本館3病棟 31床 (外科・心外科・循環器内科・麻酔科) 25床 (HCU) 6床	鈴木 佳子	吉田 和恵 奈良輪弘美	
本館4病棟 (内科・消化器科・ 小児科・循環器内科) 52床	斎藤 明子	鈴木 牧子	齋藤 泉
手術室	國分 花子	泉 弘子	
中央材料室		佐久間由美子	

福島赤十字病院看護部組織図



	委員会等名	目的
看護部委員会	現任教育委員会 (看護研究含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師、看護補助者個々のキャリア開発を支援するとともに、院内看護教育プログラムに沿った研修会の運営を担当する。 ・臨床における看護研究の推進及び院内発表会を運営する。
	新人教育委員会 (臨地実習指導者会含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・新人看護師個々のキャリア開発を支援するとともに、院内新人看護職員研修プログラムに沿った研修会の企画、運営を担当する。 ・教育施設と連携し、実習の目的が達成できるようそれに適した臨地実習の場を調整し、実習の指導・支援を行う。
	看護記録委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の質向上のため、看護記録監査の実施及び看護記録の基準の見直しを行う。
	看護基準委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の質向上のため、看護の基準、手順を改訂する。
	認知症ケア委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を有する患者のケアを行うために、病棟での対応力とケアの質向上を図る。
看護部リンクナース会	褥瘡対策 リンクナース会	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡対策チーム、院内NST委員会と連携し、褥瘡予防・創傷管理、失禁ケアの質の向上のための活動を行う。
	医療安全 リンクナース会	<ul style="list-style-type: none"> ・病院安全管理委員会、医療安全推進委員会と連携し、看護を安全に提供するための環境を整備する。
	感染対策 リンクナース会	<ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策委員会と連携し、患者の院内感染を低減し、医療従事者の感染を予防する。
	災害対策 リンクナース会	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の災害対策委員会と連携し、災害発生時において患者の安全を図り、迅速かつ円滑な対応ができるよう、防災・救護活動を必要な知識・技術の習得を支援し、常に救護体制を整備する。
部会	重症度、医療・看護必要度部会	<ul style="list-style-type: none"> ・「重症度、医療・看護必要度に係る評価票 評価手引き」に沿った記録・監査と効果的な指導・研修企画・評価を行う。
	看護支援 システム部会	<ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテ移行に向けて、医療情報システム検討委員会と連動した看護部内の整備・指導を行う。
	WLB推進部会	<ul style="list-style-type: none"> ・「仕事と生活の調和」を目的に育児支援、交代制勤務等の検討を行い運営する。
	看護部CS部会	<ul style="list-style-type: none"> ・病院顧客サービス広報委員会と連携し、看護職員の接遇向上を図り、患者満足度向上のための活動を行う。
	緩和ケア部会	<ul style="list-style-type: none"> ・病院緩和ケア委員会と連携し、緩和ケアの質の向上のための活動を行う。

<平成29年度 看護部目標>

1. 入・退院支援を推進する
2. 看護要員の確保と効果的な活用を推進する
3. 交代制勤務ガイドラインに沿った労務管理を実施する
4. 看護実践力向上のため、能力開発を推進する

<平成29年度の看護部目標総括>

1. 入・退院支援を推進する

救急搬送の受入件数は年々増加し、応需率は90%以上を維持してきた。反面、退院困難者が増加してきているのが現状である。退院支援の推進を病棟目標に掲げ、受け持ち看護師のケースカンファレンスの積極的な発信に努め、多職種合同や地域のケアマネジャー参画のカンファレンスの開催を推進してきた。一般病床の稼働率は82.9%、在院日数13.4日である。MSWが関与して退院支援を進める割合も昨年の20%から26%に増えており、院内外の医療従事者間の連携が強化されている。これからも救急搬送患者の受け入れや地域の医療機関、施設からの紹介要請に添えていくために、院内の機能を強化していく必要がある。

2. 看護要員の確保と効果的な活用を推進する

4月に新人看護職員19名を含む正規採用23名を迎えることができた。退職者は16名(前年度より2名増)であった。看護補助者は4月から病棟クラークを2名から4名に増やし、看護職員の負担軽減に役立っている。看護補助者の夜勤配置は退職者が出たことにより、それまで夜勤に入らなかった看護補助者が、8時間交代の夜勤に入ることにより継続できている。

3. 交代制勤務ガイドラインに沿った労務管理を実施する

前年度同様に2病棟が2交代、6病棟が3交代である。3交代の中には2交代や変則2交代、夜勤専従などのスタッフもあり、多様な勤務で働き続けることができるよう努めている。今後、看護職員夜間配置を検討し一般病棟の3人夜勤、2交代の推進に努めていく。

4. 看護実践力向上のため、能力開発を推進する

4月からe-ラーニングが導入され、自己研鑽や院内研修に運用できる環境を整えることができた。集合研修の事前課題や自己学習に役立っている。

認定看護師は、認知症看護、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の2名が増えたことにより、急性期の高齢者看護の実践能力向上に向けた指導や院内研修が充実してきている。

看護実践者ラダーは、新人看護師が2年目にレベルIを申請することが定着してきている。上位レベルの認定を奨めるために看護師長による計画的な人材育成が重要である。

<平成30年度 看護部目標>

1. 入退院支援センター(仮)の業務を推進する。
2. 新病院への移転、電子カルテの全面稼働を推進する。
3. コストを意識した物品管理を行う。
4. e-ラーニング、ナーシングメソッドを活用し看護要員の人材育成を図る。

平成29年度部署総括

部署	目標	結果	課題
1号館 2病棟	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な医療看護を提供し、早期退院に向けて支援を行います。 	<p>ヒアリハット・アクシデント報告68件、その都度カンファレンス実施、その後病棟会でも情報共有し事故防止に努めた。朝のミーティング方法を変えたことで、両チーム共に安全確認が確実に行えるようになりケア開始を早めることが出来た。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 安全に対する基本行動をもう一度確認し実施する。 部署内研修を積極的に行い、専門的な知識とアセスメント能力を高める。 多職種協働で、円滑な退院支援を行えるようカンファレンスの充実を図る。
1号館 3病棟	<ul style="list-style-type: none"> 報告・連絡・相談を密に行い、安全で安心な医療を提供します。 	<p>毎朝のケースカンファレンスは継続できた。転倒転落事例のリハビリカンファレンスは、ほぼ100%実施できた。退院支援の方向性について、SWと日々リーダーの連携を密に行ってきた。薬剤部との事例検討も数件だが実施できた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次年度も他職種とのカンファレンスを継続し、患者の退院支援に関わっていく。 毎朝の事例カンファレンス、金曜日のヒアリハットカンファレンスも継続し、スタッフの質向上に努める。
1号館 4病棟	<ul style="list-style-type: none"> 入院時から、退院後の生活を視野に入れた患者・家族参画のチーム医療を推進します。 	<p>受持看護師としてケースカンファレンスを発信し、看護計画に反映ができた。またチームメンバーで共有できるように取り組んだ。前年度より、受持ち看護師発信のカンファレンスの回数を増やすことができた。 誤嚥による急変やDNARの考え方、個人情報の取扱い等に関するカンファレンスを実施し、振り返ることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> データからケースカンファレンスは病棟事情によって件数が減ってしまう傾向があるので、継続できるように検討したい。 安全な看護の提供についての取り組みを継続する。
2号館 2病棟	<ul style="list-style-type: none"> 患者様の倫理的配慮のもと、快適な入院生活が送れるよう治療・看護を提供します。 	<p>社会復帰に向けた患者教育プログラム、精神科訪問看護やケースカンファレンスなどの退院支援の充実、認知症予防体操を継続して取り組んだ。 認知症や他科疾患、身体合併症看護において勉強会の実施やカンファレンスを実施し、看護の統一と質の向上を目指した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身体合併症治療を目的とした患者が増加し、全体の40%を占めている。精神看護のみならず、身体合併症看護のスキルアップを目指す。
2号館 3病棟	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心なケアの提供を目指します。 	<p>定期的に部署内の勉強会を実施した。チーム内でのカンファレンスも実施し、ケースの振り返りを行うことができた。 母乳育児への支援や患者参画のケアについては継続して実施できた。 クラスの内容やパンフレットを見直し、より質の高いクラス運営を目指した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 継続した事例検討会や自部署での勉強会を実施する。 分娩件数をアップするための取り組みを行う。 患者参画の看護実践を継続する。
3号館 4病棟	<ul style="list-style-type: none"> 多職種連携で「報告・連絡・相談」をしっかり行い、安全で安心な質の高い医療を提供します。 	<p>脳卒中リハビリテーション認定看護師が誕生し、毎月2回の脳外・神内症例検討会(開催率92%)は多職種で情報共有と意見交換が活発に行えた。 リハビリカンファレンス(1/W)をスタートし情報共有と対策を考えることで、リスク感性向上に繋がった。耳鼻科では外来手術の導入があり、勉強会を重ね安全な医療が提供できるよう努めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 脳卒中リハビリテーション認定看護師を活用し、看護の質の向上に繋げる。 多職種症例検討会を継続し、チーム医療の強化を図る。 部署内研修を多く実施し、専門的知識とアセスメント能力を高め安全安心な医療を行う。

部署	目標	結果	課題
本館 3病棟	<ul style="list-style-type: none"> 急性期医療・重症集中医療を要する患者に対し、安全な医療・看護を提供します。 	<p>J-PADガイドラインに沿った鎮痛・疼痛・せん妄のアプローチができるように、疼痛スケールの定着化・せん妄スケールの導入に向け取り組んだ。</p> <p>入院早期からの退院支援をめざし、入院早期に退院カンファレンスを実施し的確なアセスメントができるように努めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> HCU増床に向け、スタッフの育成に努める。 受持ち看護師としての役割を充実させ、入院早期からの退院支援を実践する。
本館 4病棟	<ul style="list-style-type: none"> 多職種と連携し、患者・家族の生活に沿った退院支援を行います。 	<p>入院から48時間以内にカンファレンスを実施し退院支援が必要な患者を連携室につなぎ、退院に向けた多職種や地域との合同カンファレンスを行った。</p> <p>心不全パンフレットを作成し退院後の生活に合わせた指導を行うことができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多職種と連携を重ね退院支援を行う。 病棟と小児科外来一元化の継続と業務改善 安全安心な医療提供のためにスタッフの知識・技術の向上に努める。
外来	<ul style="list-style-type: none"> 24時間救急患者を受け入れる体制を継続する。 新病院を見据え、各科診療介助の統一を図る。 円滑な入院と退院支援を推進する。 	<p>多職種とも連携を図り、救急車応需率約90%を維持、救急患者を受け入れることができた。</p> <p>問診票の改定と、カルテのメモを廃止し統一できた。</p> <p>意思決定支援と、記録の大切さを意識付けすることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 不応需10%以下の継続を目標に体制を整える。 電カル化に向け外来診療介助の標準化を進める。 確実な記録方法を検討する。
手術室 ・中央 材料室	<ul style="list-style-type: none"> 専門性を高め安全で質の高い手術を提供する。 安全な滅菌材料を提供する。 	<p>新病院移転に向け、固定器を整理し、器械展開方法を見直した。整形や婦人科の器材セットを作成した。</p> <p>呼吸器系洗浄器材の中央処理化や、耳鼻科器械のマニュアル作成、各種業務マニュアルの変更ができた。</p>	<p>新病院移転に向けて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 器械・器材の整理整頓 2. 器械展開や入退室の効率化 3. 記録や申し送りの検討

平成29年度委員会総括

委員会	目標	結果	課題
現任教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・院内看護教育計画に沿って実施し、質の高い看護が提供できるように支援する。 ・IVナースの推進を図り認定を進める。 ・キャリア開発ラダーを推進し認定者を増やす。 ・看護研究、3年目ケーススタディーの実施 ・e-ラーニングの推進 	<p>計画通り研修会を実施することができた。オープン研修では多職種と連携し研修会を実施できた。また、嚙下や急変時の研修会は認定看護師と連携を図り、充実した研修を部署毎に行った。看護研究は外部の講師の助言を得て継続して実施できた。ラダー申請に関しては、各部署の現任教育委員が主体となって実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会のクリニカルラダーとの整合性を合わせた研修会の実施 ・看護研究の継続した取り組み ・認定看護師、多職種と連携した研修会の実施
新人教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・新人看護教育計画に沿って教育研修を行い、新人看護職としての基本的姿勢・態度・基礎看護技術の習得を支援する。 ・実習指導に必要な知識・技術・態度を習得し効果的な実習指導ができるように支援する。 	<p>新人教育プログラムにおいて、各委員会や院内認定看護師と連携を図ることで、職場内教育(OJT)を充実させることができた。</p> <p>新人教育プログラムの研修実施方法を集合研修と時間割研修で行い、昨年度の反省を振り返りながら実施することで、技術研修では新人個々に合わせたアドバイスができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度よりe-ラーニングの看護技術チェックを導入し、職場内教育(OJT)で活用する。統一した看護技術と個人のレベルに合わせた指導が出来るように取り組む。
看護記録委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・看護記録の監査を行い、看護記録の適切性と看護実践の妥当性を評価し、質の高い看護の実践を図る。 ・クリニカルパスを活用する。 ・看護記録マニュアルを見直し修正できる。 	<p>記録監査をオーダリングのトップ画面から入力ができるようにした。記録監査は達成率が80%以下になる項目が減った。質的監査は予定通り2回実施できた。質的監査では、重症度、医療・看護必要度に関わる記録についても評価した。それぞれの良い点・課題を各部署にフィードバックした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は今年度の記録監査の評価で、「#ナンバーの記入」、「看護計画の1週回以内の修正」が80%以下の月もあったので、啓蒙し続けていく。質的監査については、電子カルテ導入に向けて監査項目の見直しをしていく。
看護基準・手順委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の質の向上のため、看護マニュアル(手順)・看護基準を見直し修正・周知を行う。 	<p>「看護基準」「看護技術マニュアル」「標準看護計画」の修正・作成・登録・周知を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテ上における看護計画立案と、e-ラーニングを活用した看護マニュアルの見直しをしていく。
災害対策リンクナース会	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの減災意識を高め、災害発生時において患者の安全を図り迅速かつ円滑な対応ができるようにする。 ・減災・救護活動に必要な知識と技術の習得を支援し、常に救護体制を整備する。 	<p>新しい救護バッグの導入と運用を開始し、救護活動に備えることができた。日常の災害点検、救護資機材の5S、災害パトロールを継続して実施できた。今年度からの救護員研修に協力でき、滞りなく実施できた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在実施している活動の継続と、新病院に向けての災害対応(資機材の保管は? 避難経路は? トリアージ実施場所は?)など検討していく。
認知症ケア委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を有する患者のケアを行うための体制整備を行う。 	<p>今年度から、認知症ケア委員会が立ち上がった。「認知症を有する患者ケアを行うための体制整備を行う」を目標に掲げ、認知症認定看護師を中心にスタッフへの知識の構築とマニュアルの周知徹底に力を入れてきた。結果、7月からの認知症ケア運営委員会との共同業務へ繋がった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケア認定看護師を中心に、次年度は、本院独自の認知症ケアマニュアルを作成し運用をしていきたい。

<p>医療安全 リンク ナース会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看護を安全に提供するための環境作りを支援する。 ・看護を安全に提供するためにスタッフ教育を行う。 	<p>転倒・転落事故防止対策、内服薬自己管理アセスメントシート、ドレーン・チューブ誤認・誤接続防止対策について検討を重ね、運用を開始できた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒・転落事故防止対策、内服薬自己管理アセスメントシート、ドレーン・チューブ誤認・誤接続防止対策の周知徹底及び実施・運用状況の把握を行う。
<p>感染対策 リンク ナース会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・標準予防策・感染経路別予防策を行い感染対策の充実を図る。 ・感染対策教育を通して感染対策を図る。 	<p>手指衛生チェック実施率の目標を達成した。各部署の環境対策実施率は前期86%から後期96%になった。防護具着脱の研修を行い前回89%から今回96%に、真空管採血の教育後評価では使用率90%から93%になった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手指衛生チェックは、A評価が97%となっているが、ラウンドでできていない場面を見かけることがあり、実際の業務中できているか評価する方法を検討していく。
<p>褥瘡対策 リンク ナース会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡予防に関連した知識・技術を伝達することができる。 ・褥瘡ケアの実際を検討する。 ・褥瘡予防用具を安全に使用できているか点検することができる。 ・褥瘡対策マニュアルを修正する。 	<p>7月の褥瘡学会東北地方会に10名参加し、新しい知識を得ることができた。リンクナースは各部署で褥瘡予防のための課題に取り組んでおり、3月に発表を予定している。バスタオルを使用しない患者移動や圧抜きができるポジショニンググローブを試用中である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡予防に関連した知識技術の伝達 ・医療機器関連圧迫創傷予防への取り組み
<p>重症度、 医療・看護 必要度部会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重症度、医療・看護必要度が正しく評価できるようスタッフの教育・指導体制を整備する。 ・重症度、医療・看護必要度が正しく評価できるようにスタッフを教育する。 	<p>必要度院内インストラクター研修内容に、e-ラーニングの聴講を取り入れ行った。全体必要度テストを前期・後期実施できた。専門的な処置・ドレナージの管理において、正答率が前期39%、後期97%であった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した研修を行い、評価項目の定義及び留意点について理解を深めていく。診療報酬改定に伴う重症度、医療・看護必要度の変更事項の確認をし、今後の研修内容に反映させていく。
<p>CS 委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「入院患者看護サービスアンケート」を実施・集計・評価・フィードバックする。 ・看護部CS部会としてのスキルアップの推進をする。 ・総務課主幹「患者満足度調査」「身だしなみチェック調査」に協力し結果をフィードバックする。 	<p>今年度から看護部では、CS部会として病院の顧客サービス広報委員会と協働し接遇研修や患者満足調査の協力員として活動してきた。看護部のe-ラーニング導入に伴い個々に合った時間での自己学習(受講率は100%)ができるようになった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の顧客サービス広報委員会と共に、次年度も共同業務として色々なCS活動に取り組んでいきたい。
<p>緩和ケア 委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討・学習会を通して部署役割看護師の緩和ケアの知識・実践能力を向上し、各部署において情報発信できる。 ・緩和ケア委員会と連携し、「疼痛緩和マニュアル」を改善し、緩和ケアの実践に活用する。 ・終末期の看護技術向上を図る。 ・部署役割看護師が当院の緩和ケアの状況を知り、各部署で情報発信できる。 	<p>緩和ケア委員会の研修への参加や事例検討、疼痛緩和マニュアルの修正・運用等アクションプランにそって実施でき、目標は達成できた。新人研修の終末期看護研修は、新人看護職員だけでなく担当した看護師にとっても良い研修となった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・疼痛緩和マニュアルの運用が開始となり、次年度は評価・修正をしていく必要がある。事例検討会や緩和ケアチームラウンドへの参加は今後も継続していきたい。

平成29年度福島赤十字病院 新人看護職員研修実績

看護部新人看護職員到達目標

1. 看護実践に必要な基礎知識・技術を習得できる
2. 専門職業人としての倫理観や基本的態度を習得できる
3. 医療チームの一員としての役割を自覚し、責任ある行動をとることができる
4. 医療安全の視点に基づいた行動をとることができる
5. 赤十字としての特色を活かし、救急法の習得や、救護活動(訓練等)に参加する

月/日	研修名	ねらい
職場に配属される前に病院の概要、赤十字の職員として必要な事項を学ぶためのオリエンテーション研修を実施する		
4/5	院内感染の基本	病院職員として感染対策の基本的知識と方法を学ぶ
4/6 ~10	病院・看護部オリエンテーション	職場に配属される前に病院、看護部の概要、赤十字の職員として必要な事項を学ぶ
4/25	研修参加の心構え	研修を受ける心構えを学ぶ
安全管理・感染管理、基本的な看護技術の知識・技術を習得するための研修を実施する		
5/11	排泄ケア ~オムツの正しい当て方~	排泄ケアの基本的知識を習得し、正しいオムツ交換を実施できる
6/1	勤務体制 キャリアパスとWLB	当院の勤務体制について知る 仕事をし続けるためにWLB、キャリアパスについて知る
5/25	基礎看護技術研修① 静脈血採血と検体の取り扱い 血糖測定とグルテスト・インスリン注射	静脈血採血の基本的知識と技術を習得し、正しい検査結果を出すための注意点と検体の取り扱いを学ぶ
6/8	基礎看護技術研修② 筋肉注射と点滴静脈注射	筋肉注射、静脈注射を安全に実施するための基本的知識、技術を習得する
5/18	基礎看護技術研修③ 食事援助と口腔ケア	食事形態と栄養補給の方法について学ぶ 摂食、嚥下障害者への食事介助の基本的知識と技術を習得する
6/15	基礎看護技術④ 吸引・酸素療法と呼吸のフィジカルアセスメント	呼吸管理の基本的知識、技術を習得する呼吸のフィジカルアセスメントを学び実践に活用できる知識、技術を習得する
6/22	医療安全シリーズ	安全な看護ケアを提供するため、医療安全に関する基本的知識を習得する 医療安全に関する意識の向上を図る
カルガモ研修が終了し独り立ちに向けて、自信を持ち看護実践ができるよう研修を実施する		
7/6	3ヶ月フォローアップ研修	赤十字の基本理念である人道に基づいた活動の理解を深めることで、赤十字活動の実践者として意識を高める 人離脱に向け不安を感じる時期であるため、自信を持ち看護実践ができるようリフレッシュ、仲間との情報共有する機会とする
7/25	看護必要度と看護記録	看護必要度に関する基本的知識を習得する
	スキンケアの基礎 ※褥瘡リスクアセスメントと褥瘡評価	正しい褥瘡アセスメントを実施するため、スキンケアの正しい知識を習得する 正しいマットの使用方法を学ぶ
8/24	急変時の対応	患者急変時の初期対応を学ぶ SBARを用いた患者の状態報告を学ぶ
8/17	もう一度確認しよう	採血、静脈注射の管理を安全に実施するための知識、技術を再確認する
7/27	患者が見える看護記録	看護記録の基本的原則、法的側面について再確認する 看護必要度の概要を知り必要度がわかる看護記録について学ぶ
受け持ち看護師として自律していく時期に入り一人でできる看護技術も多くなるため知識・技術を確認する		
9/7	6ヶ月フォローアップ研修	セルフエスティーム・6ヶ月の振り返りを終えて、知識・技術の再確認
9/21	包帯法・CV管理・輸血管理	包帯法の基本的知識と技術を習得する 安全なCV、輸血の管理と看護ケアを提供するために必要な基本的知識・技術を習得する
11月	第1期ローテーション研修 (2日間他部署で研修)	配属部署では経験できない基本的看護技術を経験し、看護実践に必要な基本的知識、技術を習得する 自分の到達レベルを確認し、今後の課題を明らかにする

月／日	研修名	ねらい
12／14	終末期ケア・エンゼルケア	終末期の看護やエンゼルケアに関する基本的知識を習得し、終末期にある患者、家族について理解を深める 終末期ケア・エンゼルケアの一場面を振り返ることで倫理観を高める
継続看護の視点で関連する他部署での看護を学ぶ		
10／30	内視鏡検査に関する看護	内視鏡検査に関する看護を学び、実践に活かす
11／2	周手術室の看護	周手術期の患者が生理的・身体的・精神的にどのような影響を受けているのかを知り、術前・術後の看護に活かす
12／7	アンギオ室の看護	アンギオ室での検査、治療内容について学び看護に活かす
新人看護職員の研修修了に向けて課題を明確にし、2年目看護職として今後の目標設定ができる		
3／16	受持ち看護師としての役割の確認と振り返り	1年間の看護実践を振り返るとともに、自己の看護観を深め次年度に向かう力を得る
5／24	人工呼吸器の基礎	人工呼吸器の管理の基礎的知識を習得する
6／11	ナラティブ発表会	看護実践を振り返り、自己の看護観を深めるとともに今後の課題を明確にする

平成29年度看護部現任・看護補助者教育研修実績

	研修名	対象	ねらい	内容	講師・担当	日時	参加者
教育・研究	看護実践研修	レベルⅠ～Ⅲ	各部署の特徴的な疾患について学び、看護実践能力の向上及びケアの質の向上を図る 多職種と協働し研修を実施することで、チーム医療の推進を図る	3-4Fオープン研修 意識障害の病態とその原因	各部署現任 教育委員	12月21日	看護職35名 研修医2名
				1-4Fオープン研修 ERCPについて(治療・看護)		8月29日	看護職40名 研修医1名
				2-2Fオープン研修 うつ病患者の看護		12月4日	看護職24名
				1-2Fオープン研修 乳癌について学ぼう		9月29日	看護職39名
				本4Fオープン研修 心不全の生活指導(食事指導)について		10月19日	看護職24名 栄養士3名
				手術室オープン研修 気管内挿管の介助と看護		11月21日	看護職27名 医師2名 研修医1名
				外来オープン研修 化学療法を受ける患者の退院支援について		10月30日	看護職15名 医療社会連携 携室2名
				1-3Fオープン研修 変形性股関節症 THAについて学ぼう		11月20日	看護職24名 医師2名 PT2名
				本3Fオープン研修 急変時の対応について		7月31日	看護師47名 薬剤師3名 リハビリ8名 医師1名 臨床工学士 4名
				2-3Fオープン研修 切迫早産患者の看護		9月11日	看護師30名
ブラッシュアップ研修	レベルⅡ以上	職場内での安全で正確な看護技術の提供の推進者となる看護職を育成する	安全対策と事故防止・感染管理 静脈注射の実際・薬剤の基識と管理 静脈注射に使用する医療機器・体液管理 輸血用血液製剤・アナフィラキシー	現任教育委員会 安全リンクナース会	7月～ 12月	看護職19名	
			看護必要度 インストラクター		「2017重症度・医療・看護必要度評価 者院内指導者研修」 伝達研修	重症度、医療・看護必要度看護部会	10月17日
ケースレポートのまとめ方	3年目・チーム リーダー・係長	ケースレポートを研究的視点でまとめて発表し、フィードバックを受ける	ケースレポートの進め方①	外部講師 現任教育委員会	10月12日	看護職38名	
			ケースレポートの進め方②	現任教育委員会	9月22・ 26・27日	看護職13名	
3年目事例発表	全看護職員	実践能力を高めるために事例をまとめ発表する	3年目の事例研究の発表	現任教育委員会	3月26日	看護師54名	
看護研究	レベルⅡ～Ⅲ相当	研究の進め方を学ぶ	看護研究の進め方	外部講師	4月～	各部署個別 相談・指導	
新人教育	プリセプター	新人の現状と今後の課題を共有する	当院の新人教育体制やプログラム、 プリセプターの役割について学ぶ	新人教育担当 係長	4月6日	プリセプター 19名 新人教育委員 10名	
			6ヶ月の振り返り(新人・教育担当)の 現状を共有し、プリセプターとしての 今後の課題を明確にする		9月7日	プリセプター 14名 新人教育委員 8名	
			プリセプターとしての1年間を振り返り、 次年度への課題を明確にする		3月16日	プリセプター 20名 新人教育委員 7名	
倫理	看護倫理研修Ⅰ(基礎)	レベルⅠ相当	基礎的倫理知識を習得し看護現場における倫理的感性を磨く	倫理研修①(新人研修を含む) 看護場面をふりかえる	緩和ケアCN・ 緩和ケアリンク ナース会	12月14日	看護職59名 講師看護師 8名
	看護倫理研修Ⅱ	レベルⅡ相当	事例を通して倫理観を高める	DNARについて学ぶ	現任教育委員会	12月15日	看護職14名
報告会	固定チーム ナーシング	看護職 看護補助者	1年間の小集団活動・成果発表		看護部	4月12 ・13日	看護師 124名 看護補助者 14名
トピックス	認知症認定 看護師	看護職 看護補助者	認知症者が体験している世界を知り、認知症者への対応をイメージできる 実際の現場で、本研修で学んだ認知症者への関わり方を実践しようと思うことができる	e-ラーニングによる事前学習 「認知症を知ろう 認知症者の視点から考える認知症者への関わり方」 について講義	認知症認定 看護師	11月2・ 9・14・ 16・17・ 29日	看護者 263名 看護補助者 46名
看護補助者	看護補助者 研修	看護補助者	地域における当病院の役割を理解する 組織の中の看護補助者の役割	当院の現状・新病院構想・ 病院機能評価 ※3回同じ内容の研修	看護部長	1月11・ 22・25日	看護補助者 47名



24. 検査部

- 【部長】 渡部 研一(第2循環器科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)
- 【課長】 小林 利美(臨床検査課長・臨床検査技師)、
 峯 徹次(生理検査課長・臨床検査技師・超音波検査士)
 酒井 克也(病理検査課長・臨床検査技師)
- 【係長】 佐藤 由峰(病理検査係長・臨床検査技師・認定一般検査技師)
 大竹 利典(第2臨床検査係長・臨床検査技師・超音波検査士)
 根本 浩(細胞診係長・臨床検査技師・細胞検査士・認定病理検査技師)
 森川 由美(輸血検査係長・臨床検査技師)
 佐藤美千子(生理検査係長・臨床検査技師)
- 【臨床検査技師】 八島亜由美、吉田 憲治、相楽 孝行、石川 梓(細胞検査士)、
 氏家 洋幸(消化器内視鏡技師・認定救急検査技師)、丹野麻木子、
 中田 悠希、酒井 絢香、菊池麻衣子、鹿野 智美、幕田 高平、
 仙浪 惟奈、菅野 和典、菅野美佐子(細胞検査士)、佐々木一美
- 【看護師】 佐藤さゆり
- 【准看護師】 渡邊 静
- 【検査助手】 猪狩 利恵、石井美和子、菅野 由香

<平成29年度実績>

1. 検査件数

(1)一般検査	入院	6,658件	外来	26,791件
(2)血液検査	入院	47,258件	外来	74,810件
(3)生化学検査	入院	227,457件	外来	543,412件
(4)免疫検査	入院	31,065件	外来	61,901件
(5)微生物検査	入院	3,563件	外来	3,764件
(6)病理検査	入院	2,279件	外来	3,995件
(7)生理検査	入院	3,748件	外来	21,867件

2. 参加学会・研修会名一覧

- (1)第26回福島心エコー研究会
- (2)アークレイ遺伝子セミナー2017
- (3)尿検査フォーラム
- (4)平成29年度第2回細胞検査士養成講習会
- (5)第78回日本消化器内視鏡技師学会
- (6)第49回福島医学検査学会・平成29年度福島県臨床検査技師会定期総会
- (7)福島ネキシウム発売5周年講演会
- (8)第25回福島ESDクラブ
- (9)第12回福島県消化管フォーラム
- (10)第45回東北赤十字臨床検査技師会研修会
- (11)平成29年度日臨技北日本支部病理部門研修会
- (12)平成29年度第1回県北細胞診症例検討会
- (13)第41回福島県消化器治療内視鏡研究会
- (14)光が丘心エコー症例検討会
- (15)第66回日本医学検査学会
- (16)Lung Cancer Symposium in FUKUSHIMA
- (17)福島 RA Meet The Expert 2017

- (18) 第29回臨床微生物迅速診断研究会総会
- (19) 第54回臨床細胞学会
- (20) 第23回日本脳神経モニタリング学会
- (21) 第3回甲状腺実技演習ワークショップ
- (22) 光が丘心エコー症例検討会
- (23) 第74回細胞検査士ワークショップ(座長)
- (24) 第6回福島リバーフォーラム
- (25) 第74回細胞検査士ワークショップ
- (26) 平成29年度日本赤十字社臨床検査技師業務研修会
- (27) 第9回東北頸動脈研究会
- (28) 第33回福島県消化器内視鏡技師研究会
- (29) 第5回口シユダイアグノスティックス東北病理学術セミナー
- (30) 第1回みちのく自動分析研究会
- (31) 平成29年度3地区における感染管理ネットワーク研修会(北海道・東北)
- (32) 第3回栄研セミナー in仙台
- (33) 平成29年度第2回県北細胞診症例検討会
- (34) 中外eセミナー
- (35) 平成29年度北日本支部臨床検査総合部門研修会
- (36) 福島県合同輸血療法委員会研修会
- (37) 第30回福島県輸血懇話会
- (38) 日本超音波医学学会第54回東北地方会学術集会
- (39) 平成29年度福島県血液検査分野研修会
- (40) 光が丘心エコー症例検討会
- (41) 平成29年度一般検査部門一般検査分野研修会
- (42) 平成29年度検体採取に関する厚生労働省指定講習会
- (43) 第5回睡眠呼吸障害地域医療連携セミナー
- (44) 平成29年度認定救急検査技師精度第5回指定講習会
- (45) 光が丘心エコー症例検討会
- (46) 第37回福島県臨床細胞学会総会並びに学術大会
- (47) 平成29年度福島県臨床検査技師会生物化学分析部門免疫検査分野研修会
- (48) 平成29年度県北県南支部合同・病理検査研修会
- (49) 平成29年度福島県臨床検査技師会生物化学分析部門臨床j化学検査分野研修会
- (50) 光が丘心エコー症例検討会
- (51) 平成29年度県北支部臨床科学・免疫血清検査研究班研修会
- (52) 平成29年度福島県総合管理部門チーム医療分野研修会
- (53) 甲状腺超音波検査の検査者育成に関する講習会、実技研修(基礎編)
- (54) 染色体検査分野研修会
- (55) 福島県自己血輸血講習会
- (56) 第15回東北消化器内視鏡懇談会
- (57) 第27回日本リウマチ学会北海道東北支部学術集会
- (58) 平成29年度感染制御部門微生物ウイルス検査分野疫学検査分野合同研修会
- (59) 第10回福島セミナー日本消化器がん検診学会東北支部超音波研修委員会研修会
- (60) ECHO TOHOKU 2017
- (61) 第7回東北病理技術研修会
- (62) JSS東北第24回地方会学術集会
- (63) 第25回福島県臨床検査精度管理調査事業報告会
- (64) 平成29年度第3回県北細胞診症例検討会
- (65) 生理検査部門画像検査分野研修会
- (66) 平成29年度福島県臨床検査技師会病理検査・細胞検査精度管理フォローアップ研修会

- (67) 平成29年度福島県臨床検査技師会福島県病理部門研修会
- (68) 福島抗凝固療法セミナー
- (69) 平成29年度福島県臨床検査技師会県北支部輸血部門研修会
- (70) 光が丘心エコー症例検討会
- (71) 第26回福島ESDクラブ
- (72) 第8回福島循環器陽圧治療研究会
- (73) 平成29年度循環機能検査分野神経機能検査分野合同研修会
- (74) 光が丘心エコー症例検討会
- (75) 県北支部生理機能検査研修会
- (76) 平成29年度医師会臨床検査精度管理調査報告会
- (77) 平成29年度生理検査部門呼吸機能検査分野研修会
- (78) 甲状腺超音波検査
- (79) 平成29年度一般検査部門一般検査分野研修会
- (80) 平成29年度第4回県北細胞診症例検討会(症例提示)
- (81) 日本超音波医学学会第55回東北地方会学術集会
- (82) 日本超音波医学学会第55回東北地方会学術集会(発表)
- (83) 平成29年度生活習慣病検診等(子宮がん検診)従事者指導講習会

3. 学会・研究会発表

氏名 酒井 絢香
 期間 平成29年4月8日
 場所 福島県福島市
 学会・研究会名 第26回ふくしま心エコー研究会
 演題名 サルモネラ菌血症による感染性大動脈瘤の一症例

氏名 根本 浩
 期間 平成29年5月7日
 場所 福島県郡山市
 学会・研究会名 平成29年度第2回細胞検査士養成講習会
 演題名 症例揭示(呼吸器分野の講師として)

氏名 酒井 絢香
 期間 平成29年5月21日
 場所 福島県福島市
 学会・研究会名 第49回福島医学検査学会
 演題名 心臓超音波検査時の腹部大動脈瘤評価の有用性について

氏名 酒井 絢香
 期間 平成29年6月3・4日
 場所 秋田県秋田市
 学会・研究会名 第45回東北赤十字臨床検査技師会研修会
 演題名 心臓超音波検査時の腹部大動脈瘤評価の有用性について

氏名 氏家 洋幸
 期間 平成29年11月18日
 場所 福島県福島市
 学会・研究会名 平成29年度福島県総合管理部門チーム医療分野研修会
 演題名 認定救急検査技師の立場から

氏名 鹿野 智美
 期間 平成29年12月21日
 場所 福島県福島市
 学会・研究会名 光が丘心エコー症例検討会
 演題名 症例提示

氏名 石川 梓
 期間 平成30年3月6日
 場所 福島県福島市
 学会・研究会名 平成29年度第4回県北細胞診症例検討会
 演題名 症例提示

氏名 幕田 高平
 期間 平成30年3月11日
 場所 宮城県仙台市
 学会・研究会名 日本超音波医学会第55回東北地方学術集会
 演題名 胆嚢捻転の一例

<平成30年度目標>

- 1. 各学会・研修会への積極的参加・発表
- 1. 臨床への迅速かつ正確な検査データの提供
- 1. 臨床・コメディカルとの連携強化・チーム医療
- 1. 認定技師取得を目指す技師へのサポート
- 1. 検査の効率化とコスト削減

25. 医療社会事業部

【部長】 宮田 昌之(副院長 兼 医療社会事業部長)

社会課

【課長】 野地 啓子(社会課長 兼 社会係長)

社会係

<平成29年度実績>

- 1. 救護活動
 - (1) 救護訓練等
 - ① 常備班8班整備・救護員の登録・災害救護連絡体制整備、任命式の実施
任命式35名参加(新規23名中11名・常備班48名中24名)6月5日実施
 - ② 災害救護訓練・研修参加状況

日程	訓練名	場所	参加状況
7月8日	県支部合同災害救護訓練	福島県支部	研修生36名 本部3名 スタッフ11名
8月27日	県総合防災訓練	福島市	救護班1班
9月13日・14日	第1ブロック支部合同訓練	山形市	救護班1班

9月30日 10月1日	東北ブロックDMAT参集訓練	福島市	4名
10月28日	県原子力防災訓練	川俣町	救護班1班
10月31日	多数傷病者対応訓練	富岡町	救護班1班
11月18日	支部救護班主事研修	福島県支部	8名
平成30年1月30日	救護員 ころこのケア研修	院内	20名

(2) 院内災害訓練実施

平成30年3月10日(土) 1階エントランスホールで実施

参加者76名(職員70名・ニチイ2名・病院ボランティア3名・アベック1名)

見学済生会3名・支部1名

第1部：トリアージについて学習・多数傷病者受け入れ訓練

第2部：原子力災害医療について 講義とデモンストレーション見学

(3) シェイクアウト訓練参加

福島県が呼びかけた訓練 平成30年2月16日午後実施(事務部門で可能な場所)

2. 地域住民への赤十字広報活動

(1) 5月の「赤十字月間と看護の日」のイベントは5月12日午前中に玄関ホールで実施した。糖尿病相談・禁煙相談・お薬相談・アロマハンドトリートメントサービス・骨密度測定・乳がん自己チェックの方法・栄養相談・AED講習会・健康食品試飲紹介などを看護部が中心となり実施し期間中外来患者や入院患者が訪れて盛況に行われた。社会課は健康チェックに参加した。

(2) 赤十字健康講演会

県内各地からの依頼にこたえ講演を6回実施した。派遣6名

(医師4名・薬剤師1名・理学療法士1名)

(3) 赤十字講習会

赤十字講習会は、今年度から復興支援事業の一環として無料で認知症サポーター養成講座を毎月実施した。この事業は福島市と共催となりPRが広範囲となり健康生活支援講習とサポーター3日間コース4回で104人が受講した。サポーター講習のみは7回210名と多くの方に受講していただいた。救急法は基礎と養成講座1回ずつ計49名の受講があった。

(4) 地域学校の福祉教育協力

中学生の職場体験受け入れは、7校から24名であった。5日間コース6校、2日間コース1校で、5日間のコースは11部署の訪問体験を指導の下で実施し、充実した体験ができた満足した感想であった。施設見学が大笹生学園高等部3年11名・成蹊中高生6名を受け入れた。

(5) 病院ボランティア活動

外来玄関ホールでの案内や世話等を月曜日～金曜日の午前中実施している。会員は19名で今年度1名加入。会員の研修として総会前に「転倒のためのエクササイズ」を実施した。また3月の院内災害訓練の患者役には3名参加していただいた。院内絵画ボランティアは年間4回、患者様へ季節感を届けるようなちぎり絵を作成され掛け替えている。

(6) 患者慰安行事

定例の全日空スズラン贈呈(6月1日)、ムジカンティ音蔵詩による軽音楽のコンサートが夏と冬に開催(8月9日・12月20日)、福島の病院にピアノと音楽を届けたい実行委員によるコンサートを開催(8月29日)、芸大学生による琴と尺八のコンサート(11月1日)による音楽による患者様への慰問コンサートが行われ多くの患者様たちが癒されました。また新潟敬和学園から児童書16冊のクリスマスプレゼントがあり、12月25日夕方職員有志20名によるキャンドルサービスの際に子供たちに贈呈した。

<平成29年度実績>

1. 原子力災害拠点病院としての研修実施と人材育成

福島医科大学の指導のもと、研修に参加していく。また原子力災害時医療中核人材研修への参加を継続。今年度2名参加(看護師1名・放射線技師1名)院内災害訓練では第2部として原子力災害で汚染されたと想定した患者の簡易除染と治療のデモンストレーションを実施、職員へ意識付けが出来た。

2. 認知症サポーター養成講座の開催支援

今年度11回(30名定員)開催できた。

開催にあたり、担当者・支部と連絡をとり支援していく。→市との共催でPRが市で協力していただいたことや企業でサポーター養成に取り組んでいたことから、またオレンジリングを配布できるようになったことなどから参加者は毎回定員のほぼ30名で盛況に終了できた。

<平成30年度目標>

1. 新病院での院内災害訓練の実施

多数傷病者受け入れ場所など変更となることから、移転後に打ち合わせを密にして実施していく。

2. 原子力災害拠点病院として、派遣チーム育成研修を福島医大病院の指導のもと実施していく。

健 診 係

【係長】 野地 啓子(社会課長 兼 社会係長)

【保健師】 渡辺 由佳、赤間 由美

【事務職】 日色沙緒里、渡辺真由美、美野 陽子

<平成29年度実績>

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人間ドッグ	206名	208名	208名
政一般・政付加	1,095名	923名	964名
福島市民検診(項目数)	2,832件	2,878件	2,923名
一般健診	812名	1,127名	1,226名
健康診断	135名	350名	345名
特定健診	280人	450人	500名
健診収益	77,768,607円	80,547,063円	83,886,969円
保健指導 人数	134名	202名	244名
収益	992,415円	1,562,262円	1,626,147円
放射線内部被ばく検査 人数	657人	540人	89名
収益	1,644,500円	1,352,000円	222,500円
甲状腺検査 人数	184人	162人	71名
収益	1,609,880円	1,419,840円	595,520円

健診収入は昨年度に比べ約330万増収することが出来た。健診枠内での予約を出来る限りとるように努め、個々にオプションを勧める等対応した結果であると思われる。健診部に医師が4月から配属され健診後に結果説明を実施し自身の健康状況を理解していただき受診が必要な方には受診を勧めていった。また保健指導へつなげるよう働きかけた。保健指導は着実に人数を増やすことが出来た。2月に専属医師が退職した後も保健師が結果説明を継続した。

<平成29年度実績>

1. 専任医師の就任で、当日の結果説明での受信勧奨を実施できた。また保健指導に繋げていくようにした。医師による結果説明が実施できたため、自身の健診結果について理解できたと好評であった。医師が2月で退職したがその後も保健師により実施できた。火曜日は兼任医師が引き続き結果説明を実施し、健診の質の向上に努めた。

2. 今年度から開始したじん肺と石綿の健康管理手帳による健康診断が実施され労働局からの依頼の方々の管理検診を菊田医師と遠藤医師により実施できた。(じん肺年1回6月1名34,800円・石綿年2回8月8名268,064円・2月14名301,280円)
3. 健診カルテの電子化について情報収集するため7月19日午後3時から4時まで済生会福島総合病院に見学に行く。新築移転に伴い紙カルテを少なくする検討をする。

<平成30年度目標>

1. 外来電子カルテに伴い、健診部門の電子化検討
2. 新病院健診センターの施設確認・運用マニュアル整備・検査着等の選定などスタッフと協力して進めていく
3. 収益向上のため他部門と検討していく(パンフレット作成・PRなども含め)

26. 事務部

【部長】 緑川 茂樹(事務部長)

総務課

【課長】 野田 誠(総務課長)

【係長】 國分 秀俊(総務係長 兼 人事係長)

菅野 正幸(文書係長)

【主事】 安田美喜子、村上 尋美

【事務職】 廣野 登、吉田 絹子、吉田 亜樹、横山 碧

<医局・研修医担当> 大原有香梨、川井茉奈美

<看護部担当> 阿部 暁子

【総務課付眼科部視能訓練士】 秋山 妙子、湯野川樹理、渡邊 恵、大藤 美弥

【業務内容】

当課は総務係・人事係・文書係において以下の業務を担当している。

人事・労務、給与、職員福利厚生、医療安全、感染対策、教育研修、各種委員会および研修会、職員健診、医局、医師臨床研修、防災・防火対策、災害救護(DMAT関連)、図書、出張、文書管理・処理、駐車場関係、食堂売店関係、派遣委託関係、不在者投票、医師会関連、病院輪番、当直、車両運行、医療紛争、新病院建設に係る総務関連事業対応のほか、他課に属さない様々な業務を処理するなど多岐にわたっている。

<平成29年度実績>

1. 人材確保

(1. 看護師)養成学校への訪問や説明会・インターンシップ・潜在看護師支援事業を開催し人員確保活動を実施。

(2. 医療技術職)薬剤、リハビリテーション、放射線、検査の各部門における実習及び見学等を積極的に受入し募集活動を実施。

(3. 臨床研修医)臨床研修プログラム委員会を中心とした、指導医の丁寧な指導教育と他職種研修医教育体制との連携強化により研修医師に対する充実した研修を実施、また医学生への病院説明会・見学会の開催、院外ガイダンス等での募集活動を行った結果、5年連続のフルマッチ(採用6名)となった。

2. 障害者雇用の継続確保：法定雇用率をクリアする対象職員雇用を継続している。

3. 行事、イベント等

保健所「病院立入検査」、東北厚生局「施設基準等に係る適時調査」をはじめ各関係機関調査等にかかる事務全般を担当。

平成30年3月病院機能評価受審に向けた準備および訪問審査対応について、当該準備委員会ははじめ企画課を中心とした活動の中で第4領域における事務を担当。

施設内部組織、構造等変更、新病院建設に伴う開設者届出関係を含む各関係機関への事務手続きを実施。

日本赤十字社厚生年金基金の代行返上ならびに企業年金への移行に関する手続きを所管し、全加入者に対し説明会および同意手続き事務を実施。

第53回日赤医学会(宮城・仙台開催・石巻当番)、第20回東北ブロック赤十字病院球技大会(八戸当番・青森開催)への職員参加にかかる事務連絡調整を行った。

院内災害訓練やイベント運営に関し参加及び協力。年間を通し講堂他で開催される各種研修、勉強会、講演会の会場設営および運営等への対応を継続的に行っている。

<平成30年度目標>

- 1) 働き方改革に向けた労務管理の変革ならびに強化推進
- 2) 業務の改善、効率化
- 3) 業務の迅速な対応・処理
- 4) 新病院移転に向けた総務課所管業務の適正遂行ならびに文書管理(保存・保管・廃棄)の強化推進

企画課・医療情報システム課

【課長】 松本 修 (企画課長 兼 医療情報システム課長)

【新病院建設準備室長】 野地 幸次

【係長】 富田 夕紀 (企画係長 兼 経営管理係長)

【主事】 菅野八重子、野崎 謙司、二階堂雄平、奈良輪大輔

<平成29年度実績>

- ・各種統計データ集計、データ分析
(本社報告、自治体報告、病床機能報告、DPCデータ分析など)
- ・病院ホームページの管理、病院広報誌「日赤通り(広報版・院内版)」の発行及びFacebook等を利用した情報発信
- ・各部門へのヒアリングの調整・実施
- ・病院機能評価受審における事務局として院内調整実施(平成29年3月30日受審準備委員会キックオフ～平成30年3月6日、7日訪問審査受審)
- ・新病院移転に伴うシステム移設計画の策定(院内調整、ベンダ調整等)
- ・新病院移転電子カルテ移行へ向けた院内調整・検討
- ・部門システム更新、電子カルテ統合の推進
(地域連携システム、文書管理システム、動画系サーバ更新、エコーレポート等)
- ・診療・院内業務における課題抽出・改善活動
(マクロ開発による業務効率化、院内業務日誌の開発等)
- ・院内情報の円滑な共有推進のための活動
(システム掲示板の機能拡充、アンケート収集機能、グループウェア構築等)
- ・医療情報システム全般のメンテナンス、障害・QA対応、ウイルス対策や運用改善活動の実施

<平成30年度目標>

- ・新病院移転に伴うホームページのリニューアル
- ・病院ホームページ、病院広報誌、Facebook等を利用した情報発信
- ・新病院移転に伴うシステム移設計画の策定及び円滑な病院移転の実施

- ・新病院におけるシステム・ネットワークインフラの設計、円滑な新病院運用への移行
- ・電子カルテ運用開始に向けたシステム移行準備、及び運用ルールの策定
- ・部門システム更新、電子カルテ統合の推進
(手術管理システム、麻酔管理システム、輸血システム、ME機器管理、生体モニター、スポットチェックモニター、周産期モニター、脳波データ、栄養管理システム、外来呼込表示板システム等)
- ・医療情報システム安定稼働のための、メンテナンス、障害・QA対応、ウイルス対策運用改善活動の実施
- ・医療情報システムデータの分析による課題抽出と経営改善活動の推進及び医療の質向上に向けたデータの分析
- ・『医療情報システムの安全管理に関するガイドライン』に則した医療情報システムの適正な管理の遂行

新病院建設準備室

【新病院建設準備室長】 野地 幸次

【係長】 富田 夕紀(企画係長 兼 経営管理係長)

<平成29年度実績>

- 1) 新病院実施設計の実施・検証
 - ・福島赤十字病院施設整備事業(移転新築工事)について、株式会社日建設計と総合図について各部門からヒアリング実施。チェック対応リストを作成し、採否検討
 - ・7階レイアウト変更に伴う実施設計変更(精神科病棟10床増床)
- 2) 開発行為許可申請等新病院建設に関する手続きの検討、実施
 - ・高層建築物等予定工事届を東北通信局へ申請(平成29年6月30日提出 7月12日受理)
 - ・病院開設許可申請(平成29年8月25日 福島県)
- 3) 性能評価申請及び国土交通大臣認定申請
 - ・一般財団法人日本建築センターに確認検査委託し、建築基準法第6条の2第1項の規定による確認済証受領(平成28年9月15日付BCJ16本建確116通知)
 - ・第七回中間検査(平成29年4月10日実施)合格
 - ・第八回中間検査(平成29年4月19日実施)合格
 - ・第九回中間検査(平成29年4月27日実施)合格
 - ・免震装置製品検査(平成29年4月24日実施 昭和電線ケーブルシステム(株)相模原事業所)
- 4) 委託事業者選定
 - ・売店運営事業者選定(平成29年5月22日 (株)光洋・(株)セブンイレブン)
 - ・セキュリティシステム設置監理事業選定(平成29年8月9日 セコム(株))
 - ・液化酸素タンク設置事業者選定(平成29年8月23日 東邦アセチレン(株))
 - ・厨房機器関連(ニュークックチル方式)設置事業者選定(平成29年9月15日 (株)マルゼン)
 - ・手術室内装工事事業者選定(平成29年9月27日 エア・ウォーター防災(株))
 - ・地下水利用システム事業者選定(雑用水のみで使用決定 (株)ダイキアクシス)
 - ・電話交換機器設置事業者選定(平成29年11月28日 沖ウインテック(株))
 - ・ネットワーク設備事業者選定(平成29年11月30日 (株)富士通エフサス)
 - ・新病院什器(家具・備品)打合せメーカー選定(平成29年12月26日 (株)イトーキ)
 - ・駐車場管制設備工事事業者選定(平成30年2月28日 日本信号(株))
- 5) 移転新築工事の営繕申請
 - ・日本赤十字社会計規則施行細則第65条の規定に基づき日本赤十字社社長あて営繕申請(平成28年6月2日、6月24日承認)
 - ・医療施設設置内容承認事項の一部変更申請(平成29年5月29日、6月21日承認)
- 6) 新病院建設ワーキンググループでの検討、建設準備委員会・建設委員会の開催

- ・新病院の実施設設計の検討のため、新病院建設ワーキンググループを開催
 - ・各部門代表者を中心とした建設準備委員会を開催(開催8回)
 - ・外部委員を含めた建設委員会(委員9名)は今年度は開催せず
- 7) 新病院建設に関する説明会の開催
- ・病室廻りモックアップ全体説明会(平成29年5月10日実施)
 - ・新病院建設工事現場職員見学会(平成29年5月25日(11名)、5月26日(14名)実施)
 - ・新病院建設に係る近隣住民説明会・見学会開催(平成29年6月3日 参加者39名)
 - ・病棟カウンターモックアップ説明会(平成29年6月22日実施)
 - ・外来診察室モックアップ設置(平成29年8月30日)
 - ・病室ベッド周りモックアップ説明会(平成29年9月28日)
 - ・ナースコール機器配置確認説明会(平成29年9月28日)
 - ・新病院北東側住宅テレビ受信状況調査実施(平成29年10月17日)
 - ・病棟作業コーナーモックアップ説明会(平成29年10月26日)
 - ・手術室内装工事事業者(エア・ウォーター防災(株))仕様説明会(平成29年10月26日)
 - ・新病院建設地東側住民見学会開催(平成30年3月30日(金)、31日(土)の2日間)
 - ・新病院建設・経営改善について、職員説明会を開催(6月13日 11月9日 開催2回)
- 8) 医業経営コンサルタントとの打合せ、定例会の実施
- ・新病院建設、経営改善についての検討のため、医業経営コンサルタント(シップヘルスケアリサーチ&コンサルティング株式会社)との打合せ、定例会を実施
 - ・第1回患者調査の実施(平成30年1月1日の在院患者調査)
- 9) 福島県、福島市、本社、支部等関係機関との協議
- 10) その他新病院建設に関する対応(報道、業者対応等)

<平成30年度目標>

- 1) 新病院移転新築工事の実施
- 2) 新病院移転予定地造成・道路拡幅工事(第二期工事)の実施
- 3) 新病院運用計画の策定
- 4) 新病院建設に関する手続きの実施
- 5) 医療機器整備の実施
- 6) 現病院解体設計の計画策定
- 7) 福島県、福島市、本社、支部等関係機関との協議
- 8) 新病院建設に関する広報の推進
- 9) その他新病院建設に関する対応(報道、業者対応等)

会計課

- 【課長】 遠藤 新一
 【係長】 佐藤 恵子(経理係長)、
 [主事] 大内 裕子、阿部 宣子、山名慎一郎
 [事務員] 羽田恵津子

<平成29年度実績>

- 1) 平成29年度度医療施設特別会計決算報告書作成
- 2) 平成30年度医療施設特別会計歳入歳出予算概算書作成
- 3) 平成29年度収益事業決算報告書作成
- 4) 平成29年度消費税収支決算報告書作成
- 5) 平成29年度中の運転資金極度借入手続き及び本社交付書類行使報告
- 6) 平成29年度中の運転資金短期借入金本社承認手続き及び交付書類行使報告
- 7) 平成29年度各運営費補助金事業関係事務処理

- ・福島県災害拠点病院耐震化事業補助金
 - ・福島県感染症指定医療機関施設整備補助金
 - ・福島県感染症指定医療機関運営費補助金
 - ・福島県新人看護職員研修事業費補助金
 - ・福島県産科医等確保支援事業補助金
- 8) 平成29年度事業委託契約に基づく事務処理
- ・福島県看護職再就業支援研修業務
- 9) 平成29年度財政調整事業資金借入手続き
- 10) 平成29年度法律事務所委託分未収金回収額 987,209円
- ・平成23年11月委託開始～平成29年度末日までの回収額 22,805,526円(回収率51.4%)

<平成30年度目標>

- ・平成30年度決算の減価償却費を除く医業収支黒字化
- ・移転新築工事継続費精算
- ・資金繰りの好転

医事課

- 【課長】 菊田 基晴(医事課長 兼 外来係長)
- 【係長】 阿部 育子(医事係長兼診療情報管理係長)、竹田 強(病歴管理係長)
金原 昭世(入院係長)
- [主事] 野地 美佳、佐藤恵美子、島村 健翔、金子 瑛、穴澤 詩織、渡邊 千尋
- [事務員] 志田 沙織、芳賀 瑞樹、鈴木奈美子、大橋 睦子
- [委託職員] 入院4名 外来19名 中央カルテ16名

<平成29年度実績>

1. 「DPC導入の影響評価にかかる調査」のデータをより正確に遅滞なく提出できた。
2. 平成30年度診療報酬改定に関わる情報収集を行い、新規施設基準の取得、変更点への対応を行った。
3. 12月、3月に診療報酬改定説明会を開催した。
4. 10月、11月、12月に「電子カルテ・保険診療に関する研修会」を開催した。
5. 適切な保険請求を実施し、査定額・返戻額の削減を行った。

<平成30年度目標>

1. 診療報酬請求額の適切な請求に努め、査定額・返戻額の削減に努める。
2. 「DPC導入の影響評価にかかる調査」のデータをより正確に遅滞なく提出する。
3. スムーズな外来電子カルテおよび入院電子カルテの導入。
4. 新築移転に向けて外来・入院カルテ、レントゲンフィルムの整理を行う。

用度施設課

- 【課長】 東 一豊(用度施設課長)
- 【係長】 池田 久光(用度施設係長)
- [主事] 渡辺 源貴
- [技術員] 濱名 正美(施設)、加藤 仁義、高橋 敏夫(電気)
- [派遣職員(電話交換)] 2名
- [委託職員(ボイラー技士)] 5名

<平成29年度実績>

1. 省エネルギー推進により前年度比エネルギー使用量(水道量含む)削減
2. 契約電力会社2社の使用電力割合見直し、及び値下げ交渉により年額約300万円削減
3. 電気設備安全維持のため全館停電と本館停電による電気設備定期点検及び本館用非常用発電機整備実施
4. 診療材料定数削減と価格交渉及び安価材料切替えにより年額約700万円(前年度比1%)の削減
5. 医薬品共同見積り合せによる価格交渉により年額約800万円(前年度比1%)の削減
6. 新病院に係る受電からの契約電力料金値下げ交渉により年額約900万円削減見込み
7. 新病院に係る井水利用計画策定
8. 新病院に係る医療用液化酸素納入事業入札実施により納入単価の大幅減少(約1000万円削減見込み)
9. 新病院に係る施設設備安全維持・低コスト建設協議推進

<平成30年度目標>

1. 省エネルギー推進によるエネルギー使用量前年度比1%削減
2. 感染性医療廃棄物排出量前年度比1%削減
3. 診療材料費の前年度比1%削減
4. 医薬品費の共同見積り合せによる前年度比1%削減
5. エネルギー施設設備の無事故運転維持管理推進及び建物設備の適宜修理と迅速対応
6. 新病院に係る施設設備の安全運用と低コスト運用取組
7. 新病院に係る委託業務契約業者入札選定
8. 診療材料、一般消耗物品等の在庫適正管理

診療支援課

【課長】 斎藤 智浩(診療支援課長 兼 診療支援課診療支援係長)

【主事】 高田日出子

【事務員】 樋口 由紀、大橋 千春、山岸 優子、菅野 香子、鈴木 幸子、木村 仁美、
太田美穂子、齋藤 有沙、根本 美穂、松川いつか、井上 希美

<平成29年度実績>

- 1) 「入院総括」作成率向上に貢献
- 2) 「実施済注射伝票」入力支援
- 3) 外来電子カルテ導入にむけた「外来サマリ」作成支援
- 4) 「紹介状」入力開始
- 5) 2月より2名増員、体制加算25対1取得(平成30年3月)

<平成30年度目標>

- 1) 医師の業務負担軽減に努める
- 2) 外来電子カルテ導入にむけた「外来サマリ」作成支援
- 3) 外来電子カルテ導入にむけた外来入力支援

【課長】 田畑 友子(地域医療連携課長)

地域医療連携係

【係長】 伊藤 和子(地域医療連携係長)

[社会福祉士] 松田千絵美、助川智恵子

[事務員] 高田 淳子

<平成29年度実績>

平成29年度は606の医療機関等より総数9,415件(前年度比+478件)の紹介があり、そのうち地域医療支援病院としての紹介率算定対象である初診の紹介件数は6,646件(前年度比+273件)と増加し、紹介率も84.8%(+5.3%)とアップした。また、逆紹介については、542の医療機関等へ総数6,661件(+288件)を逆紹介しており、逆紹介率は84.7%(+9.0%)であった。月毎にみても紹介率・逆紹介率ともに地域医療支援病院の基準値を上回っており、安定した数値で経過している。紹介・逆紹介上位の医療機関は下記の通りである。

紹介			逆紹介		
1	福島県立医科大学附属病院	405件	1	福島県立医科大学附属病院	696件
2	福島県保健衛生協会(二次検診)	301件	2	わたり病院	291件
3	わたり病院	251件	3	北福島医療センター	250件
4	北福島医療センター	228件	4	あづま脳神経外科病院	163件
5	おがたクリニック	182件	5	大原総合病院	160件
6	うめつLS内科クリニック	159件	6	大原医療センター	94件
7	きっかわ皮膚科	153件	7	保原中央クリニック	92件
8	大山クリニック	152件	8	大山クリニック	92件
9	児玉胃腸科内科	145件	9	南東北福島病院	90件
10	大原総合病院	132件	10	うめつLS内科クリニック	89件
11	まつも脳神経・内科クリニック	127件	11	福島西部病院	86件
12	むつみ脳神経・耳鼻科クリニック	113件	12	公立藤田総合病院	85件

共同利用については、CTは12医療機関より計187件(前年度比-41件)、MRIは15医療機関より計159件(+2件)、脳波は4医療機関より30件(-10件)、関節エコーは1医療機関より19件(-1件)、骨塩定量は3医療機関より12件(±0件)、神経伝導速度測定は2医療機関より11件(-5件)であった。平成28年度より共同利用の対象としたレントゲン単純撮影は1医療機関より1件(-1件)、乳房撮影が1医療機関から13件(+9件)の利用があった。また、開放病床の利用率は29.4%(-12.6%)で、共同診療の実績は1医療機関から4件(+4件)の利用であった。CT・MRI共同利用の上位の医療機関は下記の通りである。

CT			MRI		
1	さくま内科クリニック	82件	1	ライフナビクリニック	37件
2	村上耳鼻科	48件	2	いわた整形外科	35件
3	ライフナビクリニック	19件	3	わたり病院	34件
4	さとう日出夫整形外科	13件	4	西口クリニック婦人科	25件
5	レオ歯科	6件	5	大山クリニック	7件

地域医療従事者研修会は、院内各部署や委員会等で主催して行う職員研修と共同して実施するものが多かった。実績は下記の通りであった。

	研修日	研修名	講師	院外参加者数
1	5/11 17:30~18:30	「退院支援は人生の再構築を支援すること」 (Web)	在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子 先生	9名
2	6/7 17:30~18:15	看護補助者研修 医療安全の基礎知識、医療従事者としての接遇	医療安全管理者 阿部 美幸	7名

3	7/6 18:30~19:30	県北漢方セミナー ファーストチョイスの漢方薬	安斎外科胃腸科医院 安斎 圭一 先生	24名
4	7/12 17:30~18:30	ここだけは押さえておこう、 認知症の基本	精神科部長 後藤 大介	42名
5	8/25 17:30~18:30	抗生剤の適正使用について	第二内科部長 寺島久美子 薬剤管理課長 緑上 淳一	3名
6	8/30 17:30~18:30	クレーム対応	第一三共 村松 健吾 先生	29名
7	9/15 18:00~19:00	症例検討会 地域連携パス使用患者(脳卒中)	-	北福島医療 センター 29名
	11/2 18:30~19:30		-	あづま 脳神経外科 53名
8	10/18 17:30~18:30	結核対策 検査、感染対策について	感染制御実践看護師 三浦 愛	14名
9	10/27 17:30~18:30	症例検討会(救急隊と脳外科・循環器科)	-	福島市・伊達・ 安達消防 49名
10	11/22 18:30~19:30	音声障害と嚥下障害の関連性 ～診断と治療～	耳鼻咽喉科部長 多田 靖宏	113名
11	12/19 18:00~19:00	がん患者のアピアランスケアについて	国立がん研究センター中央病院 藤間 勝子 先生	2名
12	1/12 18:00~19:15	臨床倫理コンサルテーションの実際と 課題について	医療生協わたり病院 佐藤 武 先生	5名

地域の開業医等とより良い連携がとれる関係づくりを目的として「地域連携懇話会」を11/22にホテル辰巳屋にて開催した。院外からは登録医をはじめ、日ごろ連携している医療機関の医師、老人保健施設の施設長、各病院の地域連携担当者等113名、当院の医師・看護師長等91名の参加があり情報交換を行った。

<平成30年度目標>

1. 地域医療支援病院としての役割を果たす。
 - ①安定した紹介率・逆紹介率を維持する。
 - ②研修会を開催し、地域の医療のレベルアップに寄与する。
 - ③地域医療支援委員会を開催し、地域の中での当院の課題を明らかにして対応に生かす。
2. 紹介患者のスムーズな受け入れに心がける。
 - ①可能な限り予約での来院をうながす。(予約受診率の増加)
 - ②即日診療依頼の不应需数を減少させる。
3. 連携システムを導入し活用する。
 - ①紹介入院率や予約受診率等のデータが活用できるようにする。(病床利用率や受診応需率等の増加への検討)
 - ②返書管理を徹底する。

退院支援係・医療福祉係

- 【係長】** 高根 晴美(退院支援係長・看護係長 退院支援担当)
菅野 直樹(医療福祉係長 精神保健福祉士 認知症疾患医療センター担当)
- [看護師]** 佐藤 明美(退院支援担当)
- [社会福祉士]** 丸山 絢子(退院支援担当)
穴戸 絵美(退院支援担当)
渡邊 真衣(医療相談・患者サポート窓口担当)

<平成29年度実績>

患者のかかえている問題に対して相談員が対応した件数は下記の通りであった。退院支援においては、高齢・独居等退院を困難にする生活上の要因を持つ入院患者が増加しており、例年全入院患者数の約20%の関与率での推移であったが、今年度は26.5%の関与率となった。患者家族のもつ問題解決のために、院内多職種との協働、また地域の医療機関・福祉・介護スタッフとの連携を深め、合同カンファレンスの開催や地域ケア会議等への参加も積極的に行った。また看護職と福祉職をチーム制とし協力し合うことで、得意分野を生かし、不得意分野を補い合えるようにした。しかし、入院患者の平均在院日数が前年度より0.2日延長したことは課題である。

* 対応ケース実人数・・・1,804名(延べ相談件数5,999件)

主な相談援助調整内容

在宅介護・地域生活に関すること	3,694件
転院に関すること(医療機関)	1,134件
他施設利用に関すること(医療機関以外)	517件
福祉関係法利用に関すること	421件
受診・受療に関すること	87件
その他(経済的・心理的等の相談への対応)	146件

* 退院に関するもの・・・他の病院転院 631件(+118)

(連携パス利用：脳卒中184件 大腿骨頸部骨折94件)

施設入所 289件(+89)

自宅退院 650件(+212)

* 合同カンファレンス・・・退院時共同指導 130件(+30)

介護支援連携指導 325件(-38)

「認知症疾患医療センター」については、神経内科による「もの忘れ外来」と精神科による診療の他、ひき続き初期集中支援チームや地域包括支援センターの三職種代表、行政等と連携し合い活動している。前年度から取り組んできた地域の開業医へのアンケート調査や19地域包括支援センターへのヒアリングを行いまとめたことで、地域の問題を明らかにすることができた。報告書を作成して各団体に報告し、今後ケアパス整備に活用される予定である。

<平成30年度目標>

1. ていねいな面接と院内他職種との協働、地域の関係医療・福祉・介護スタッフとの連携に心がける。(常に患者の「生活」を柱に支援する。)
2. 入院前看護面談を開始し、PFMの基礎をつくる。
1・2により、患者が当院での診療を安心して受療し、入院患者については適正な入院期間で退院できることを目指す。

27. 医療安全推進室

【医療安全推進室長】 鈴木 恭一(第1脳神経外科部長)

【医療安全管理者】 阿部 美幸(看護師長)

医療安全関係

<平成29年度実績>

1. 研修会 ※研修会2回以上の参加者86%(前年度79%)

実施月日	対象者	テーマ	参加人数
4月4日	新採用職員	医療安全について	36名
5月12日 5月17日 5月23日 5月29日 5月30日	全職員	①赤十字医療施設で取り組む医療安全 ②平成27年度のヒヤリハット・アクシデント報告のまとめと安全対策 ③医療安全推進室の活動計画	580名
6月6日 6月7日	看護補助者	①医療安全の基礎知識 ②看護補助者のヒヤリハット報告について	54名
6月22日	新採用看護師	医療安全フォローアップ研修 ・転倒・転落防止対策 ・KYT ・SBAR ・与薬 ・放射線関係の検査に関する医療安全 ・輸血に関する医療安全 ・医薬品に関する医療安全 ・医療機器に関する医療安	20名
7月20日	全職員	①医療安全推進担当者の役割 ②医療事故調査制度のその後	172名
8月10日	全職員	危険予知トレーニング	38名
8月30日	全職員 連携病院のスタッフ	クレーム対応	192名
9月4日 9月5日	全職員	ベッド周りの安全対策	154名
10月6日	医療職	医薬品と医療安全「麻薬と危険薬」 医療機器と医療安全「輸液ポンプとシリンジポンプ」	80名
12月21日	栄養課職員	医療安全研修	15名

2. QCサークル活動

実施月日	項目
5月8日	QCサークル活動キックオフ
6月30日	活動計画書提出(22サークル)
9月15日	中間報告書提出(22サークル)
11月6日	発表USB提出(発表会参加20サークル)
11月28日	QCサークル活動発表会① 部署(10サークル)
11月29日	QCサークル活動発表会② 部署(10サークル)

3. 医療安全対策および医療安全推進室の活動

実施月	項目	対策等の活動内容
通年	医療安全推進室メンバーによる安全ラウンド	医療安全ラウンド、医薬品安全ラウンド、医療機器安全ラウンドの年間計画書を作成し、ラウンドを実施する。
通年	医療安全研修について	参加率向上のため、4月に1年間の研修計画を配布、また職種別研修を行い、全職員年2回以上の研修参加を促す。
4月	医療安全推進委員会ワーキンググループ活動開始	①患者誤認防止対策チーム ②転倒転落防止対策チーム ③薬剤管理安全対策チーム 昨年同様、医療安全推進室メンバーがリーダーとなり3チームで活動開始
5月	患者影響レベル指標の変更	ヒヤリハット・アクシデント報告書の患者影響レベル指標4を「4a」「4b」に変更し、8段階とする。 国立大学附属病院医療安全管理協議会に準ずる。
5月	NPPVチェックリスト修正	呼吸回路確認に「呼気ポートの閉塞がないか」を追加し、器械に注意表示する。
9月	転倒転落事故防止対策変更	患者の個別性に合った対策を選択するように、事故防止対策の書式を変更。
9月	閉鎖式輸液セット変更	テルモのアンチフリーフロー機能付き輸液ポンプに対応するために閉鎖式輸液セットをコヴィディエンからテルモ社製に変更。
9月	同意書取得不能患者の医療行為実施時の書類作成	患者・家族の同意が確認できない場合の医療行為について病院の方針を定め「同意書使用マニュアル」に追記し報告書を作成。
10月	テルモ新型輸液ポンプ導入	テルモのアンチフリーフロー機能付き輸液ポンプ導入(8台)
12月	時刻合わせ開始	毎週月曜日を時刻合わせの日と定めて時刻合わせを開始する。
12月	内服薬自己管理基準作成	内服薬管理基準、自己管理アセスメントシート、運用基準を作成し使用開始する。
1月	ドレーン・チューブ誤認防止対策	複数の点滴ラインや体内に留置されているドレーン・チューブの誤認防止のため、チューブにも薬剤名または挿入部位を記載することをさだめてマニュアルに明記。
2月	麻薬・向精神薬の定数配置の廃止	麻薬・向精神薬の病棟及び救急センターへの定数配置を廃止。 「麻薬・向精神薬点検表」修正。

<平成30年度目標>

1. 医療安全ラウンド

- 1) 年間ラウンド計画を作成し、院内各部署のラウンドを実施する。
- 2) ラウンド結果は各部署にフィードバックし必要時改善計画書の提出を求める。
- 3) ラウンド結果は会議等で報告し、医療安全ニュース等で院内に周知する。

2. 医療安全研修会

- 1) 医療安全研修会参加率を90%以上、欠席者レポート提出率を100%をめざす。
- 2) 多職種混合によるグループワーク研修等の参加型研修を取り入れ、学習意欲を促進する。

3. ヒヤリハット・アクシデント報告書様式の統一

4. オカレンスレポートの導入

5. 迅速対応システム(RRS)の導入

6. 医療安全地域連携加算の算定

7. QCサークル活動の推進

【室 長】 寺島久美子 (第2内科・消化器内科部長 兼 感染管理室長)

【室 員】 三浦 愛 (感染制御実践看護師、看護係長)

1. 研修会開催

1) 院内感染研修

実施月日	対象者		テーマ	参加人数
4月5日(木)	新人入職者 (医師看護師、 薬剤師、事務等)		感染管理の基本～標準予防策～	36名
5月29日(月) 30日(火) 31日(水)	全職員	第1回	平成28年度感染対策活動報告	542名 (委託職員等85名)
6月30日(金) 10日(金)	医療職中心	第2回	手術部位感染(SSI)について	145名
7月25日(火) 26日(水)	看護師 看護補助者	第3回	接触予防策に実際(演習を行う)	70名
8月25日(金)	医療職種職員 院外・連携施設職員	第4回	抗菌薬の適正使用について	87名 (院外等6名)
9月13日(月) 15日(火)	全職員	第5回	手指衛生を中心に	203名 (委託職員57名)
10月4日(水) 5日(木)	中途採用者	臨時	病院の感染対策について	4名
10月16日(月) 18日(水)	全職員 院外・連携施設職員	第6回	結核対策(検査・感染対策について)	167名 (委託職員21名・ 院外参加者14名)
11月6日(月) 7日(火)	全職員	第7回	季節性の感染症を中心に 感染性胃腸炎について	124名 (委託職員31名)
2月16日(金)	全職員	臨時	AMR対策アクションプランについて	27名

2) 職場体験等受け入れ時対応

▷中学生職場体験[手洗いチェック・手指消毒方法・マスクの装着方法指導]

▷高校生職場体験

3) 中途採用者への感染研修

2. 感染対策(感染管理室およびICTの活動)

実施月	項目	対策などの活動内容
通年	感染対策マニュアルの改訂	6項目改訂 ・抗菌薬投与報告書の改訂 ・感染対策の内規・報告体制の改訂 ・針刺し・切創・血液曝露の対応 ・器材の洗浄・消毒・滅菌の改訂 ・感染性廃棄物の管理を改訂 ・感染症発生动向調査 報告を要する病院感染症を改訂
通年	耐性菌サーベイランス	JANIS(全入院患者部門、検査部門)
通年	感染対策ニュースの発行	感染対策ニュース9回発行 お知らせ13件(インフルエンザ流行情報等)
通年	ICTラウンド	51回 目的別ラウンドを実施 (抗菌薬・耐性菌・環境ラウンドなど)
通年	感染研修の実施	感染研修一覧参照
通年	職業感染防止(ワクチン接種)	HBVワクチン、麻疹・風疹・水痘・ムンプス、インフルエンザ

通年	合同カンファレンス	4回開催(わたり病院、福島第一病院)
通年	相互評価	2回開催(公立藤田総合病院)
通年	結核接触者調査	結核届出数6件 職員の接触者調査対象者、患者の対象者なし
通年	保健所へ感染届提出	発生届6件(結核以外)
通年	院内感染対策事例対応	13件
4月	感染対策物品の見直し導入	感染対策使用目的の血圧計を導入
4月		呼吸器関連物品の洗浄、消毒中央化への取り組み 2の3病棟開始にて全病棟実施
7月		耐性菌検出等患者への説明用紙を使用開始
9月	感染対策リンクナース会とともに実施	手指衛生強化週間の表示を開始(1回/月)
11月	環境整備について	環境整備チェックリストを修正し患者ベッド周囲の環境整備実施を毎日、実施するよう変更
	インフルエンザワクチン接種について	ワクチン供給遅延、ならびに数量不足にともない職員の集団接種を実施
平成30年 1月	SPD在庫数の削減について	SPD定数を削減

<平成30年度目標>

1. 感染対策加算に係る合同カンファレンス、相互ラウンドの実施
2. ICT活動を通じて感染対策の充実を図る
 - 1) ICT会議、目的別ラウンドを週1回開催する。
 - (1) 耐性菌サーベイランスのフィードバック方法を見直し オーダリングの活用
 - (2) 接触予防策ラウンド等の指導項目が改善される
 - (3) 手術部位感染(SSI)サーベイランスを継続し、厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)開始し、関連部門へのフィードバックができる
3. 抗菌薬適正使用支援チーム活動の活発化
 - (1) 届出抗菌薬投与患者ラウンドの定期的な実施(1回/週)
 - (2) 投与患者に対し効果的な各種培養検査を推奨
 - (3) 抗菌薬適正使用関連感染研修の開催(2回/年)
4. 効果的に感染研修を開催する
職種別対象研修を行い、参加者の知識や認知度に沿った内容の研修を企画し実施する

28. 付帯施設

福島赤十字訪問看護ステーション

- 【所長】 佐藤 利恵(訪問看護ステーション所長 兼 看護係長)
 [看護師] 高橋美千代、中村 広子、岸 美弥子
 [保健師] 安田みどり

<平成29年度実績>

平成29年度は、事業収入が昨年度より微増した。新規利用者・訪問件数ともに約1割も増加しているにも関わらず、事業収入には反映されていない。これは、訪問1件あたりの平均単価が年々減少しているからである。単価が低い介護保険での訪問が増加し、単価が高い医療保険での訪問が増加しないことが原因である。

利用者層は、認知症や高齢な利用者、高齢独居・老老介護・認認介護が年々増加している。

逆に、医療依存度の高い利用者(人工呼吸器装着患者や末期患者など)が減ってきている。また、新病院体制準備のための精神疾患患者の転院に伴い、訪問看護の変更や中止が余儀なくされ、更に医療訪問看護の減少が加速された。

新規利用者の紹介は、母体病院からの紹介がほとんどであったが、地域の医院・クリニックや居宅介護支援事業所、介護施設等から「訪問看護を導入するなら当事業所を利用したい」と希望し、指名されるケースが多くなってきた。これは、日頃の訪問看護のサービス内容や姿勢が地域から認められ信頼ができたからと自負できる。また、地域住民や介護事業所から医療や介護の相談等も増えており、地域に根差した訪問看護としての役割を果たしていると実感できている。

(訪問実績)

	平成28年度	平成29年度	対前年増減
年間利用者月平均	71.8名	80.8名	+9.0名
ひと月あたりの平均訪問件数	359件	372件	+13件
年間新規利用者数	43名	45名	+2名
年間在宅看取り人数	11名	10名	-1名
訪問1件あたり平均単価	9,243円	8,983円	-260円
年間事業収入	40,075,680円	40,079,970円	+4,290円

* 新規利用者の4割は、母体病院からの紹介

<平成30年度目標>

- ・介護報酬・医療報酬同時改定に対応し、ステーション運営に生かして行く。
- ・訪問看護の活動を、院内・外でアピールし、利用者確保につなげる。
- ・訪問看護の質の標準化のために、院内外研修参加、所内勉強会やケースカンファレンス開催など積極的に行う。

福島赤十字指定居宅介護支援事業所

【所長】 高野シク子(指定居宅介護支援事業所長 兼 看護係長)

【介護支援専門員】 土崎 元子、丸山奈緒美

<平成29年度実績>

ケアプラン総数：887件(1ヶ月平均：73.4件) 目標総数：1,080件(90件/月)
 新規ケアプラン総数：20件(1ヶ月平均：1.6件) 目標総数：30件(2.5件/月)
 認定調査総数：176件(1ヶ月平均：14.6件)
 介護相談のみ：11件

前年度に比べてケアプラン件数は39人減、新規利用件数については、4人減となった。認定調査件数については、15人減であった。内容について

- * 医療依存度の高い利用者様が多く入退院を繰り返す(5人/月)。その後、自宅での看取り、病院にて死亡(7人)、また、独居の方で「認知症」のある方が多く、高齢となり在宅生活に限界が出てきて施設入所された(4人)、子供さんの近くに転居された。
- * 認定訪問調査は、数年前より介護認定の有効期間が1年間から2年間に延長され調査件数の依頼が少なくなった。
- * 居宅介護支援事業所が年々増加しており、また、グループホーム、サービス付高齢者施設、小規模多機能居宅介護支援事業所等には、専属のケアマネが滞在しているため入所時、担当のケアマネが変更となる。

以上の事から、新規ケアプランの依頼、長期支援継続が難しい状況となり、ケアプラン件数が減少した。今後も新規ケアプランの獲得が大きな課題である。

<平成30年度目標>

- 1) 医療、介護報酬改正情報の理解、積極的な研修会への参加をする。
- 2) 医療、介護連携調整事業「退院調整ルール策定」「総合事業」の研修会に参加して多職種連携との連携を図る。特に、当病院と訪問看護、居宅介護支援事業所とのスムーズな連携を図り対応する。
- 3) 新規ケアプラン受け入れのために積極的に働きかける。
当院の医療社会事業部、訪問看護ステーション、地域包括支援センター等への関わりづくり、情報交換の為に定期的に訪問をして働きかける。

V

会議・委員会活動

1. 会議.....	106	4. 診療に関する委員会.....	122
2. 病院運営に関する委員会.....	109	5. 教育・研究に関する委員会.....	129
3. 医療安全管理に関する委員会.....	117	6. 労務及び安全管理に関する委員会.....	131



1. 会議

1. 幹部会議	
目 的	本院における経営方針及び業務の運営・管理に関する重要事項を審議する。
第1回	平成29年4月25日(火)
	1. 新病院における精神科病床について 2. 平成29年3月分および平成28年度収支状況、主要計数 3. 副院長、特任院長補佐、院長補佐より報告 4. 新病院建設進捗状況・平成29年度幹部会日程について
第2回	平成29年5月30日(火)
	1. 認定看護師研修派遣について 2. 新病院における精神科病床について 3. 平成29年4月分収支状況、主要計数 4. 職員倫理について 5. 新病院建設進捗状況
第3回	平成29年6月27日(火)
	1. 平成29年5月分収支状況、主要計数 2. 副院長、特任院長補佐、院長補佐より報告 3. 新病院建設進捗状況 4. 夏期期末勤勉手当について
第4回	平成29年7月25日(火)
	1. 平成29年6月分収支状況、主要計数報告 2. 患者・家族の同意が確認できない場合の医療行為について 3. 新病院の定礎位置について 4. 基本理念および基本方針について
第5回	平成29年8月29日(火)
	1. 平成29年7月分収支状況主要計数 2. 副院長、特任院長補佐、院長補佐より報告 3. 新病院建設進捗状況 4. 入院診療計画書について 5. 赤十字病院診療報酬改善ランキング
第6回	平成29年9月26日(火)
	1. 平成29年8月分収支状況主要計数 2. 倫理委員会委員について 3. 新病院建設進捗状況 4. 形成外科診療について
第7回	平成29年10月31日(火)
	1. 平成29年度収支状況主要計数 2. 副院長、特任院長補佐、院長補佐より報告 3. 新病院建設進捗状況 4. セカンドオピニオンについて 5. 病院機能評価について 6. 福利厚生事業について
第8回	平成29年11月28日(火)
	1. 平成29年度収支状況、主要計数 2. 新たな診療・治療や技術の導入に向けた検討について 3. サードレベルの課題について 4. 新病院建設進捗状況 5. 平成29年度冬期期末・勤勉手当について
第9回	平成29年12月26日(火)
	1. 平成29年度収支状況および主要計数 2. 副院長、特任院長補佐、院長補佐より報告 3. 新病院建設進捗状況 4. 医師事務作業補助業務について 5. 図書の保管および廃棄手続きについて
第10回	平成30年1月29日(月)
	1. 中期計画および公的医療機関2025プランについて 2. 平成29年12月分収支状況および30年度予算編成状況 3. 新病院建設進捗状況 4. 新病院病棟編成(案)について 5. 新病院における資金計画および収支計画 6. 人事情報
第11回	平成30年2月27日(火)
	1. 平成30年1月分収支状況、主要計数 2. 新病院建設進捗状況 3. 平成30年度幹部会議について 4. 人事異動情報 5. 副院長、院長補佐より報告 7. 新病院病棟編成について
第12回	平成30年3月27日(火)
	1. 平成30年2月分収支状況、主要計数 2. 新病院建設進捗状況 3. 平成30年度看護職員採用計画について 4. 経費支出にかかる内規等の見直しについて 1) 特殊診断書料配分方針(研究研修費)・職員内国出張内規 2) 職員海外派遣制度内規

2. 管理会議	
目 的	本院の管理及び運営に関する事項を審議する。
第1回	平成29年4月7日(金)
	1. 月次報告(2月分) 2. 病院移転新築計画進捗状況 3. 病院機能評価受審について 4. 原子力災害拠点病院について 5. 医療施設の開設者変更について
第2回	平成29年5月2日(火)
	1. 月次報告(3月分)および平成28年度収支状況、主要計数 2. 病院移転新築計画進捗状況
第3回	平成29年6月1日(木)
	1. 月次報告(4月分)および平成28年度収支状況、主要計数 2. 新病院における精神科病床について 3. 病院移転新築計画進捗状況 4. 職員倫理について
第4回	平成29年7月3日(月)
	1. 月次報告(5月分)および平成28年度収支状況、主要計数 2. 病院移転新築計画進捗状況
第5回	平成29年8月1日(火)
	1. 月次報告(6月分)および平成29年度収支状況、主要計数 2. 病院移転新築計画進捗状況 3. 他の団体等での業務従事にかかる取扱いについて 4. 病院基本理念及び基本方針について
第6回	平成29年9月1日(金)
	1. 月次報告(7月分)および平成29年度収支状況、主要計数 2. 経営改善プロジェクト検討項目件数推移 3. 病院移転新築計画進捗状況 4. 組織の変更について 5. 入院診療計画書について
第7回	平成29年10月4日(水)
	1. 月次報告(8月分)および平成29年度収支状況、主要計数 2. 経営改善プロジェクト検討項目件数推移 3. 病院移転新築計画進捗状況 4. 日本赤十字社厚生年金基金の過去分代行返上及び確定給付企業年金への移行にかかる同意取得手 続きについて
第8回	平成29年11月1日(水)
	1. 平成29年度収支状況、主要計数、上半期経営状況 2. 経営改善プロジェクト検討項目件数推移 3. 新病院建設進捗状況等について 4. セカンドオピニオンについて 5. 病院機能評価受審について
第9回	平成29年12月5日(火)
	1. 平成29年度収支状況、主要計数、稼働データ 2. 経営改善プロジェクト検討項目件数推移 3. 新病院建設進捗状況等について 4. 「新規医療技術実施申請書」の運用について
第10回	平成30年1月5日(金)
	1. 平成29年度収支状況、主要計数、稼働データ 2. 経営改善プロジェクト項目推移等について 3. 新病院建設進捗状況等について 4. 病院機能評価について 5. 医師事務作業補助業務について 6. 図書の保管および廃棄について
第11回	平成30年2月2日(金)
	1. 平成29年度収支状況、主要計数、稼働データ 2. 平成30年度予算概算書 3. 経営改善プロジェクトおよび診療報酬改定情報 4. 新病院建設進捗状況 5. 新病院における資金計画および収支計画
第12回	平成30年3月2日(金)
	1. 平成29年度収支状況、主要計数、稼働データ 2. 経営改善プロジェクトおよび診療報酬改定情報 3. 新病院建設進捗状況 4. 人事異動情報、平成30年度幹部体制

3. 業務連絡会議	
目 的	本院の業務の適正及び円滑な運営を図る。
第1回	平成29年4月11日(火)
	1. 開設者の変更について 2. 駐車場防犯対策啓発について 3. 事務系職員の軽装業務遂行について 4. エレベーター点検
第2回	平成29年5月9日(火)
	1. 赤十字運動月間における会費協力依頼 2. 職員福祉厚生事業について 3. 経営改善プロジェクト検討項目について
第3回	平成29年6月13日(火)
	1. 全国健康保険協会の被保険者証の回収と使用期限について 2. 情報共有サイトの運用と利用者見直しについて 3. 経営改善プロジェクト検討項目について 4. 病院北側水道埋設管改修工事について
第4回	平成29年7月11日(火)
	1. 接遇について 2. 病床稼働率新入院患者数在院日数推移 3. 経営改善プロジェクト検討項目について
第5回	平成29年8月8日(火)
	1. 駐車場の適正利用について 2. 病床稼働率新入院患者数在院日数推移 3. 経営改善プロジェクト検討項目について 4. 平成29年度赤十字医療施設東北ブロック看護師長交流研修について 5. 医療ガス設備保守点検
第6回	平成29年9月12日(火)
	1. 組織の変更について 2. 日赤厚生年金基金過去分代行返上および確定給付企業年金への移行に係る説明会開催と同意取得 手続きについて 3. 安全運転管理について 4. 病床稼働率新入院患者数在院日数推移 5. 経営改善プロジェクト検討項目について
第7回	平成29年10月10日(火)
	1. 平成29年度保健所立入検査について 2. 衆議院議員総選挙にかかる院内不在者投票について 3. 被扶養者の資格確認調査について 4. 病床稼働率新入院患者数在院日数推移 5. 年末調整申告について 6. 経営改善プロジェクト検討項目について 7. 職員診察時の遵守事項の徹底について 8. 感染性廃棄物削減のお願い
第8回	平成29年11月14日(火)
	1. 職員等に対する出産(分娩)祝金支給について 2. 個人情報保護法の遵守について 3. 福島市長選挙にかかる院内不在者投票について 4. 日赤厚生年金基金確定給付企業年金への移行に係る加入員(被保険者)の過半数代表者選出及び同 意取得について 5. 日赤健康保険組合被扶養者の資格確認調査について 6. 病院機能評価に係るケアプロセススケジュールについて
第9回	平成29年12月12日(火)
	1. 病院当直(日直宿直)医療体制について 2. コンプライアンス(法令順守)意識の徹底について 3. 「NHK海外たすけあい」活動への協力について
第10回	平成30年1月9日(火)
	1. 職員接遇研修開催のお知らせ 2. 病院機能評価について 3. 平成30年度診療報酬改定について 4. 感染性廃棄物の適正分別減量化のお願い
第11回	平成30年2月13日(火)
	1. 院内共通マニュアルのシステム運用について 2. 病院職員ハンドブックデータ更新とファイル回収について 3. 共通マニュアル等の改訂にかかる届出制導入について 4. 就業規則の改正について 5. 平成30年度施設使用簿運用のお知らせ 6. 病院機能評価受審へ向けて 7. 平成30年度診療報酬改定(入退院支援センター等)について
第12回	平成30年3月13日(火)
	1. 平成29年度給与改正のお知らせ 2. 有期労働契約職員の無期転換申込にかかる対象職員に対する説明会実施について 3. 院内消防訓練実施のお知らせ 4. 病院機能評価受審後の流れについて 5. 平成30年度診療報酬改定(救急搬送看護体制加算等)について



2. 病院運営に関する委員会

4. 倫理委員会	
目的	本院及びその職員が人間を直接対象とした医学の研究(ヒトゲノム、遺伝子解析研究を含む。)及び医療行為を行う場合において、医の倫理に関するヘルシンキ宣言(1964年)の趣旨に添った倫理的配慮を図る。
委員長 副委員長	宮田 昌之(副院長) 今野 修(特任院長補佐)
第1回	平成29年10月4日(水)
	1. 審査事項①「精神障害者のスティグマと自家用車の運転との関連について」 2. 審査事項②「服薬アドヒアランス尺度と個人属性を含めた服薬状況の要因研究」
第2回	平成30年3月16日(金)
	1. 審査事項①「子細胞肺癌の臨床病理学的、分子生物学的特徴に関する研究」

5. 治験審査委員会	
目的	厚生省令第28号(平成9年3月27日)、薬事法第430号(平成9年3月27日)並びにGCPに関連する通知等に基づき定められた本院治験審査委員会標準業務手順書に則り、治験審査を行う。
委員長 副委員長	宮田 昌之(副院長) 管野 隆三(呼吸器外科部長)
第1回	平成29年7月26日(水)
	1. 治験実施の適否について
第2回	平成29年8月25日(金)
	1. 治験実施の適否について
第3回	平成29年9月27日(水)
	1. 治験実施の適否について(安全性情報等)
第4回	平成29年10月25日(水)
	1. 治験実施の適否について(安全性情報等)
第5回	平成29年11月22日(水)
	1. 治験実施の適否について(安全性情報等) 2. 安定冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動におけるリバーロキサバン単独療法に関する臨床研究の継続の適否(研究実施要項の変更)
第6回	平成29年12月27日(水)
	1. 治験実施の適否について(安全性情報等)
第7回	平成30年1月31日(水)
	1. 治験実施の適否について(安全性情報等)
第8回	平成30年2月28日(水)
	1. 治験実施の適否について(安全性情報等)
第9回	平成30年3月29日(木)
	1. 治験実施の適否について(安全性情報等)

6. 医療機械整備委員会	
目 的	本院の適正な医療機械整備に関し、院長の諮問に答えるものとし、病院財政を充分考慮し整備する。
委 員 長	渡部 洋一(院長)
副委員長	寺島久美子(第2内科・消化器内科部長 兼 感染管理室長 兼 院長補佐)

7. 栄養管理委員会	
目 的	本院の給食計画及び給食全般の改善実施について、検討並びに院長の諮問に応える。
委 員 長	渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)
副委員長	郡司 崇志(第2外科部長)
第1回	平成29年4月18日(火)
1. 栄養指導実施件数 2. 嚥下食について	
第2回	平成29年6月20日(火)
1. 栄養指導実施件数 2. 糖尿病透析予防指導管理料算定について 3. 学校給食病院給食地産地消推進事業実施について 4. 補助食品検討について	
第3回	平成29年8月15日(火)
1. 栄養指導実施件数 2. 非常食見直しについて 3. H28年度個食対応集計結果	
第4回	平成29年10月17日(火)
1. 栄養指導実施件数 2. 嗜好調査結果報告 3. 新病院厨房ニュークックチル運用に向けて 4. 大量調理施設衛生管理マニュアル改訂に基づく当院の対応について	
第5回	平成29年12月19日(火)
1. 栄養指導実施件数 2. 外来栄養指導件数UPに向けての取り組み 3. 保健所監査報告 4. 産科食のリニューアルについて 5. 糖尿病透析予防指導の経過報告	
第6回	平成30年2月20日(火)
1. 栄養指導実施件数 2. 訓練や検査目的以外のトロミ剤取り扱いについて 3. 食種設定について(全菜・3分菜の廃止検討) 4. 注腸検査について 5. 胃切後、消化管術後の食事量設定について 6. 産科食について 7. 入院案内の朝食時間表記について 8. 栄養管理マニュアルについて	

8. 診療材料購入等審議委員会	
目 的	健全な業務運営に資することを目的とし、本院において使用する診療材料の購入、使用及び管理等の適正化を図る。
委 員 長	管野 隆三(呼吸器外科部長)
副委員長	寺島久美子(第2内科・消化器内科部長 兼 感染管理室長 兼 院長補佐)
第1回	平成29年6月28日(水)
1. 診療材料の新規採用について(鼠径ヘルニア用メッシュ・術中用ブランケット・コラーゲン使用軟組織注入材・直腸温連続測定センサー) 2. 採用保留中の診療材料について(血ガスキット) 3. 医療消耗器具備品の新規採用について(介助用食器) 4. 医療消耗器具備品の増設について(温風式患者加温装置)	
第2回	平成29年7月28日(金)
1. 診療材料の新規採用について(医療用スポンジ・自着性包帯・ラセン入気管切開チューブ・嗅覚同定能力測定用カードキット・気管切開チューブ・耳管用カテーテル・陰圧閉鎖療法用ドレッシング材) 2. 診療材料の変更について(輸液セット)	

第3回	平成29年9月22日(金)
1. 診療材料の新規採用について(微小病理組織検体固定用シート・超音波診断用パット状ゲル・EHLデバイス・気管内チューブホルダー) 2. 採用保留中の診療材料について(自着性包帯)	
第4回	平成29年11月28日(火)
1. 診療材料の新規採用について(鼻孔プロテーゼ・滅菌手袋・鼻骨骨折用副木・抗菌性創傷被覆保護材・シリコンシート) 2. 医療材料の共同購入について(サージカルマスク・酒精綿・プラスチックエプロン)	
第5回	平成30年1月30日(火)
1. 診療材料の新規採用について(修復用パッチ・眼科用スポンジ・カプセル内視鏡・気管切開チューブ・ディスプレイ高周波はさみ鉗子) 2. 院内のSPD品削減について	

9. 災害対策委員会	
目的	災害発生時における医療救護及び被害の拡大防止・災害復旧並びに災害・火災から職員、患者の生命、身体及び施設等を守るため、災害・防火対策に関する必要な事項を定める。
委員長	遠藤 豪一(第1外科部長)
副委員長	渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)
副委員長	市川 剛(第2脳神経外科部長)
第1回	平成29年4月26日(水)
1. 第7回院内災害救護訓練報告 2. 救護バック整備について 3. 原子力拠点病院指定について 4. 今年度災害訓練、研修予定 5. 今年度常備班、登録救護員について 6. 平成29年7月5日(水)支部合同災害訓練について	
第2回	平成29年12月22日(金)
1. 平成29年度救護班活動報告 2. 研修参加報告 3. DMAT関係報告 4. 院内災害訓練について 5. シェイクアウトふくしまについて	
第3回	平成30年2月8日(木)
1. 院内災害訓練打合せ	

10. 医療情報システム検討委員会	
目的	病院の医療情報の一元化を図り、総合的な医療情報システムの確立、段階的に診療システム導入としてオーダーリングシステム、電子カルテシステムの構築など将来的なシステムに関する事項を調査検討して、導入の可能性の有無及び導入時期・システム規模等について審議する。
委員長	多田 靖宏(耳鼻咽喉科部長 兼 嚙下・ボイスセンターセンター長 兼 医療情報部門責任者)
副委員長	宮田 昌之(副院長)
第1回	平成29年4月12日(水)
1. 運用上のお知らせ・課題について 2. システム全般の検討事項について 1) 患者バーへの肝炎アイコン表示について 2) 動画像サーバ(Goodnet)更新のご報告 3) 退院サマリへの医師名記載について 4) サマリ運用WGについて 5) 病理レポートの医師参照履歴機能について 3. その他の検討事項	

第2回	平成29年5月10日(水)
1. 運用上のお知らせ・課題について 2. システム全般の検討事項について 1) サマリ運用WG開催延期のお知らせ 2) 医療情報システムにおける保守・バックアップ総点検の実施について 3. システム関連のイベントのお知らせ 1) 定期停電による医療情報システム停止のお知らせ 4. その他の検討事項	
第3回	平成29年6月7日(水)
1. 運用上のお知らせ・課題について 1) ワクチンの薬品検索について 2) 特定注射薬剤のオーダ時ポップアップ表示について 3) 同日に院外処方と院内処方を出す場合について 4) 定期停電による医療情報システム時のネットワーク機器の故障について 2. システム全般の検討事項について 1) エコーレポートのシステム化について 3. 新病院・電子カルテ関連について 1) 新病院に向けたシステムヒアリング結果について 2) 電子カルテ化へ向けた運用ヒアリングの実施 3) 今後のシステム更新の予定範囲(2017年6月7日時点) 4. その他の検討事項	
第4回	平成29年7月5日(水)
1. 運用上のお知らせ・課題について 2. システム全般の検討事項について 1) エコーレポートのシステム化について 2) 病理検査結果のシステム参照履歴機能のリリースについて 3) 地域連携システムHumanBridgeの導入について 3. 新病院・電子カルテ関連について 1) 電子カルテ化へ向けた運用アンケート結果について 2) 今後のシステム更新範囲とスケジュール(2017年7月5日時点) 4. その他の検討事項	
第5回	平成29年8月2日(水)
1. 運用上のお知らせ・課題について 2. システム全般の検討事項について 1) 予約枠の院内運用の再検討について 3. 新病院・電子カルテ関連について 1) 外来電子カルテ更新スケジュール(2017年8月2日時点) 2) 電子カルテWG進捗状況のご報告 4. その他	
第6回	平成29年9月6日(水)
1. 運用上のお知らせ・課題について 2. システム全般の検討事項について 1) 処方内容のロールブラウザ縮小表示解除について 2) エコー装置からの患者ID・名前情報の送信徹底について 3. 新病院・電子カルテ関連について 1) 電子カルテ運用スケジュール案(2017年9月6日時点) 2) 電子カルテWG進捗状況のご報告 4. その他の検討事項	

第7回	平成29年10月3日(火)
1. 運用上のお知らせ・課題について 2. システム全般の検討事項について 1) エコー装置からの患者ID・名前情報の送信徹底について 3. 新病院・電子カルテ関連について 1) 電子カルテ運用スケジュール案(2017年10月3日時点) 2) 電子カルテWG進捗状況のご報告 4. その他の検討事項	
第8回	平成29年12月5日(火)
1. 運用上のお知らせ・課題について 2. 電子カルテ関連について 1) 電子カルテ運用スケジュール案(2017年12月5日時点) 2) 他科紹介運用フロー・画面紹介 3. その他の検討事項	
第9回	平成30年2月7日(水)
1. 運用上のお知らせ・課題について 2. 電子カルテ移行及び病院機能評価に伴う申請書類等の整備について 1) 医療情報システムパスワードポリシーの変更について 2) オーダリングシステム利用者登録申請書の運用開始について 3) システム変更要望書の運用開始について 4) データ抽出・持出依頼申請書の運用開始について 3. 電子カルテ関連について 1) 「コンサルテーション 追加情報」の文書追加について 2) 電子カルテ運用WGについて 4. その他の検討事項	

11. 地域医療連携運営委員会	
目的	本院と地域の医療機関が診療に関して緊密な連携を図ることにより、地域医療により良い環境を整える。
委員長	渡部 洋一(院長)
副委員長	田畑 友子(地域医療連携課長 兼 院長補佐)
第1回	平成29年5月22日(月)
1. 平成29年度地域医療連携運営委員会委員の変更について 2. 4月の紹介率・逆紹介率、不応需について 3. 平成28年度実績報告について 4. 新規開業医・登録医報告について	
第2回	平成29年7月4日(火)
1. 平成29年度地域医療連携運営委員会委員の変更(研修医の参加)について 2. 5月の紹介率・逆紹介率、不応需について 3. 入院患者の高齢化現状報告について 4. ハーフインダール指数の全国偏差値について 5. ヒューマンブリッジ導入について 6. 第15回地域連携懇話会開催について	
第3回	平成29年10月30日(月)
1. 6月～9月分紹介率・逆紹介率、不応需について 2. 第15回地域連携懇話会開催について 3. アンケート結果報告	

12. 病床管理委員会	
目的	各病棟間との連絡調整を行いながら、運営上の諸問題について協議するとともに、病床管理の円滑な運営により、病床全体の効率的運用を図る。
委員長	大和田尊之(第1循環器科部長 兼 院長補佐)
副委員長	渡邊 知子(看護副部長)
第1回	平成29年6月21日(水)
1. 委員会委員の変更について 2. 平成28年度実績報告について 3. 病床の再編について 4. その他	

第2回	平成29年9月21日(木)
1. 病床管理委員会規程及び病床管理規定の確認について 2. 形成外科医師の勤務に伴う病床の変更について 3. 病床管理体制の変更について 4. 実務病床管理責任者の業務基準について 5. ベットコントロール対応件数報告(平成29年4月～7月)	
第3回	平成30年2月20日(火)
1. 委員の変更について 2. 現病院の病床割振り変更について 3. 新病院の病棟編成について 4. その他	
第4回	平成30年3月30日(金)
1. 新病院の病棟編成について 2. ベットコントロールの一元化について 3. その他	

13. 診療報酬適正化委員会	
目 的	本院における適正算定及び査定防止を図る。
委 員 長	大河内幸男(耳鼻咽喉科)
副委員長	黒田 聖仁(第1内科・消化器内科部長)
第1回	平成29年4月26日(水)
1. 委員会委員の変更について 2. 平成28年12月、平成29年1月診療分保険査定 3. その他	
第2回	平成29年6月28日(水)
1. 平成29年2月、平成29年3月診療分保険査定 2. その他	
第3回	平成29年8月23日(水)
1. 平成29年4月、平成29年5月診療分保険査定 2. その他	
第4回	平成29年10月25日(水)
1. 平成29年6月、平成29年7月診療分保険査定 2. その他	
第5回	平成29年12月28日(木)
1. 平成29年8月、平成29年9月診療分保険査定 2. その他	
第6回	平成30年2月28日(水)
1. 平成29年10月、平成29年11月診療分保険査定 2. その他	

14. 薬事委員会	
目 的	院長の諮問に応じ、本院にて使用される医薬品の選定について調査し、かつ、医薬品の効率的、合理的な運用調整を図り、病院の健全な業務運営に資する。
委 員 長	我妻 禎(薬剤部長)
副委員長	黒田 聖仁(第1内科・消化器内科部長)
第1回	平成29年4月10日(月)
1. 報告事項 2. 新規採用 3. 削除品 4. 後発品への変更検討	
第2回	平成29年5月8日(月)
1. 報告事項 2. 新規採用 3. 削除品 4. 後発品への変更検討	
第3回	平成29年6月6日(火)
1. 報告事項 2. 新規採用 3. 削除品 4. 後発品への変更検討	
第4回	平成29年7月10日(月)
1. 報告事項 2. 新規採用 3. 削除品 4. 後発品への変更 5. 製造中止による変更	
第5回	平成29年8月7日(月)
1. 報告事項 2. 新規採用 3. 削除品 4. 後発品への変更 5. 副作用手順の再提案	
第6回	平成29年9月11日(月)
1. 報告事項 2. 新規採用 3. 削除品 4. 後発品への変更 5. 経営改善提案	
第7回	平成29年10月3日(火)
1. 報告事項 2. 新規採用 3. 削除品	

第8回	平成29年12月11日(月)
1. 報告事項	2. 新規採用 3. 削除品
第9回	平成30年1月15日(月)
1. 報告事項	2. 新規採用 3. 削除品 4. 後発品への変更
第10回	平成30年2月6日(火)
1. 報告事項	2. 新規採用 3. 削除品 4. メーカー変更 5. 薬事委員会開催変更

15. 顧客サービス・広報委員会	
目的	療養環境・職場環境・接遇の改善等により、顧客(患者)の満足度を向上させ、顧客(患者)を意識した正確な情報発信を検討する。
委員長	安藤 精一(血管外科部長)
副委員長	伊藤美津子(看護師長)
第1回	平成29年4月28日(金)
1. 今年度委員会メンバーについて	2. 今年度年間スケジュールについて 3. 今月の動き
4. ご意見箱回収状況、改善策の検討	5. Facebookについて
第2回	平成29年5月26日(金)
1. 今月の動き	2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. Facebookについて
第3回	平成29年6月30日(金)
1. 今月の動き	2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. Facebookについて
4. ふれあいまつりの開催について	5. 病院駐車場の利用について
6. あいさつの標語掲示について	
第4回	平成29年7月28日(金)
1. 今月の動き	2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. Facebookについて
4. 院内巡視について	
第5回	平成29年8月25日(金)
1. 今月の動き	2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. Facebookについて
4. 院内巡視について	
第6回	平成29年9月29日(金)
1. 今月の動き	2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. Facebookについて
4. 院内巡視について	
第7回	平成29年10月27日(金)
1. 今月の動き	2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. Facebookについて
4. 接遇チェックについて	
第8回	平成29年11月24日(金)
1. 今月の動き	2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. Facebookについて
4. 「接遇研修会」「身だしなみセルフチェック」「患者満足度調査」の実施について	
第9回	平成29年12月22日(金)
1. 今月の動き	2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. Facebookについて
4. 患者満足度調査実施について	
第10回	平成30年1月26日(金)
1. 今月の動き	2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. Facebookについて
第11回	平成30年2月23日(金)
1. 今月の動き	2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. Facebookについて
4. 身だしなみチェック実施について	
第12回	平成30年3月23日(金)
1. 今月の動き	2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. 患者満足度調査の実施報告
4. Facebookについて	5. ふれあいまつりの開催について

16. 個人情報保護委員会	
目 的	本院及びその附帯施設における個人情報保護法への適切な対応について「個人情報管理規程」に沿って審議する。
委員 長	緑川 茂樹(事務部長)
副委員長	鈴木 恭一(第1脳神経外科部長 兼 医療安全推進室長 兼 院長補佐)
第1回	平成30年2月26日(月)
1. 「日本赤十字社の保有する個人情報保護規程」の改正について 2. オーダリングのパスワードポリシーの変更、データ抽出等について 3. 外部からの患者情報の提供依頼について	

17. 省エネルギー推進委員会	
目 的	本院の省エネルギー活動を効果的に促進することを目的として、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(省エネ法)に適合したエネルギー管理方針を定め運用する。
委員 長	宮田 昌之(副院長)
副委員長	緑川 茂樹(事務部長)
第1回	平成29年5月24日(水)
1. 昨年度のエネルギー使用量について 2. 今年度の目標について 3. 啓蒙、啓発活動、省エネパトロールについて	
第2回	平成29年7月25日(火)
1. 5月、6月のエネルギー使用量について 2. 夏季空調管理規定、照明・電気機器管理規定について 3. 啓蒙、啓発活動について、省エネ放送について	
第3回	平成29年11月21日(火)
1. 今年度(7月～10月)のエネルギー使用量について 2. 冬季空調管理規定、電気機器管理規定について 3. ウォームビズのお願い 4. 省エネパトロール(結果)について	
第4回	平成30年2月6日(火)
1. 今年度(11月～1月)のエネルギー使用量について 2. 啓蒙、啓発活動について 3. 省エネパトロール	



3. 医療安全管理に関する委員会

18. 医療安全管理委員会	
目 的	医療事故防止対策の検討及び推進を図る。
委 員 長	渡部 洋一(院長)
副委員長	鈴木 恭一(第1脳神経外科 兼 意匠安全推進室長 兼 院長補佐)
第1回	平成29年4月26日(水)
	1. アクシデント事例1事例検討 2. 患者影響レベル指標の修正について 3. 同意書修正について 4. 手術器械のリユースについて 5. 医療安全推進委員会報告 6. 患者相談室カンファレンス報告 7. 3月分死亡患者カルテ確認結果報告
第2回	平成29年5月24日(水)
	1. 急変事例報告 2. 同意書修正について 3. 認定病院患者安全推進協議会の退会について 4. 医療安全推進委員会報告 5. 患者相談室カンファレンス報告 6. 4月分死亡患者カルテ確認結果報告
第3回	平成29年6月28日(水)
	1. 患者・家族の同意が確認できない場合の医療行為について 2. 閉鎖式輸液セットの変更について 3. 手術部位のマーキングについて 4. 「暴言・暴力対応マニュアル」の修正について 5. 医療安全推進委員会報告 6. 患者相談室カンファレンス報告 7. 5月分死亡患者カルテ確認結果報告 8. 患者からのご意見箱投書内容について
第4回	平成29年7月26日(水)
	1. アクシデント事例1事例検討 2. 「患者相談対応マニュアル」の修正について 3. 手術部位のマーキングについて 4. 医療安全推進委員会報告 5. 患者相談室カンファレンス報告 6. 6月分死亡患者カルテ確認結果報告 7. RRSについて
第5回	平成29年8月23日(水)
	1. アクシデント事例2事例検討 2. 患者・家族の同意が確認できない場合の医療行為について 3. 医療事故情報収集事業の登録内容変更について 4. 医療安全推進委員会報告 5. 患者相談室カンファレンス報告 6. 7月分死亡患者カルテ確認結果報告
第6回	平成29年9月27日(水)
	1. 「医薬品の安全使用のための業務手順書」修正について 2. 新規申請同意書の検討・承認 3. 医療安全推進委員会報告 4. 患者相談室カンファレンス報告 5. 8月分死亡患者カルテ確認結果報告
第7回	平成29年10月25日(水)
	1. 新規申請同意書の検討・承認 2. 医療安全推進委員会報告 3. 患者相談室カンファレンス報告 4. 9月分死亡患者カルテ確認結果報告 5. QCサークル活動発表会について
第8回	平成29年11月20日(月)
	1. アクシデント事例1事例検討 2. 新規申請同意書の検討・承認 3. 医療安全推進委員会報告 4. 患者相談室カンファレンス報告 5. 10月分死亡患者カルテ確認結果報告 6. 嚙下評価アセスメントについて
第9回	平成29年12月27日(水)
	1. アクシデント事例1事例検討 2. 同意書修正 3. 「同意書使用マニュアル」のインフォームドコンセントについて 4. 医療安全管理指針・マニュアルの修正について 5. 医療安全推進委員会報告 6. 患者相談室カンファレンス報告 7. 11月分死亡患者カルテ確認結果報告

第10回	平成30年1月31日(水)
1. アクシデント事例1事例検討 2. 同意書修正 3. 医療安全管理指針・マニュアルの修正について 4. RRSについて 5. 医療安全推進委員会報告 6. 患者相談室カンファレンス報告 7. 12月分死亡患者カルテ確認結果報告	
第11回	平成30年2月28日(水)
1. アクシデント事例3事例検討 2. 摂食嚥下アセスメントについて 3. 医療安全推進委員会報告 4. 患者相談室カンファレンス報告 5. 1月分死亡患者カルテ確認結果報告	
第12回	平成30年3月28日(水)
1. アクシデント事例1事例検討 2. 新規申請同意書の検討・承認 3. 患者サポート体制充実加算の専任の相談員変更について 4. ハラスメント相談員の変更について 5. 平成30年度のQCサークル活動について 6. 医療安全推進委員会報告 7. 患者相談室カンファレンス報告 8. 2月分死亡患者カルテ確認結果報告 9. 平成30年度の会議開催について	

19. 医療事故調査委員会	
目 的	本院に医療事故やクレーム等が発生した場合、速やかに事故原因の究明と今後の対策等について検討する。
委 員 長	鈴木 恭一(第1脳神経外科部長 兼 医療安全推進室長 兼 院長補佐)
副委員長	緑川 茂樹(事務部長)

20. 医療安全推進委員会	
目 的	医療事故防止対策の検討及び推進を図る。
委 員 長	渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)
副委員長	阿部 美幸(看護師長、専任リスクマネージャー)
第1回	平成29年4月21日(金)
1. 3月の医療安全管理委員会報告 2. 平成28年度ヒヤリハット・アクシデント報告のまとめ 3. 平成29年度医療安全推進室活動計画 4. ワーキンググループ活動及びグループ編成	
第2回	平成29年5月19日(金)
1. 4月の医療安全管理委員会報告 2. ワーキンググループ活動	
第3回	平成29年6月16日(金)
1. 5月の医療安全管理委員会報告 2. ヒヤリハット事例検討・要因分析 3. ワーキンググループ活動	
第4回	平成29年7月21日(金)
1. 6月の医療安全管理委員会報告 2. ワーキンググループ活動	
第5回	平成29年8月18日(金)
1. 7月の医療安全管理委員会報告 2. ヒヤリハット事例検討・要因分析 3. ワーキンググループ活動	
第6回	平成29年9月15日(金)
1. 8月の医療安全管理委員会報告 2. ワーキンググループ活動	
第7回	平成29年10月20日(金)
1. 9月の医療安全管理委員会報告 2. ワーキンググループ活動中間報告会	
第8回	平成29年11月17日(金)
1. 10月の医療安全管理委員会報告 2. ヒヤリハット事例検討・要因分析 3. ワーキンググループ活動	

第9回	平成29年12月15日(金)
1. 11月の医療安全管理委員会報告 2. ヒヤリハット事例検討・要因分析 3. ワーキンググループ活動	
第10回	平成30年1月19日(金)
1. 12月の医療安全管理委員会報告 2. 医療安全ニュースの周知確認 3. ワーキンググループ活動 4. 次年度のワーキンググループ活動への意見	
第11回	平成30年2月16日(金)
1. 1月の医療安全管理委員会報告 2. 医療安全マニュアルの差し替えについて 3. ヒヤリハット事例検討・要因分析 4. ワーキンググループ活動	
第12回	平成30年3月16日(金)
1. 2月の医療安全管理委員会報告 2. ワーキンググループ活動年間のまとめと今後の課題報告会	

21. 院内感染対策委員会	
目 的	院内における微生物の感染を積極的に防止し、院内衛生管理の万全を期す。
委 員 長	渡部 洋一(院長)
副委員長	寺島久美子(第2内科・消化器内科部長 兼 感染管理室長 兼 院長補佐)
第1回	平成29年4月11日(火)
1. 3月分検査データ報告 2. 3月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) インフルエンザ感染状況の報告 4) ICTラウンド結果報告 5) 平成28年度リンクスタッフ手指衛生・環境チェック実施報告 4. 平成28年度看護部手指衛生・咳エチケット、環境チェック実施報告 5. 院内感染対策委員会名簿の変更について	
第2回	平成29年5月9日(火)
1. 4月分検査データ報告 2. 4月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4) 平成28年度針刺し・切創報告 5) 平成28年度MRSAサーベイランス報告 4. 審議事項 1) 中央材料室 新病院に向けて購入予定の滅菌器について 2) 院内感染対策委員会委員名簿変更について	
第3回	平成29年6月13日(火)
1. 5月分検査データ報告 2. 5月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4) 平成28年度職員・患者のインフルエンザ罹患状況の報告 5) 感染対策研修報告 6) 感染対策研修予定 7) 平成29年度 第1回感染防止対策合同カンファレンス開催予定 4. その他 血液ガス分析キット変更について報告	
第4回	平成29年7月11日(火)
1. 6月分検査データ報告 2. 6月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4) 感染対策研修報告 5) 感染対策研修予定 6) 平成29年度 第1回感染防止対策合同カンファレンス開催報告 4. 審議事項 感染対策マニュアル【1】感染対策の内規・報告体制改訂案について	

第5回	平成29年8月8日(火)
1. 7月分検査データ報告 2. 7月分結核発生届報告 3. レジオネラ属菌検査結果報告 4. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4) 感染対策研修報告 5) 感染対策研修予定 6) 平成29年度 第2回感染防止対策合同カンファレンス開催予定 5. 審議事項 減菌物の単回使用器材の取り扱いについて	
第6回	平成29年9月12日(火)
1. 8月分検査データ報告 2. 8月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4) 感染対策研修報告 5) 感染対策研修予定 6) 平成29年度 第2回感染防止対策合同カンファレンス開催報告 4. 審議事項 減菌物の単回使用器材の取り扱いについて	
第7回	平成29年10月10日(火)
1. 9月分検査データ報告 2. 9月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4) 感染対策研修報告 5) 感染対策研修予定 6) 平成29年度 第3回感染防止対策合同カンファレンス開催予定 7) 平成29年度 感染防止対策地域連携相互評価開催予定 4. 審議事項 1) 感染マニュアル【7】針刺し・切創・血液曝露後の対応 改訂(案)について 2) インフルエンザワクチン供給数不足にともなう接種体制について(案) 3) 減菌物の単回使用器材、取り扱い基準作成にいける各科承認について	
第8回	平成29年11月14日(火)
1. 10月分検査データ報告 2. 10月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4) 感染対策研修報告 5) 平成29年度 第3回感染防止対策合同カンファレンス開催報告 6) 平成29年度 感染防止対策地域連携相互評価開催報告 7) 耐性菌サーベイランス上半期報告 4. 審議事項 1) 感染マニュアル【10】器材の洗浄・消毒・滅菌 改訂(案)について 2) インフルエンザワクチン供給数不足にともなう接種方法について(案)	
第9回	平成29年12月12日(火)
1. 11月分検査データ報告 2. 11月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4) 感染対策研修報告 5) 平成29年度 感染防止対策地域連携相互評価開催報告 6) 平成29年度 第4回感染防止対策合同カンファレンス開催予定 7) インフルエンザワクチン接種状況の報告 4. 審議事項 1) 感染マニュアル【13】感染性廃棄物の管理 改訂について	

第10回	平成30年1月9日(火)
1. 12月分検査データ報告 2. 12月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4) 平成29年度 第4回感染防止対策合同カンファレンス開催報告 5) インフルエンザ罹患状況の報告 4. 審議事項 1) 単回使用器材の取り扱い基準、変更案について 2) 感染対策マニュアル【16】感染症発生動向調査報告を要する感染症一部追加にともなう改訂(案)	
第11回	平成30年2月13日(火)
1. 1月分検査データ報告 2. 1月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4) 平成29年度 感染研修報告 4. 審議事項 1) インフルエンザ罹患状況の報告ならびに今後の対策について 2) 感染対策マニュアル部署名変更等にともなう改訂(案) 3) 入院患者に対する感染対策案内表示(案)について	
第12回	平成30年3月13日(火)
1. 2月分検査データ報告 2. 2月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4) インフルエンザ状況法報告 4. 審議事項 1) 感染対策指針の改訂(案)について	

22. 医師・看護師負担軽減対策委員会	
目 的	医師・看護師の負担軽減及び処遇改善に係る計画の策定と実行・評価
委 員 長	寺島 久美子(第2内科・消化器内科部長 兼 感染管理室長 兼 院長補佐)
副委員長	安藤 精一(血管外科部長)
第1回	平成29年4月21日(金)
1. H28年度業務報告 2. H29年度業務計画について	



4. 診療に関する委員会

23. クリニカルパス委員会	
目 的	本院に良質な医療を提供するため各部門参画によるチーム医療の推進を図る。
委 員 長	阪本 貴之(第3循環器内科部長)
副委員長	高木 朝子(看護副部長)
第1回	平成29年9月7日(木)
	1. 電子パスについて 2. 患者用クリニカルパス(入院診療計画書)に他職種名追加について 3. AUS(KA・SA)パス、子宮内膜搔把術パスの承認 4. 腹腔鏡下鼠径ヘルニアパス(3泊4日)の承認 5. 昨年度パス使用率 6. その他
第2回	平成30年2月15日(木)
	1. 病院機能評価に向けて(バリエーションシートの変更) 2. 心不全パスの進捗 3. THA(全人工股関節置換術)パス(22泊23日)の承認 4. 腹腔鏡下鼠径ヘルニアパス(3泊4日)の承認 5. 声帯手術パス(1泊2日)の承認 6. 今年度パス適用率報告(速報) 7. 電子パスに向けてのスケジュール(開催時期等) 8. その他

24. 輸血療法委員会	
目 的	輸血療法の適応、血液製剤の保管管理・使用状況・適正使用の徹底及び輸血療法に伴う事故や副作用・合併症対策について検討し、適正な輸血療法を推進する。
委 員 長	遠藤 豪一(第1外科部長)
副委員長	渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)
第1回	平成29年5月31日(水)
	1. 血液製剤の使用状況について(3月分、4月分) 2. 院内輸血講演会について 3. 血小板製剤の取り扱いについて
第2回	平成29年7月26日(水)
	1. 血液製剤の使用状況について(5月分、6月分)
第3回	平成29年9月27日(水)
	1. 血液製剤の使用状況について(7月分、8月分) 2. 血液製剤のオベ準備のための過剰な請求について
第4回	平成29年11月29日(水)
	1. 血液製剤の使用状況について(9月分、10月分) 2. 院内輸血講演会報告
第5回	平成30年1月31日(水)
	1. 血液製剤の使用状況について(11月分、12月分) 2. FFPの有効期限について 3. 自己血貯血・自己血輸血の保険点数について 4. アルブミン使用量の増加について
第6回	平成30年3月28日(水)
	1. 血液製剤の使用状況について(1月分、2月分) 2. 血液センター医薬情報担当者の委員会へのオブザーバー参加について 3. 輸血後感染症検査について 4. アルブミン製剤の適正使用について

25. 臨床検査適正化委員会	
目 的	本院の臨床検査の管理、運営上の適正化を図るとともに重要事項を審議し、管理運営に万全を期すため、院内各部署と連携を密にし本院の発展に寄与する。
委 員 長	渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)
副委員長	宮田 昌之(副院長)

第1回	平成29年4月20日(木)
1. 平成28年度日本医師会臨床検査精度管理調査結果報告 2. 委託検査オーダー件数による院内検査の見直し	
第2回	平成29年12月7日(木)
1. 平成29年度日臨技臨床検査精度管理調査結果報告 2. フェリチンIL-2R院内実施について	
第3回	平成30年3月29日(木)
1. 平成29年度日本医師会臨床検査精度管理調査結果報告 2. 凝固線溶検査追加項目の実施について	

26. 診療情報管理委員会

目 的	本院における診療情報の適正な保管・管理を図るとともに、診療・調査研究等に対し有効に活用できることを定める。
委 員 長	宮田 昌之(副院長)
第1回	平成29年4月13日(木)
1. サマリ完成率報告 —平成29年3月分— 2. 年間貫くテーマ「診療情報を繋ぐ」基本的視点・電子カルテシステムの利点欠点 3. 診療録・フィルム・廃棄・外部保管 4. 平成28年度病院立入検査 —指導事項—	
第2回	平成29年5月18日(木)
1. サマリ完成率報告 —平成29年4月分— 2. 改正個人情報保護法 3. 診療録・フィルム・廃棄・外部保管 4. 摂食嚥下介入依頼書	
第3回	平成29年6月15日(木)
1. サマリ完成率報告 —平成29年5月分— 2. 診療録・フィルム・廃棄→ヒアリング 呼吸器外科・小児科・産婦人科・外科 3. 「認知症ケア加算の伴う文章」 —登録— 4. 外来オーダー控えシール診療録に貼付または診療録に記載 5. エコーレポート参照 運用開始案内(6月26日より)	
第4回	平成29年7月13日(木)
1. サマリ完成率報告 —平成29年6月分— 2. 医師別研修医カルテ承認率報告 —平成29年4・5・6月分— 3. 診療録・フィルム・廃棄 4. 「病院機能評価」担当領域 説明	
第5回	平成29年8月17日(木)
1. サマリ完成率報告 —平成29年7月分— 2. 診療録の質的監査 3. 委員 多田耳鼻咽喉科部長 院長指名	
第6回	平成29年9月14日(木)
1. サマリ完成率報告 —平成29年8月分— 2. 入院診療計画書 監査 2017-08-18実施 2017-09-05実施→空欄不可・管理規程変更 3. 退院経路 老人病院→老人福祉施設または老人保健施設 4. 入院診療記録廃棄	

第7回	平成29年10月19日(木)
1. サマリ完成率報告 —平成29年9月分— 2. 入院診療計画書 監査 2017-10-05実施 3. 入院総括(サマリ)監査 4. 診療情報管理規程 追記(案)	
第8回	平成29年11月16日(木)
1. サマリ完成率報告 —平成29年10月分— 2. コンサルテーション機能 3. 入院診療計画書・退院療養計画書 監査 2017-11-10実施 4. 診療録作成指針(案)	
第9回	平成30年1月18日(木)
1. サマリ完成率報告 —平成29年12月分— 2. 医師別研修医カルテ承認状況報告 3. 入院診療計画書・退院療養計画書 監査 2018-01-10実施 4. 診療録作成指針(案) 5. 入院診療録等 保管場所	
第10回	平成30年3月15日(木)
1. サマリ完成率報告 —平成30年2月分— 2. 医師別研修医カルテ承認状況報告 3. 診療録作成指針(案)	

27. DPC委員会	
目的	当院における標準的な診断及び治療方法について院内で周知徹底し適切なコーディングを行う体制を確保する。
委員長	渡部 洋一(院長)
副委員長	宮田 昌之(副院長)
第1回	平成29年4月27日(木)
1. 平成29年度 DPC委員会メンバー紹介 2. 総合入院体制加算3について 3. 看護必要度と他職種連携 4. 外注検査委託の削減について 5. 平成28年度の振り返り(診療報酬改定の影響)	
第2回	平成29年5月25日(木)
1. 総合入院体制加算逆紹介率報告 2. 薬剤管理指導料と看護必要度 3. 看護必要度の精度向上結果 4. 逆紹介について～デジタルサイネージの活用～	
第3回	平成29年6月22日(木)
1. 総合入院体制加算3逆紹介率報告 2. 厚生労働省によるHファイル整合性チェックの結果 3. 県北医療圏での機能評価係数Ⅱ比較と今後の展望	
第4回	平成29年7月27日(木)
1. 総合入院体制加算3逆紹介率報告 2. 適正なコーディングに関する委員会(DPC制度について) 3. 平成30年度診療報酬改定について 4. 赤十字病院内 クリニカルパス別 入院期間Ⅱ以内退院割合	

第5回	平成29年8月24日(木)
1. 委員会の名称変更について 2. 総合入院体制加算3逆紹介率報告 3. 医業収支改善について 4. 適正なコーディングに関する委員会(DPC制度における診療報酬の請求)	
第6回	平成29年9月28日(木)
1. 総合入院体制加算逆紹介率について 2. 適正なコーディングに関する委員会(DPC制度とICD-10の変更について) 3. 当院の外来診療単価について	
第7回	平成29年11月27日(月)
1. 総合入院体制加算逆紹介率について 2. 平成30年度診療報酬改定、現在の動き 3. 入院期間Ⅱ最終日退院の重要性と運用 4. 来年度のDPC係数について	
第8回	平成29年12月21日(木)
1. 総合入院体制加算逆紹介率について 2. 平成30年度診療報酬改定、11月～12月の動き 3. 指定難病について	
第9回	平成30年1月25日(木)
1. 総合入院体制加算逆紹介率の報告 2. 平成30年度診療報酬改定の動き 3. 当院のリハビリテーションについて	
第10回	平成30年3月22日(木)
1. 適切なコーディングに関する委員会 2. 平成30年度 重症度医療看護必要度について 3. 平成30年度 診療報酬改定について	

28. 手術室運営委員会	
目 的	手術室の円滑な運営を図る。
委 員 長	出羽 明子(第2麻酔科部長)
副委員長	安達 守(第1麻酔科部長)
第1回	平成29年4月17日(月)
1. 手術室運営委員会規定 2. 手術室運営委員会委員の変更 3. 手術部位のマーキング 4. 新病院手術室移転に向けて	
第2回	平成29年11月7日(火)
1. 手術スケジュール 2. 単回使用機材 3. 手術室内装 4. 手術部位マーキング 5. 物品の期限切れ 6. 術野カメラ	

29. 救急センター運営委員会	
目 的	急患室を利用する救急患者への対応に関する事項を審議し、急患室における業務の適正かつ円滑な運営を図る。
委 員 長	鈴木 恭一(第1脳神経外科部長 兼 医療安全推進室長 兼 院長補佐)
副委員長	森谷 浩子(看護師長)
第1回	平成29年11月8日(水)
1. 救急センターの運営及び救急患者受入れについて 2. 病院機能評価対策について 3. 年末年始の体制について 4. その他	

30. ハイケアユニット運営委員会	
目 的	ハイケアユニットの適正な運営を図る。
委 員 長	安達 守(第1麻酔科部長)
副委員長	出羽 明子(第2麻酔科部長)
第1回	平成29年5月19日(金)
1. 平成29年度委員会委員の変更 2. 平成28年度HCU使用状況 3. 病院機能評価受審に向けて 4. VAPに対する取り組み	

31. NST委員会	
目 的	入院患者に適切かつ効果的な栄養管理を行い、治療効果の向上を図る。
委 員 長	遠藤 豪一(第1外科部長)
副委員長	元木 良和(皮膚科部長)
第1回	平成29年4月19日(水)
1. 平成29年度NSTメンバー報告 2. 平成29年度NST勉強会について 3. その他	
第2回	平成29年5月17日(水)
1. 症例報告 2. 平成29年度NST勉強会について 3. その他	
第3回	平成29年6月21日(水)
1. 平成29年度NST勉強会について 2. EATの活動報告 3. その他	
第4回	平成29年8月16日(水)
1. 症例報告 2. 7月のNST勉強会報告 3. その他	
第5回	平成29年9月20日(水)
1. 症例報告 2. EATの活動報告 3. その他	
第6回	平成29年10月18日(水)
1. 症例報告 2. EATの活動報告 3. その他	
第7回	平成29年11月15日(水)
1. 症例報告 2. EATの活動報告 3. その他	
第8回	平成29年12月20日(水)
1. ラウンド報告 2. EATの活動報告 3. その他	
第9回	平成30年1月17日(水)
1. ラウンド報告 2. その他	
第10回	平成30年2月28日(水)
1. ラウンド報告 2. その他	
第11回	平成30年3月28日(水)
1. ラウンド報告 2. 診療報酬改定について 3. その他	

32. 化学療法検討委員会	
目 的	がん化学療法を実施するにあたって、施設・設備などのハードウェア面、医師・看護師・薬剤師などのスタッフ面、セーフティーマネジメントなどの運用面など、充足すべき課題を検討し、化学療法を安全に、安心して実施するための基本的な考え方、具体的な方法を審議する。また、外来化学療法を実施するための運用についても審議し、実施される化学療法のレジメン(治療内容)の妥当性を評価し承認する委員会を兼ねる。
委 員 長	管野 隆三(呼吸器外科部長)
副委員長	伊藤 史浩(第2産婦人科部長)
第1回	平成29年4月18日(火)
1. 外来化学療法予約・調整について 2. 化学療法検討委員会メンバー確認 3. がん免疫療法同意書の訂正 4. 新規申請レジメン承認	

第2回	平成29年5月16日(火)
1. EGFR遺伝子検とPD-L1抗体検査について 2. 新規申請レジメン承認、レジメン削除承認 3. 職員の曝露対策について	
第3回	平成29年6月20日(火)
1. 病棟での化学療法実施時のトラブル報告 2. 新規レジメン、変更レジメン、削除レジメン申請・削除 3. インフューザポンプの総量設定について	
第4回	平成29年7月18日(火)
1. 新効果など追加承認 2. オキサリプラチン投与時の過敏症対応について 3. 病院機能評価受審に向けた取組み	
第5回	平成29年8月15日(火)
1. エンドキサン曝露事例報告 2. シュアフューザー残量について 3. 薬剤師外来の開始について	
第6回	平成29年9月22日(金)
1. オキサリプラチンのガイドラインについて承認 2. ジプレキサ細粒1%の後発品への変更の確認	
第7回	平成29年10月17日(火)
1. 有害事象対応及びトラブル 血管炎について 2. CVポート穿刺針固定方法について 3. 「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」について	
第8回	平成29年11月21日(火)
1. インフルエンザワクチン接種について 2. 同意書の取得について 3. 化学療法中の「生もの」の食事について 4. HBV抗原陽性例について	
第9回	平成29年12月19日(火)
1. 当院における「静脈注射実施基準」ポート抜針について 2. 同意書の取得期限変更 3. 化学療法施行患者のHBV既往確認及び対応について	
第10回	平成30年1月16日(火)
1. 婦人科病棟にてCBDCAのアレルギー出現について報告 2. フェソロデックスの添付文章改訂について 3. レジメン変更承認	
第11回	平成30年2月20日(火)
1. パワーポートについて 2. 病院機能評価受審について 3. 新規レジメン申請・承認 4. 委員会開催の頻度について(次年度：3ヶ月/1回)	

33. 緩和ケア委員会	
目的	生命を脅かす疾患に直面した全ての患者とその家族に、早期より全人的苦痛に対する適切な緩和ケア提供を推進する。
委員長	出羽 明子(第2麻酔科部長)
副委員長	車田 真美(看護係長)
第1回	平成29年4月25日(火)
1. 平成29年度 緩和ケア委員会メンバー確認 2. 緩和ケアマニュアルの見直し 3. 今年度研修計画、テーマ 4. その他	
第2回	平成29年7月25日(火)
1. 次回委員会の日程について 2. 緩和ケアマニュアルの見直し 3. お知らせ	
第3回	平成29年9月26日(火)
1. 第一三共より ヒドロモロフィン(ナルサス、ナルラピドについて) 2. 福島県がんのリハビリテーション研修会報告 3. 第1回研修会の報告、次回研修会予定について 4. その他	
第4回	平成30年1月23日(火)
1. 今年度の活動報告、研修会報告 2. 緩和ケアチームの活動報告 3. 緩和ケアマニュアルについて 4. 来年度の委員会活動に関して 5. その他	

34. 褥瘡対策委員会	
目 的	本院における褥瘡予防対策の確立や褥瘡治癒促進に向けて、褥瘡対策マニュアルの作成、褥瘡に関する情報の収集と共有、褥瘡対策についての教育研修の計画及び実施などを通し、褥瘡対策及び関連する事項について調査・審議する。
委 員 長 副委員長	元木 良和(皮膚科部長) 佐藤 美絵(看護係長、皮膚・排泄ケア認定看護師)
第 1 回	平成29年 4 月25日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第 2 回	平成29年 5 月23日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第 3 回	平成29年 6 月27日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第 4 回	平成29年 7 月25日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第 5 回	平成29年 8 月22日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第 6 回	平成29年 9 月26日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第 7 回	平成29年10月24日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第 8 回	平成29年11月28日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第 9 回	平成29年12月26日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第10回	平成30年 1 月23日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第11回	平成30年 2 月27日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第12回	平成30年 3 月27日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	

35. 認知症ケア運営委員会	
目 的	認知症を有する患者ケアを行うために病棟での対応力とケアの質の向上を図る。
委 員 長 副委員長	浅野 聡子(精神科) 伊藤美津子(看護師長)／車田 真美(看護係長)
第 1 回	平成29年 7 月12日(水)
1. 認知症ケアチーム活動の進め方	
第 2 回	平成29年 9 月27日(水)
1. 認知症ケアチーム活動の進め方②	
第 3 回	平成29年11月29日(水)
1. 認知症ケアチームによる看護師向け認知症研修及び全職員向けの活動報告会と認知症研修について	
第 4 回	平成29年12月27日(水)
1. 認知症ケアチームによる看護師向け認知症研修のアンケート結果及び全職員向けの活動報告会と認知症研修について	



5. 教育・研究に関する委員会

36. 医師臨床研修管理委員会	
目 的	本院と臨床協力病院及び臨床研修協力施設とが共同で行う医師の臨床研修の実施を統括管理する。
委 員 長	渡部 洋一(院長)
副委員長	宮田 昌之(副院長)
第 1 回	平成29年 9 月25日(月)
	1. 平成30年度採用初期臨床研修医の選考について 2. 平成31年度初期臨床研修医募集定員数について
第 2 回	平成30年 3 月 9 日(金)
	1. 平成29年度採用初期臨床研修医 研修修了の認定について 2. 平成29年度採用初期臨床研修医 研修状況について

37. 医師臨床研修プログラム委員会	
目 的	医師の臨床研修の円滑な運営を図る。
委 員 長	鈴木 恭一(第1脳神経外科部長 兼 医療安全推進室長 兼 院長補佐)
副委員長	渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)
第 1 回	平成29年 4 月10日(月)
	1. 福島日赤研修医OB / OG会(開催時期、名称など)について
第 2 回	平成29年 6 月 5 日(月)
	1. 病院機能評価受審に向けての自己評価 1)研修医が単独で行って良い行為 2)シュミレーター教育(挿管、CV挿入、ちょうしんくん、縫合、上部消化管内視鏡) 3)チーム医療(ICT、医療安全推進委員会、緩和委員会、EAT) 4)研修プログラム委員会開催頻度 5)その他 2. IC、診断書作成能力をつけさせる 3. インシデントレポート・QCサークル活動 4. 福島日赤研修医同窓会(11月or2月開催)
第 3 回	平成29年 8 月14日(月)
	1. 研修医時間外勤務調査報告 2. 福島日赤研修医同窓会開催日時 3. 病院機能評価受審に向けての自己評価 1)研修医が単独で行って良い行為 2)委員先生より
第 4 回	平成29年10月16日(月)
	1. 研修医が単独で行って良い行為 2. 平成31年度初期臨床研修医募集定員数について
第 5 回	平成29年12月 4 日(月)
	1. 平成31年度募集定員増に関して
第 6 回	平成30年 2 月 5 日(月)
	1. 平成30年度研修医のメンター 2. 平成29年度研修医OSCE

38. 図書委員会	
目 的	本院全体における診療その他に必要な図書の整備、購入、利用、管理等を検討するとともに、病院図書の有効利用を図る。
委 員 長	遠藤 豪一(第1外科部長)
副委員長	阪本 貴之(第3循環器内科部長)
第1回	平成29年10月10日
	1. 2018年図書購入について 2. 新病院移転の準備について 3. 病院機能評価について
第2回	平成29年12月8日
	1. 2018年図書購入について(結果報告) 2. 病院機能評価の準備について 1) 図書委員会規程について 2) オーダリングの運用について 3) 新着図書リストについて 4) 図書利用案内について 3. 図書の廃棄について 1) 廃棄に至るまでのルール 2) 著作権法の侵害にあたらぬような閲覧方法



6. 労務及び安全管理に関する委員会

39. 安全衛生委員会	
目 的	職員の安全衛生及び健康管理に関する事項について調査審議し、快適な職場環境を形成する。
委 員 長 副委員長	寺島久美子(第2内科・消化器内科部長 兼 感染管理室長 兼 院長補佐) 藤森 春生(精神科部副部長)
第1回	平成29年4月28日(金)
1. 4月の労働者傷病報告 2. 平成28年度職員健診実施報告	
第2回	平成29年5月26日(金)
1. 5月の労働者傷病報告 2. 長時間労働者に対する面接指導について	
第3回	平成29年6月30日(金)
1. 6月の労働者傷病報告	
第4回	平成29年7月28日(金)
1. 7月の労働者傷病報告	
第5回	平成29年8月25日(金)
1. 8月の労働者傷病報告 2. 長時間労働者に対する面接指導について	
第6回	平成29年9月29日(金)
1. 9月の労働者傷病報告 2. 作業環境測定結果報告	
第7回	平成29年10月30日(月)
1. 10月の労働者傷病報告	
第8回	平成29年11月24日(金)
1. 11月の労働者傷病報告 2. ストレスチェックについて	
第9回	平成29年12月22日(金)
1. 12月の労働者傷病報告 2. ストレスチェック結果について	
第10回	平成30年1月26日(金)
1. 1月の労働者傷病報告 2. ストレスチェック集団分析について	
第11回	平成30年2月23日(金)
1. 2月の労働者傷病報告 2. 委員会委員の変更について	
第12回	平成30年3月30日(金)
1. 3月の労働者傷病報告 2. 作業環境測定結果報告	

40. 医療ガス安全管理委員会	
目 的	診療の用に供する酸素、笑気ガス、麻酔用エーテル、窒素、炭酸ガス、吸引、医療用圧縮空気等医療用ガスの使用上の安全確保を目的とした保守点検と、医療用ガスに関する設備の部分的な改造修理等にあたって、常に高度の安全管理をする。
委 員 長 副委員長	管野 隆三(呼吸器外科部長) 出羽 明子(第2麻酔科部長)
第1回	平成30年3月20日(火)
1. 委員変更について 2. 医療ガス設備点検結果報告について 3. 厚生労働省「医療ガス管理」の通達改正について 4. 医療ガス研修について 5.その他	

VI

研究発表

1. 診療科部

(1) 内科・消化器内科

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
4月20日 ～22日	宮田 昌之 菅野有紀子	福島市	第61回 日本リウマチ学会学術集会	関節リウマチのメトトレキサート(MTX) 肝障害について
5月6日 ～9日	藁谷 雄一	シカゴ	DDW2017	Clinical significance of serum Wisteria floribunda agglutinin – positive Mac – 2 binding protein in pancreatic ductal adenocarcinoma. Factors related to procedure time in gastric ESD
5月9日	黒田 聖仁 國島麻実子	福島市	県北肝・代謝疾患研究会	炭酸ガスアンギオにてTACEを施行し得 た腎不全合併肝細胞癌破裂の1例
5月27日	藁谷 雄一	福島市	第25回福島ESDクラブ	症例提示
6月30日 ～ 7月1日	菅野有紀子 滝口 和暁	盛岡市	第203回日本消化器病学 会東北支部例会	急性小腸炎で発症した上腸間膜静脈血栓 症、門脈血栓症、多発大動脈血栓症の1例
6月30日 ～ 7月1日	菅野有紀子 野地もも子	盛岡市	第203回日本消化器病学 会東北支部例会	ランソプラゾール、エソメプラゾール、ファモ チジン3剤によるCollagenouscolitisの1例
6月30日 ～ 7月1日	藁谷 雄一	盛岡市	第203回日本消化器病学 会東北支部例会	ボノプラザンを用いたH.pylori除菌治療 の現状
6月30日 ～ 7月1日	黒田 聖仁 國島麻実子	盛岡市	第203回日本消化器病学 会東北支部例会	CO ₂ -DSAにてTAEを施行し得た腎不 全合併肝細胞癌破裂の1例
7月1日	宮田 昌之	福島市	Fukushima RA Meet The Expert 2017	早期関節リウマチ診断での関節エコー 検査の意義
8月19日	橋本 舞 宮田 昌之	秋田市	第16回 東北臨床免疫研究会	炎症反応上昇を伴う腰痛を認めた68歳 女性
8月26日	滝口 和暁 宮田 昌之	郡山市	第26回 福島県リウマチフォーラム	難治性中耳炎で内科に紹介された間質 性肺炎の1例
9月2日	菅野有紀子 山口 瑞希	福島市	第21回福島肝疾患勉強会	潰瘍性大腸炎に食道静脈瘤を合併した 1例
9月9日	藁谷 雄一	福島市	第37回福島県食道癌研究会	当院におけるアコチアミドの使用報告
10月1日	宮田 昌之	高知市	平成29年度 中国・四国地区リウマチ の治療とケア研修会	東日本大震災と津波・原発事故 ～今後も起こりうる災害に備えて我々 が行えることは何か?～
11月11日	宮田 昌之	東京都	第6回RAとIL-6研究会	関節リウマチ治療における肝障害のマ ネジメント
11月24日 ～25日	宮田 昌之	山形市	第27回日本リウマチ学会 北海道・東北支部学術集会	高齢発症関節リウマチの診断と治療に ついて
12月26日	宮田 昌之	郡山市	郡山RA Meeting2017	Japan Rheumatology Conference(JRC) で集積したデータに基づくHBウイルス 再活性化とその対策
2月2日 ～3日	黒田 聖仁 橋本 舞	仙台市	第160回日本消化器内視 鏡学会東北支部例会	腹水濾過濃縮再静注法中に2病変の肝 細胞癌が自然退縮した1例
2月2日 ～3日	菅野有紀子	仙台市	第160回日本消化器内視 鏡学会東北支部例会	当院における女性医師勤務の現状と支援
2月2日 ～3日	菅野有紀子 山口 瑞希	仙台市	第160回日本消化器内視 鏡学会東北支部例会	潰瘍性大腸炎に食道静脈瘤を合併した 1例
2月2日 ～3日	藁谷 雄一	仙台市	第160回日本消化器内視 鏡学会東北支部例会	診断に難渋した幽門狭窄4型胃癌の1例
2月9日 ～10日	藁谷 雄一	東京都	第14回日本消化管学会総 会学術集会	総胆管結石症を合併した胆嚢結腸瘻の 1例

学会・研修会 講演

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
6月20日	宮田 昌之	伊達市	平成29年度 「赤十字健康講演」	骨粗しょう症について
6月22日	宮田 昌之	仙台市	リウマチWebセミナー	症例に学ぶ生物学的製剤の使い方
9月9日	黒田 聖仁	福島市	医療講演会 「肝疾患を救うために」	肝疾患の診療の進歩「肝細胞癌」
2月9日	宮田 昌之	福島市	ぶどう膜炎学術講演会	非感染性ぶどう膜炎の治療薬とその副作用
3月31日	宮田 昌之	岐阜市	運動器疾患/ 骨・関節フォーラム	関節リウマチにおけるMTXの取り扱い

論文発表・著書

著者名	論文・著書名	誌・巻(号)ページ
一瀬 瑞絵 引地 拓人 萱野有紀子	A case of gastric lipoma resected by endoscopic submucosa dissection with difficulty in preoperative diagnosis	Fukushima j.Med.Sci.,Vol.63,No.3,2017

(2)糖尿病・代謝内科

学会・研究会等 発表

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
5月18日 ～19日	佐藤 義憲	名古屋市	第60回日本糖尿病学会 年次学術集会	当院で経験した自発性低血糖症34例の 原因検討
11月11日	佐藤 義憲	仙台市	日本糖尿病学会第55回 東北地方会	DKA with alkalemiaの1例
11月11日	浅野 太志	仙台市	日本糖尿病学会第55回 東北地方会	アルコール性ケトアシドーシスによる 低血糖昏睡の1例
11月11日	山口 瑞希	仙台市	日本糖尿病学会第55回 東北地方会	急性気腫性胆嚢炎の1例

(3)循環器内科

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
4月18日	大和田尊之	いわき市	抗凝固セミナー inいわき	心房細動と抗凝固療法のCutting Edge
5月27日	天海 一明	郡山市	第73回福島循環器談話会	原因不明の繰り返す失神に小型Insertable Cardiac Monitor (ICM)が診断に有用で あった一例
7月15日	天海 一明	八戸市	第42回 日本心血管インターベン ション治療学会東北地方会	ステント留置後血管内超音IVUS施工後pull back時にlongitudinal stent deformation (LSD)をおこしbail outできた1症例
8月24日 ～31日	大和田尊之	バルセロナ	ESC CONGRESS2017	Apolipoprotein ciii and triglyceride correlate with the necrotic core of a lesion plaque in patients with stable coronary disease.
9月29日) 10月1日	天海 一明	大阪市	第65回 日本心臓病学会学術集会	大動脈解離に伴う急性心筋梗塞に対し て経皮的冠動脈インターベションを施 行した一例
2月10日 ～12日	渡部 研一	横浜市	第10回植え込みデバイス 関連冬季大会	当院におけるペースメーカー患者のMRI 撮像経験
2月16日	大和田尊之	郡山市	第26回ADATARA Cine Conference ウィンターライブ	PCI治療に関する情報提供とディスカッ ション

学会・研修会 講演

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
5月13日	大和田尊之	福島市	東日本大震災復興支援事 業「ふれて、学んで～赤 十字パーク2017in県立図 書館」健康講演会	心臓病について
7月13日	渡部 研一	福島市	抗凝固セミナー	高齢者における抗凝固療法の問題点

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
7月18日	渡部 研一	福島市	第369回 県北如学会学術講演会	抗凝固療法の最新の知見 - 高齢者社会を見据えて -
8月10日	阪本 貴之	福島市	大原循環器セミナー 「地域医療連携講演」	慢性心不全に対する利尿薬治療
9月13日	大和田尊之	福島市	福島県北脳心連携の会講演	高齢者心房細動治療の新たな知見について
11月7日	大和田尊之	いわき市	いわき市糖尿病学術講演会	循環器専門医が考えるSGLT-2阻害薬 の可能性
11月24日	大和田尊之	福島市	県北地区学術講演会 ～動脈硬化性疾患を再考する～	冠動脈疾患患者の病変プラーク構造と ω -3脂肪酸の関係
11月30日	渡部 研一	福島市	平成29年度 「赤十字健康講演」	知っておきたい心筋梗塞のあれこれ
1月19日	阪本 貴之	福島市	循環器医療連携ミーティング ～心不全治療における地域連 携について考える会～	当院における心不全患者の動向と治療 の実際
2月21日	大和田尊之	福島市	福島PCI座談会	ACSの急性期治療

論文発表・著書

著者	論文名	誌・巻(号)ページ
Takayuki Ohwada, Kenichi Watanabe, Takayuki Sakamoto, Kazuaki Amami, Yasuchika Takeishi	Apolipoprotein CIII and Triglyceride in the necrotic core contribute to plaque vulnerability in patients with stable coronary disease.	European Medical Journal. 5:42-43, 2017.
Takayuki Ohwada.	Polyunsaturated Fatty Acids (PUFAs) in Human Health.	In: Angel Catala, editor. Polyunsaturated Fatty Acids (PUFAs); 2018. pp. 41-70.

(4) 神経内科

学会・研修会 講演

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
9月25日	中村耕一郎	福島市	Care AF講演	心原性脳塞栓症の診断と治療

(5) 精神科

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
6月30日	後藤 大介	福島市	福島・力動的的精神療法研 究会	当院におけるパリペンドンの使用経験
10月8日	後藤 大介	郡山市	平成29年度 一般社団法人福島県作業 療法士会研究会	認知症の特徴と治療及び症状の理解と 対応方法について
10月29日	後藤 大介	盛岡市	第8回東北精神保健 福祉学会 岩手大会	抗うつ状態をUBOMで評価する試み、式 簡易客観的精神指標テストでみた公汎 性発達障害、統合失調症の間の差異(連 名発表)

学会・研修会 講演

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
5月26日	後藤 大介	新潟市	特別講演講師	認知症の基本と地域連携
5月29日	後藤 大介	伊達市	伊達地区の認知症医療を 考える会	認知症疾患医療センターの立場から
7月11日	後藤 大介	福島市	認知症多職種連携講演会 in福島	認知症の薬物療法について
9月27日	後藤 大介	福島市	家族介護継続支援事業 「ほっとひといき介護の つどい」	もの忘れ診療医との対話談 ～今ある生活を続けるために～

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
10月7日	後藤 大介	会津美里町	会津美里町認知症講座	超高齢社会と認知症
10月20日	後藤 大介	郡山市	第6回福島老年精神医学を考える会講演	不安とうつについて

(6) 外科

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
5月9日	西間木 淳	福島市	県北肝・代謝疾患研究会	肝内胆管がんととの鑑別が困難であった大腸癌胆管転移の2切除例
5月11日 ～13日	角田 圭一	仙台市	第54回日本小児科学会 学術集会	感染と十二指腸狭窄症状を契機に発見された後腹膜原発の静脈奇形の1例
5月13日	橋本 舞	郡山市	第4回日本臨床外科学会 福島県支部学術集会	後腹膜脂肪肉腫再々発の1例
6月1日 ～2日	西間木 淳	大阪市	第35回日本肝移植研究会	生体肝移植後にEBV関連リンパ増殖性疾患を呈した小児に対してRituximab治療が著効した1例
6月7日 ～10日	西間木 淳	横浜市	第6回アジア太平洋肝胆膵外科学会／第29回 日本肝胆膵外科学会	Laparoscopic distal pancreatectomy for large tumors is safe and beneficial; two case reports
7月20日 ～22日	遠藤 豪一	金沢市	第72回日本消化器外科学会総会	非切除進行胃癌に対しSOX療法施行中、高アンモニア血症による意識障害をきたした1例
7月22日	橋本 舞	福島市	第6回 福島リバーフォーラム	CART(腹水濾過濃縮再静注法)中に2病変のHCCが自然退縮した一例
9月8日	角田 圭一	盛岡市	第43回東北小児外科研究会	先天性胆道拡張症根治術時の胆管断端の術中迅速診が有用と思われた1例
10月12日 ～15日	西間木 淳	福岡市	JWWD2017 FUKUOKA	高齢者膵癌患者に対する膵頭十二指腸切除術の治療成績の検討
11月23日 ～24日	郡司 崇志	東京都	第79回日本臨床外科学会	舌転移をきたした胃癌の1例
11月25日	滝口 和暁	郡山市	第6回福島県新生児懇話会プログラム	当院における先天性食道閉鎖症の治療成績
11月25日	角田 圭一	郡山市	第6回福島県新生児懇話会プログラム	出生前診断の得た先天性胆道拡張症に対する治療方針

論文発表・著書

著者	論文名	誌・巻(号)ページ
遠藤 豪一	右半結腸が脱出した非環納性巨大単径ヘルニアの1例	日本臨床外科学会雑誌 第78巻 6号 259-264

(7) 血管外科・心臓外科

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
10月25日 ～28日	籠島 彰人	マレーシア	ASVS2017 (アジア血管外科学会)	The Impact of Maximal Diameter and Hematoma Thickness in Conservative Management of type - A Acute Aortic Intramural Hematoma

学会・研修会 講演

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
10月5日	安藤 精一	南相馬市	平成29年度 「赤十字健康講演」	動脈硬化と血栓症について

(8)呼吸器外科

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
4月27日 ～29日	渡邊 譲	横浜市	第117回日本外科学会 学術集会	コンピューターアシストを利用した、 肺癌縦隔リンパ節転移の新たな画像 評価法の開発
5月18日 ～19日	渡邊 譲	福岡市	第34回日本呼吸器外科 学会総会	気腫性肺に対してリンフォースカー トリッジを使用した20例の検討
7月29日	渡邊 譲	山形市	第56回日本肺癌学会 東北支部例会	癌性胸膜炎にて発見された腎細胞癌 の1例
10月14日 ～15日	渡邊 譲	横浜市	第58回日本肺癌学会 学術集会	胸腺腫摘出後、合併した自己免疫性 疾患に対する免疫療法中に発症した 炎症性肉芽腫の2例
2月10日	渡邊 譲	仙台市	第34回東北肺癌研究 談話会	エルロチニブ誘発性間質性肺炎発症 後のエルロチニブ再投与の成功例

論文発表・著書

著者	論文名	誌・巻(号)ページ
Higuchi MT, Takagi H, Owada Y, Inoue T, Watanabe Y, Yamaura T, Fukuhara M, Mutoh S, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Yonechi A, Osugi J, Hoshino M, Shio Y, Fujiu K, Kanno R, Ohisi A, Suzuki H, Gotoh M,	Efficacy and tolerability of nanoparticle albumine -bound paclitaxel in combination with carboplatin as a late-phase chemotherapy for recurrent and advanced non-small-cell lung cancer: A multi- center study of Fukushima lung cancer association group of surgeons	Oncology Letters 13, 6, 4315 -4321 2017
Inoue T, Kanno R, Moriya A, Nakamura K, Watanabe Y, Matsumura Y, Suzuki H	A Case of Paraneoplastic Limbic Encephalitis in a Patient with Invasive Thymoma with Anti- Glutamate Receptor Antibody-Positive Cerebrospinal Fluid: A Case Report	Ann Thorac Cardiovasc Surg 24, 4, 200-204 2018
渡邊 譲 菅野 隆三 鈴木 弘行	肺転移を伴わない癌性胸膜炎のみを認めた転移性腎細 胞がんの1例	日呼外会誌 32, 2, 147-52 2018

(9)整形外科

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
6月22日 ～24日	村上 和也	札幌市	第9回日本関節鏡・ 膝・スポーツ整形外科 学会	足関節 軟骨・OA・外傷
10月19日	佐藤 法義	東京都	第3回日本股関節学会 教育研修セミナー 第44回日本股関節学会 学術集会	寛骨臼形成不全により人工骨頭置換 術後脱臼をきたした2症例

(10)脳神経外科

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
4月25日 ～27日	古川 佑哉	神戸市	WLNC2018	A Surgical Case of Spinal Radicular AVF Utilizing Fluorescein Angiography and MEP Monitoring
5月12日 ～14日	鈴木 恭一	横浜市	第37回日本脳神経外科 コンgres総会	蛍光脳血管撮影の現状と今後の展開
5月24日	黒見 洋介	郡山市	中通りボツリヌス療法 懇話会	上肢下肢痙縮に対するボツリヌス療法 の経験から
6月17日	米元 瑞穂	郡山市	第22回福島脳血管障害 治療研究会	骨パジェット病に合併した中硬膜動 脈瘤の1手術例
7月7日 ～8日	鈴木 恭一	東京都	第23回日本脳神経 モニタリング学会	脳血管障害における術中モニタリン グの検討
7月14日 ～15日	鈴木 恭一	京都府	第13回日本脳神経外科 光線力学学会	レーザー照明手術顕微鏡を用いた蛍光 血管撮影の工夫と組織血流測定を試み
10月10日 ～13日	古川 佑哉	仙台市	脳外科総会	cranio-cervical junction spinal AVF の3例
10月11日 ～14日	市川 剛	名古屋市	第76回日本脳神経外科 学会学術集会	当院における機械的血栓回収術の治療成績 ～中小規模施設での現状と問題点～
10月12日 ～14日	米元 瑞穂	名古屋市	第76回日本脳神経外科 学会学術集会	術中脳表組織血流量測定を試み
10月21日	菊田 春彦	福島市	第81回福島脳神経外科 談話会	血栓回収術後に短期間で再閉塞し再 治療した中大脳動脈閉塞の1例
11月17日	古川 佑哉	郡山市	福島神経血管内治療 カンファランス	動眼神経麻痺で発症した超高齢者未 破裂内頸動脈瘤に対するコイル塞栓 術の1例
11月18日	市川 剛	郡山市	福島脳血管治療 カンファランス2017	アクセス困難であった海綿静脈胸部 硬膜動静脈瘻の1例
11月23日 ～25日	市川 剛	東京都	第33回NPO法人日本脳 神経血管内治療学会学 術総会	当院における急性期機械的血栓回収 術の治療成績-中小規模施設での現 状と問題点-
11月22日 ～24日	古川 佑哉	仙台市	脳神経血管内治療学会 総会2018	循環器内科と連携した頸動脈ステ ント留置術の治療成績
1月28日 ～ 2月2日	市川 剛	マウイ、 ホノルル	Joint Neurosurgical Convention2018	Development of and Clinical Experience with a Simple Device for Performing Intraoperative Fluorescein Fluorescence Cerebral Angiography
1月28日 ～ 2月2日	菊田 春彦	マウイ、 ホノルル	Joint Neurosurgical Convention2018	Intraoperative Monitoring of Blood Flow Insufficiency in Perforating Arteries Using Motor Evoked Potential, Medullary Trigeminal Evoked Potential and Fluorescein Angiography
1月28日 ～ 2月2日	滝口 和暁	マウイ、 ホノルル	Joint Neurosurgical Convention2018	Intra-Arterial Fluorescence Angiography with Injection of Fluorescein Sodium from the Superficial Temporal artery during Aneurysm Surgery
3月15日 ～18日	鈴木 恭一	福岡市	STROKE2018	術中蛍光血管撮影をもっと役立てる ために
3月15日 ～18日	菊田 春彦	福岡市	STROKE2018	脳表組織血流量測定を試み
3月15日 ～18日	滝口 和暁	福岡市	STROKE2018	蛍光血管撮影とMEPモニタリングを 用いた頭蓋頸椎移行部perimedullary arteriovenous fistulaの1手術例
3月19日 ～23日	古川 佑哉	台湾	XXI Symposium Neuroradiologicum	Giant Cerebral AVM treated by Endovascular Embolization after Stereotactic Radiotherapy

学会・研修会 講演

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
4月20日	渡部 洋一	福島市	イグザレト発売5周年記念講演会	実臨床における心原性脳塞栓症2次予防の課題
5月29日	渡部 洋一	花巻市	花巻市医師会主催「生涯教育講座5月例会」	心原性脳塞栓症の予防 - DOACによる抗凝固療法 -
6月10日	鈴木 恭一	福島市	第7回“NOW”プロジェクト講演会	きっと役立つスキル - tPA&medical illustration
6月29日	渡部 洋一	徳島市	Stroke conference in TOKUSHIMA2017	東日本大震災時後の福島県における脳卒中医療の現状
8月7日	渡部 洋一	郡山市	福島県市町村保健活動推進協議会県中部会研修会	心房細胞に起因する脳梗塞の予防と治療
10月17日	渡部 洋一	福島市	第370回 県北如山会学術講演会	災害発生時にどう動くか - 医療施設での対応(災害時の抗凝固療法)と救護活動 -
1月12日	鈴木 恭一	福島市	抗凝固セミナー	脳卒中二次予防の実際と服薬管理の問題点

(11)産婦人科

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
6月17日 ～18日	和田茉莉奈	秋田市	第143回東北連合産科婦人科学会	LHにおける2Dと3D内視鏡システムによる手術成績の比較検討

(12)耳鼻咽喉科

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
11月7日 ～12日	多田 靖宏	神戸市 大阪市	第69回日本気管食道科学会	直達喉頭鏡手術における手台の有効性

学会・研修会 講演

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
12月1日	多田 靖宏	いわき市	いわき市耳鼻科医会学術講演会	アレルギー性鼻炎に対する治療戦略 ～手術療法を含めて～

(13)麻酔科

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
11月3日 ～5日	太田 文乃 出羽 明子	東京都	第37回日本臨床麻酔学会	誤嚥予防目的に施行された声門閉鎖術の麻酔経験

2. 放射線科部

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
9月30日	羽貝 寿子	秋田市	平成29年度日本赤十字社放射線技師会東北ブロック研修会	産休・育児休暇、前中後の勤務体制について
12月2日	佐藤 竜馬	郡山市	第17回福島県MR技術研究会	手指MRI検査の補助具およびポジショニング

3. 薬剤部

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
10月19日 ～22日	渡部 寿康	横浜市	第55回日本癌治療学会 学術集会	ニホルマブの使用状況と薬剤師による治療継続への介入
11月25日 ～26日	菊地 洋平	福島市	第20回東北ブロック 薬剤師研修会	入院患者さんの持参薬鑑別手順と持参薬仕様について
11月25日 ～26日	安齋 英里	福島市	第20回東北ブロック 薬剤師研修会	薬剤師外来の実施について

4. 医療技術部

臨床工学技術課

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
4月14日 ～16日	橋本 健一	熊本市	第7回日本赤十字社 臨床工学技士会研修会	「平成27年度ブロック研修会報告」ポスター発表
11月11日 ～12日	村上 風太	盛岡市	第8回 日本赤十字社臨床技士 会東北ブロック研修会	臨床工学技士部門に関連するインシデントを共有しよう！（過去3年分から）
11月11日 ～12日	中山 彩	盛岡市	第8回 日本赤十字社臨床技士 会東北ブロック研修会	各施設における臨床工学部門のPRポイントと悩み ～全スタッフ共通アンケート調査から～
11月23日 ～25日	佐藤 恵美	東京都	第33回NPO法人 日本脳神経血管内治療 学会学術総会	当院における脳血管内治療での臨床工学技士の役割
2月10日 ～12日	中山 彩	横浜市	第10回植え込みデバイス 関連冬季大会	当院におけるペースメーカー患者のMRI撮像経験

5. 看護部

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
7月1日	八木沼裕子	福島市	平成29年度福島県看護協会 県北支部第1回研修会	「摂食・嚥下障害看護認定看護師としての役割」～現場で活かせる嚥下訓練等を学ぶ～
7月2日	佐藤 美絵	郡山市	2017日本褥瘡学会公認 第1回東北地方会教育 セミナー	スキンケア ～患者教育、アウトカム、医療関連 圧迫損傷～
11月22日	菅野智嘉子 佐藤留美子	盛岡市	赤十字医療施設東北ブ ロック合同看護補助者 研修会	病棟クラーク配属に伴う看護助手業務の見直し
11月23日 ～25日	木幡 紀子	東京都	第33回NPO法人日本脳 神経血管内治療学会学 術総会	脳血管内治療における看護マニュアル作成とその有用性についての検討

学会・研修会 講演

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
11月24日	佐川美奈子	福島市	平成29年度「地域医療介護総合確保基金」事業老健における「看護人材確保」支援研修事業講演	認知症の方の気持ちとケア
3月12日	武井 明美	福島市	ユーシービージャパン(株)免疫炎症事業部東日本エリア社内勉強会講演	リウマチ診療における看護師の役割
3月23日	佐藤 美絵	福島市	平成29年度福島県赤十字健康生活支援講習指導員研修会(講師)	スキンケアについて

6. 検査部

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
6月3日 ～4日	酒井 絢香	秋田市	第45回東北赤十字臨床検査技師会研修会	心臓超音波検査時における腹部大動脈瘤評価の有効性について
7月1日	氏家 洋幸	仙台市	第17回東北内視鏡従事者フォーラム	臨床検査技師としての内視鏡業務への関わり
7月8日	幕田 高平	東京都	第23回日本脳神経モニタリング学会	経頭蓋電気刺激運動誘発発電位モニタリングにおける至過刺激強度の検討
11月18日	氏家 洋幸	福島市	平成29年度総合管理部門研修会	認定救急検査士の現状と資格取得までの道程
3月11日	幕田 高平	仙台市	日本超音波学会第55回東北地方会	胆嚢捻転の1例

7. 事務部

(1)医療情報システム課

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
10月23日 ～24日	二階堂雄平	仙台市	第53回日本赤十字社医学会総会	電話履歴管理システム「Q太郎ちゃん」による新入院患者獲得の試み

(2)医事課

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
7月25日	渡邊 千尋	郡山市	第75回福島県診療情報管理研究会	新人職員の『きもち』
10月23日 ～24日	金子 瑛	仙台市	第53回日本赤十字社医学会総会	救急医療係数上昇の取り組みとその効果



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

福島赤十字病院
平成29年度 病院年報

通算第8号
平成31年4月発行

編集◎福島赤十字病院 事務部企画課
発行◎福島赤十字病院

〒960-8530 福島県福島市八島町7-7
TEL 024-534-6101(代表) FAX 024-531-1721
<http://www.fukushima-med-jrc.jp/>

copyright©JAPANESE RED CROSS FUKUSHIMA HOSPITAL All rights reserved.
